

KENWOOD

コンパクト オーディオ

NEW ALLORA XJ7M

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

B60-1794-40 (JA) (J) (MC)
98/12 11 10 9 8 7 6

取扱上のご注意

設置上のご注意

- 直射日光の当たる所、暖房機など発熱物の近くは避けてください。
- 花びん、化粧品など液体の入ったものは、上に置かないでください。また、湿気の多いところは避けてください。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。
- 放熱をよくするため、本など、ものをセットの上に置かないでください。また、かべから10cmくらい離して置いてください。
- 雑音が入る場合は、テレビからできるだけ離してご使用ください。
- 不安定な棚などは避け、ホコリ、震動の少ない水平な場所に設置してください。また、放熱孔をふさぐジュエタン、ソファ、ベッド等の上では使用しないでください。

安全上のご注意

- 本機は、交流100V専用です。200Vでは絶対に使用しないでください。
- 電源コードを強くひっぱったり、無理に折り曲げたり、継ぎ足したりすることは、通電しなくなったり、ショートのおそれがありますのでやめましょう。抜くときは、プラグを持ってください。
- 電源プラグの抜き差しは、ぬれた手で行なわないでください。感電する恐れがあります。
- ケースなどをはずし、内部に触ることは避けてください。内部に手をふれると感電、故障の原因となることがあります。
- ケースの空気孔などにヘアピン、縫い針などの金属物が入ると故障や感電の原因になります。特にお子様へのご注意をお願いします。

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

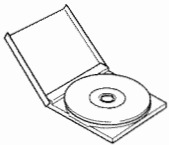
異常にお気づきのさいは

万一、煙が出ている、また変なおいがするなどの異常が起きたときは、電源スイッチをすばやくOFFにして電源コードを抜いてください。そのうえで速やかに購入店または最寄りのケンウッドサービスセンター、営業所へご連絡ください。

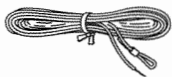
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

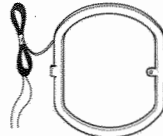
3Dバーチャルリアリティ
サウンドCD (1枚)



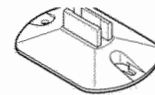
FM簡易アンテナ (1本)



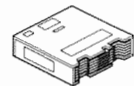
AMループアンテナ (1個)



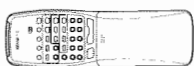
ループアンテナスタンド (1個)



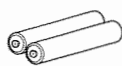
マガジン (1個)
(ディスクトレイ6枚入り)



リモートコントロール
ユニット (1個)



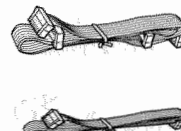
リモコン用単4乾電池
(2本)



スピーカーコード (2本)



平行コード (太:1本)
(細:1本)



キャップ (8個) ※



- スピーカーコードはスピーカー部に、その他の付属品はプリアンプ/チューナー部に同梱されています。

※ キャップ：別売りのオムニスピーカー (OMNI-A5) をフロントスピーカーへ組み込む場合に使用します。



使って便利なDPSS

カセットテープなのに、CDのようにいろいろな再生を楽しめます。

- 曲を飛び越して聴く
- 同じ曲を何回も聴く
- テープを巻き戻して始めから聴く
- 曲と曲の間を早送りして聴く



3Dバーチャルリアリティーサウンドシステム

メインスピーカーとオムニスピーカー（別売）から別々の音を出す機能です。付属の3DバーチャルリアリティーサウンドCDをオムニから再生して、音楽をメインから再生すれば、全く新しい音の世界が開けます。もちろん、音の組み合わせは自由です。



カンタンCD編集録音 (CCRS)

目的別に使える、いろいろな種類のCD編集録音を用意

- フェード編集録音 : 1曲目から順に録音
- プログラム編集録音 : 好きな曲を好きな順に録音
- タイム編集録音 : 指定時間内に曲が途切れないように録音
- AI編集録音 : 指定時間を超えるCDの全曲を録音
- クロスフェード編集録音 : 曲の初めと終わりを重ね合わせて録音

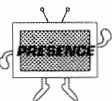


いろいろ楽しめる音質調整

グラフィック機能も充実。AIに任せて自動設定、またはお好みのカーブを選んだり作ったりできます。あなたが作ったイコライザーカーブを、5種類まで記憶させることができます。

SOURCE DIRECT

音楽ソース本来の音に色付けすることなく、限りなくピュアな再生音を楽しめます。



臨場感のある音を聴く

DOLBY SURROUND再生は当然。その他に当社独自の音場や、音の奥行き感をコントロールする機能を用意してあります。自分のお好みの音場でお楽しみください。



便利なタイマー機能

4つの内容を登録できるほか、次の便利な働きがあります。

- AI TIMER 1 : タイマーONの後、徐々に音量が大きくなる。
- AI TIMER 2 : タイマーONでCDを2曲再生後、放送を受信。
- スリープタイマー : おやすみのときに便利。
- ワンタッチタイマー : 細かい時間調整をしないで区切りのいい時間にON。

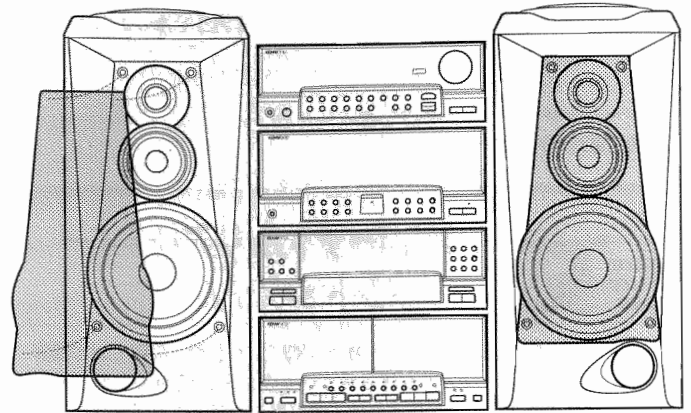
接続のしかた	4
各部のなまえと働き	11
リモコンの使いかた	16
時刻合わせ	17
音の調節のしかた	18
CDを聴く	20
マガジンにディスクを入れる	20
マガジンを入れる（取り出す）	21
1曲目から順に聴く	22
聴きたい曲を選ぶ	23
曲順を自由にプログラムする	24
繰り返し聴く（リピートプレイ）	26
順番にこだわらずに聴く（ランダムプレイ）	27
テープを聴く	28
テープの再生	28
リレー再生のしかた	29
飛び越し選曲	30
ダッシュ&プレイ	31
1曲リピート再生	31
巻き戻し再生	31
放送を聴く	32
放送を受信する	32
周波数を指定して受信する	33
放送局を記憶させる（プリセット）	34
記憶させた放送局を受信する	34
記憶させた放送局を順に聴く（プリセットコール）	34
ビデオ機器を使用する	35
ビデオを再生する	35
ビデオ録画をする	35
3Dバーチャルリアリティーサウンドシステム	36
3Dバーチャルリアリティーサウンドを体験する	37
録音のしかた	38
録音の準備をしましょう	38
録音のしかた	39
テープをコピーする（ダビング）	41
CDの編集録音	42
編集録音のタイプを選ぶ	42
プログラム編集録音	44
クロスフェード編集録音	45
タイム編集録音	46
AI編集録音	47
フェード編集録音	48
CDを録音しながら他のものを聴く	50
カンタン音質調整	51
デモンストレーションをしてみましょう	51
最適な音質でCDを聴く（AI AUTO）	53
臨場感を生かしてCDを聴く（AI FOCUS）	53
お好みの音質で曲を聴く	54
お好みの音質をつくる	55
カーステレオ用、ヘッドホンステレオ用のテープを作る	56
臨場感を楽しむ	57
臨場感のある音楽を楽しむ（DSPプレゼンスモード）	58
臨場感、プラス、3Dバーチャルリアリティーサウンドを体験する	60
臨場感のある音楽を録音する	61
音の奥行き感をコントロールする（DEPTH）	62
ドルビー3ステレオの調整・再生	63
ドルビープロロジックサラウンドの調整	64
ドルビープロロジックサラウンドの再生	65
便利な使いかた	66
簡単にカラオケを楽しむ（HIT MASTER）	66
タイマーを使う	67
タイマー予約をする	68
AIタイマーの使いかた	71
ワンタッチタイマー予約、おやすみタイマー予約	72
メンテナンス	73
故障と思われる症状ですが	75
定格	78
保証とアフターサービス（必ずお読みください）	80

4

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

- セットの積み重ねは、接続図通りに行ってください。
- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
- セットの前面は揃えてください。

縦に置いたとき



プリアンプ/チューナー
C-E9

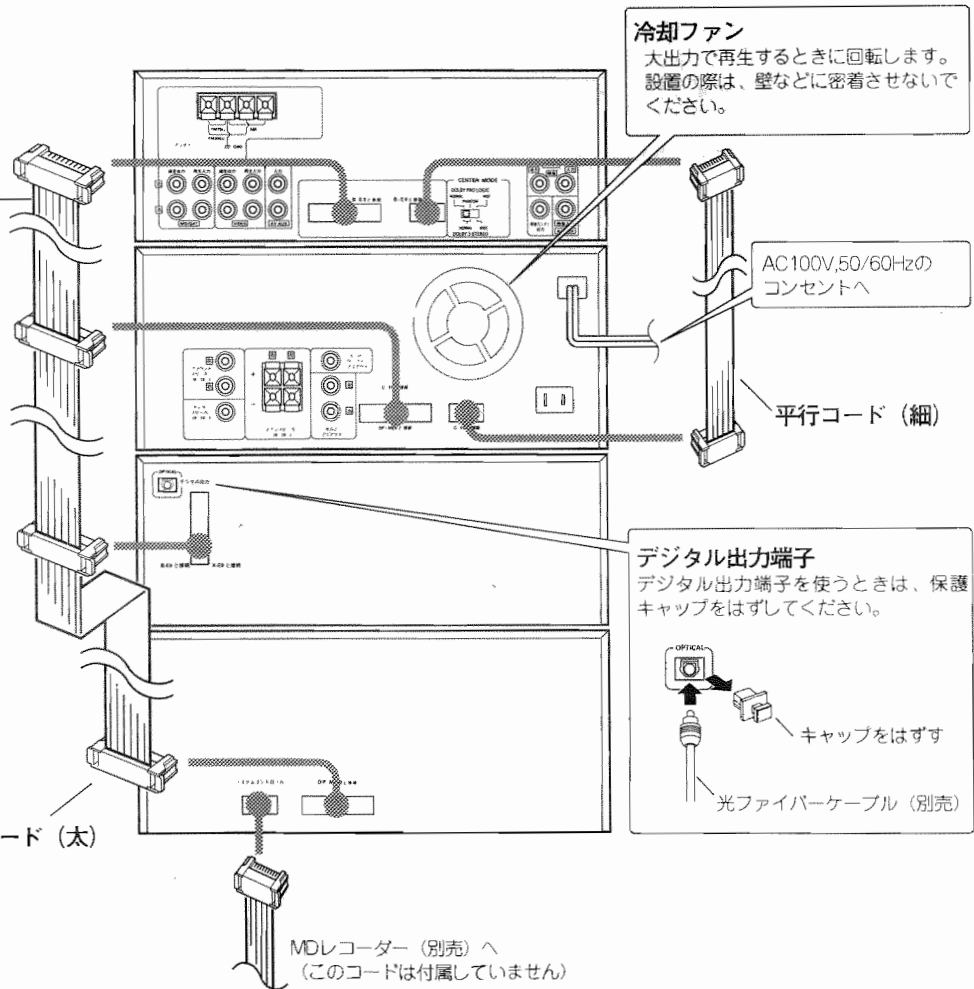
白線を左側にします

パワーアンプ/
グラフィックイコライザー
B-E9

CDプレーヤー
DP-ME9

カセットデッキ
X-E9

平行コード (太)



光ファイバーケーブルの接続について

MDレコーダー (別売) との接続に使用します。デジタル伝送により、CDの高音質を損なうことなく録音できます。また、デジタル入力 (光ファイバー) 端子のあるアンプに接続することもできます。

- 光ファイバーは真っ直ぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
- 光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。
- 市販の光ファイバーケーブルが、すべて使えるとは限りません。接続できないときは、購入店または、もよりの営業所にご相談ください。

ご注意

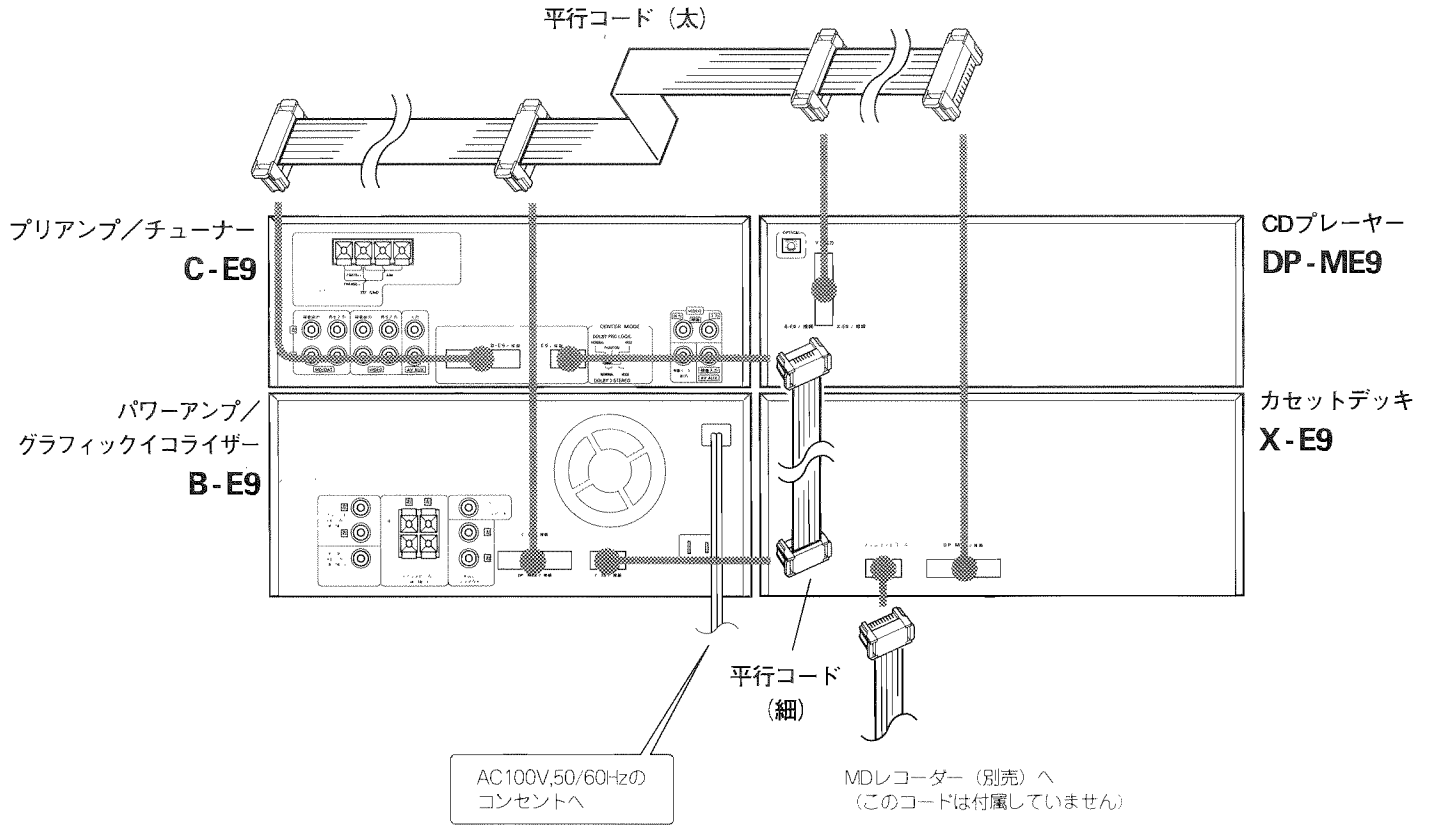
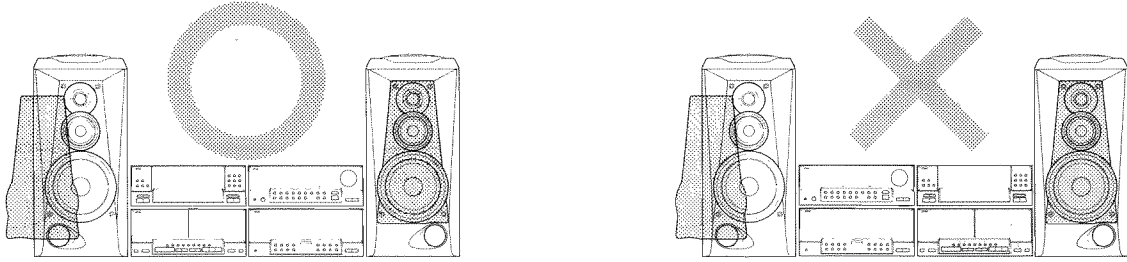


1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。
3. 背面のコンセントには、表示されている定格以上の機器を接続しないでください。

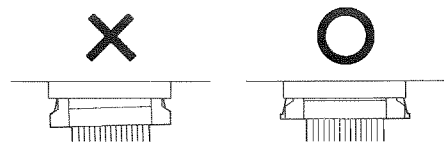
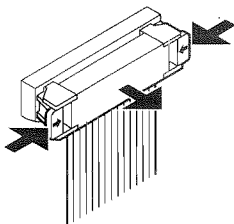
横に置いたとき

ご注意

システムを横に置くときは、接続図通り、プリアンプ/チューナー(C-E9)、パワーアンプ/グラフィックイコライザー(B-E9)を、CDプレーヤー(DP-ME9)、カセットデッキ(X-E9)の右側に置いてください。
B-E9の右側にデッキ、CDを置くと、過熱や故障の原因になります。



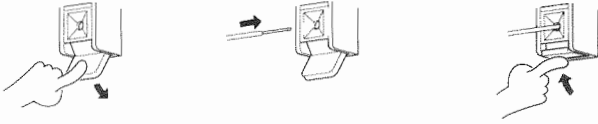
平行コードの接続



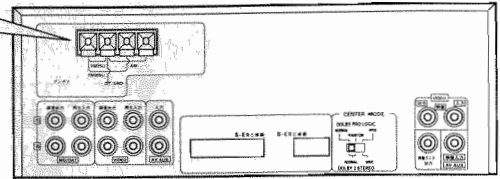
- 平行コードはカチッと音がするまで平行に差し込み、確実にロックしてください。
- 平行コードの白線を、左側にして接続してください。
- コードを抜くときは、ソケット部分の両端を押しながらまっすくに引き抜きます。

接続のしかた

- ① レバーを押す
- ② コードを差し込む
- ③ レバーを戻す



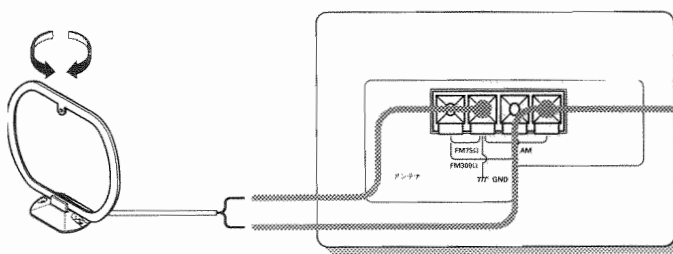
プリアンプ/チューナー C-E9



AMアンテナの接続

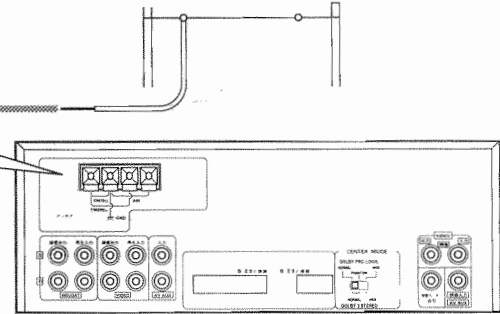
AMループアンテナの接続

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。



AM屋外アンテナの接続

受信状態が悪い場合は、ループアンテナをつないだまま、6m以上のビニール被覆線を屋外に張ってください。



プリアンプ/チューナー C-E9

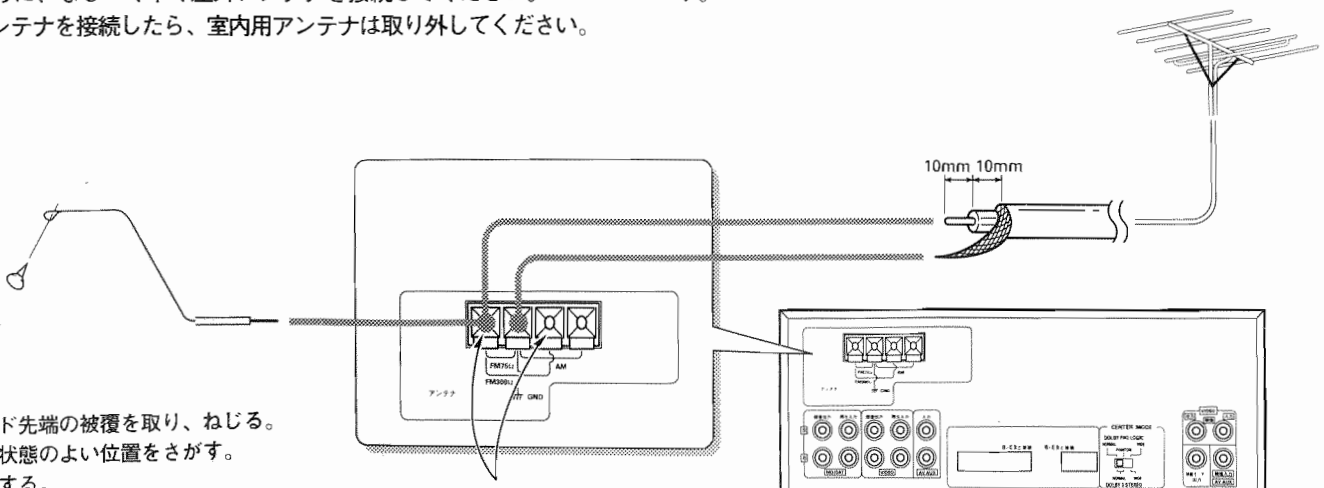
FMアンテナの接続

FM簡易アンテナの接続

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のために、なるべく早く屋外アンテナを接続してください。屋外アンテナを接続したら、室内用アンテナは取り外してください。

FM屋外アンテナの接続

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。

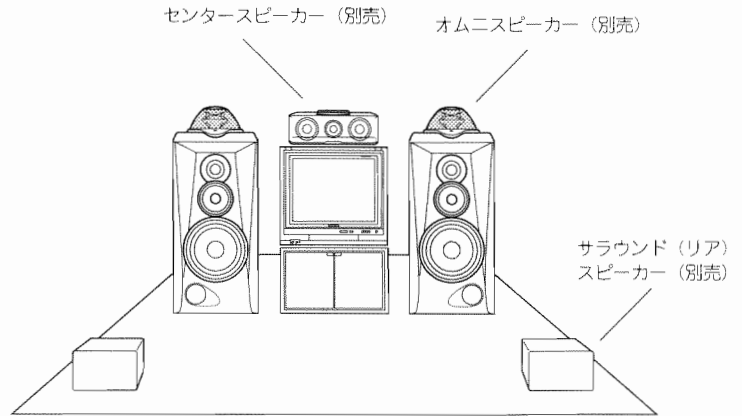


- ① コード先端の被覆を取り、ねじる。
- ② 受信状態のよい位置をさがす。
- ③ 固定する。

市販のFM屋内用T型アンテナ(300Ω)を使用するときは、この端子に接続します。
(付属のFM簡易アンテナは、取り外してください。)

プリアンプ/チューナー C-E9

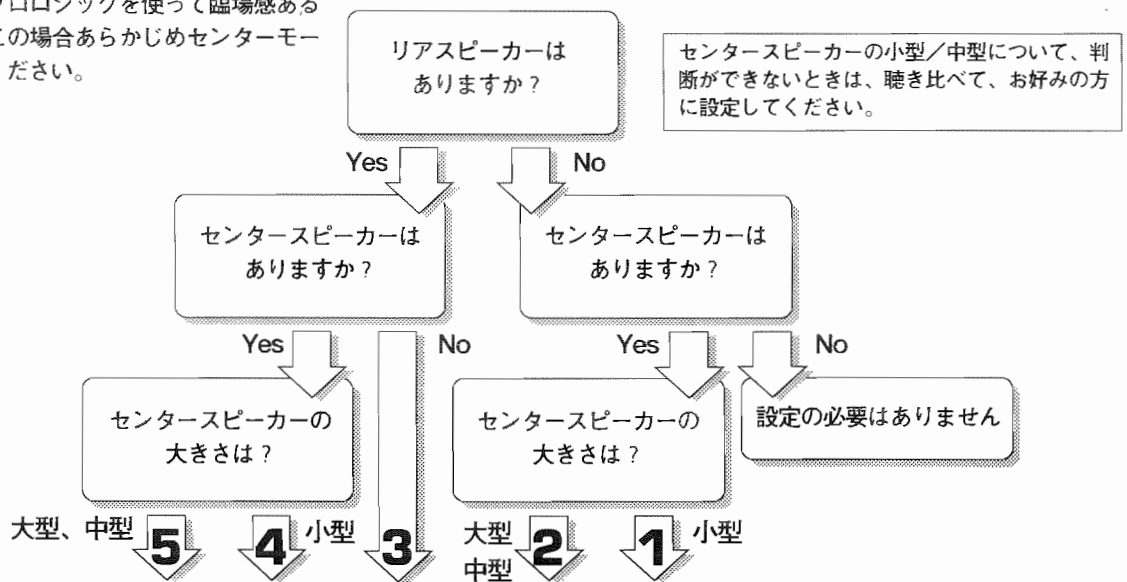
スピーカーの配置



センターモードの設定

別売のリアスピーカー、センタースピーカーを接続すると、ドルビー3ステレオやドルビープロロジックを使って臨場感ある音を楽しむことができます。この場合あらかじめセンターモードスイッチを設定しておいてください。

START!



1 DOLBY PRO LOGIC
NORMAL PHANTOM WIDE
NORMAL WIDE
DOLBY 3 STEREO

ドルビー3ステレオをNORMALモードでお楽しみいただけます。

2 DOLBY PRO LOGIC
NORMAL PHANTOM WIDE
NORMAL WIDE
DOLBY 3 STEREO

ドルビー3ステレオをWIDEモードでお楽しみいただけます。

3 DOLBY PRO LOGIC
NORMAL PHANTOM WIDE
NORMAL WIDE
DOLBY 3 STEREO

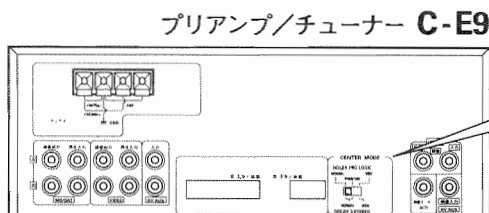
ドルビープロロジックをPHANTOMモードでお楽しみいただけます。

4 DOLBY PRO LOGIC
NORMAL PHANTOM WIDE
NORMAL WIDE
DOLBY 3 STEREO

ドルビープロロジック、ドルビー3ステレオをNORMALモードでお楽しみいただけます。

5 DOLBY PRO LOGIC
NORMAL PHANTOM WIDE
NORMAL WIDE
DOLBY 3 STEREO

ドルビープロロジック、ドルビー3ステレオをWIDEモードでお楽しみいただけます。

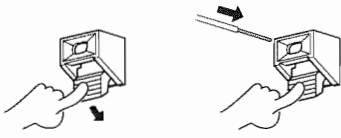


●電源コードの抜き差しにより、設定内容が元に戻る場合があります。

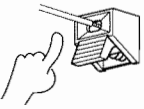
フロントスピーカーの接続

スピーカー部

- ① レバーを押し ② コードを差し込む
ながら



- ③ レバーから手を離す

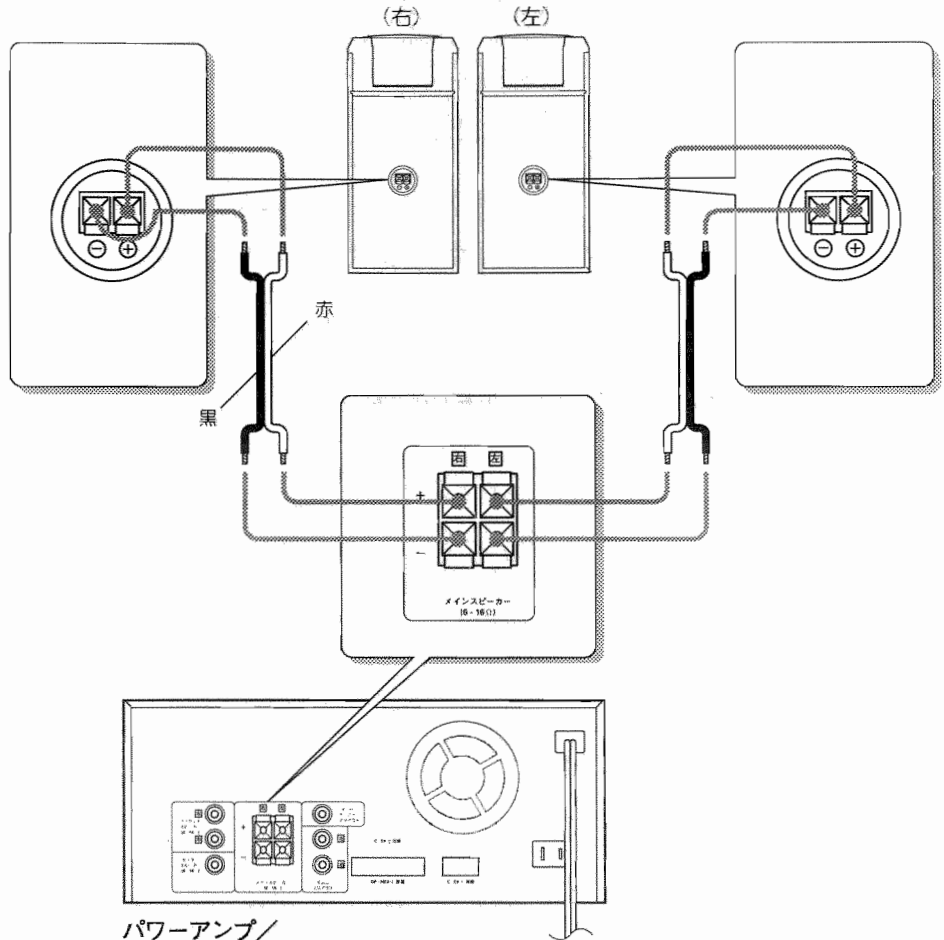
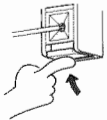


パワーアンプ/グラフィックイコライザー部

- ① レバーを押し ② コードを差し込む



- ③ レバーを戻す



パワーアンプ/
グラフィックイコライザー B-E9

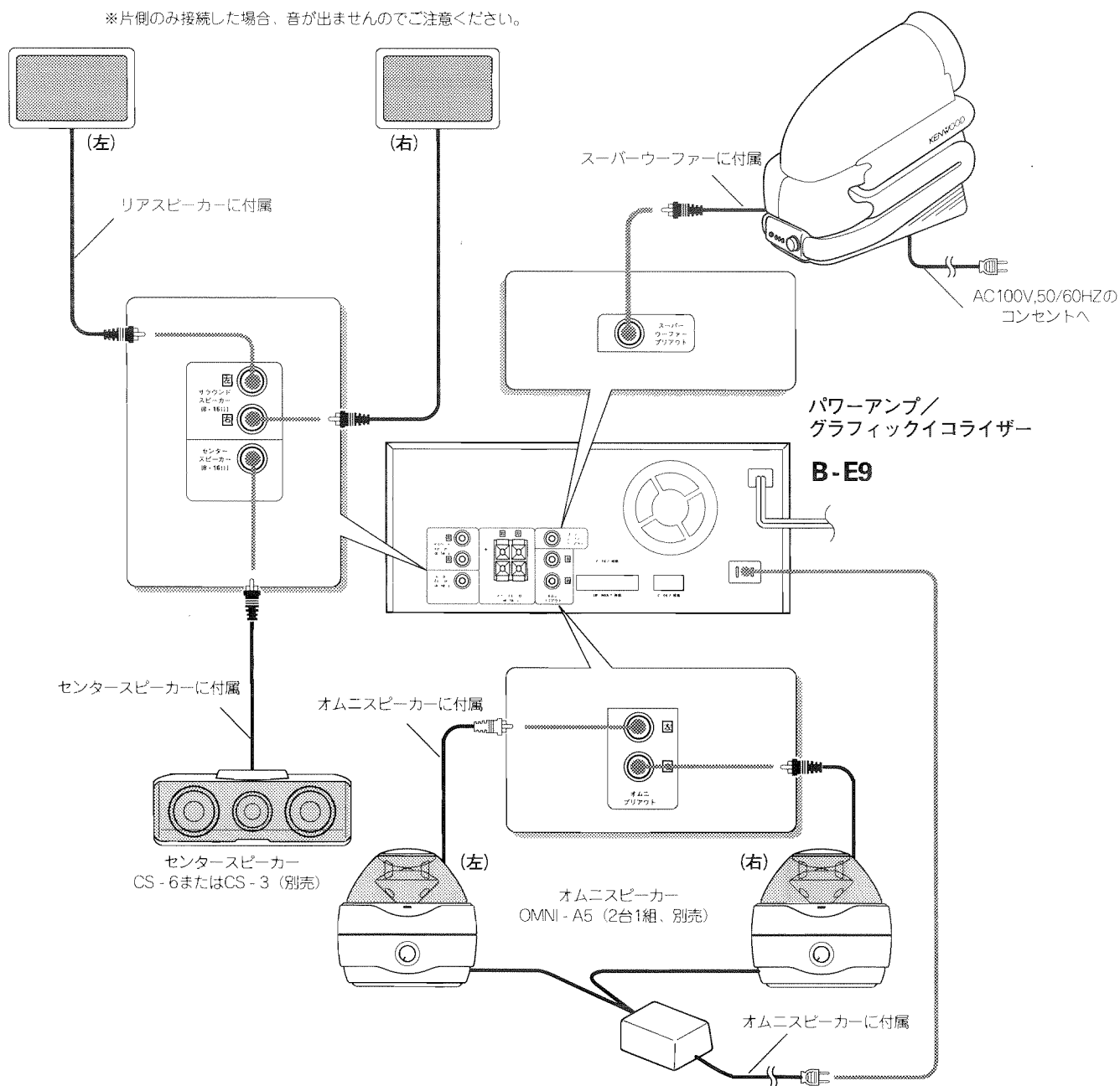
スピーカーコードの+と-は絶対にショートさせないでください。
左右を逆にしたり、極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはつきりしない、不自然な音になります。正しく接続してください。

オプション (別売) スピーカーの接続

サラウンド (リア) スピーカー
CM - 5ESまたはCM - 7ES (2台1組、別売)

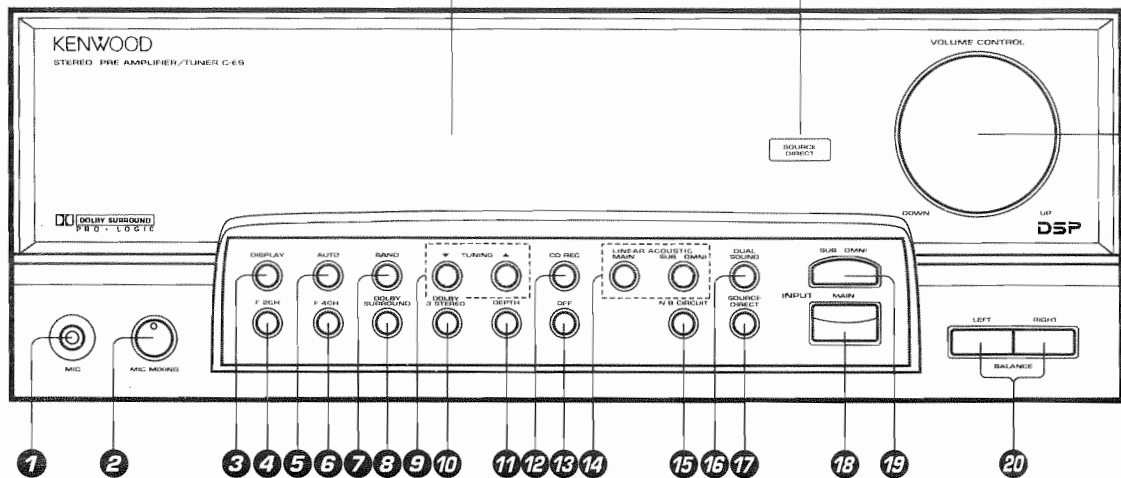
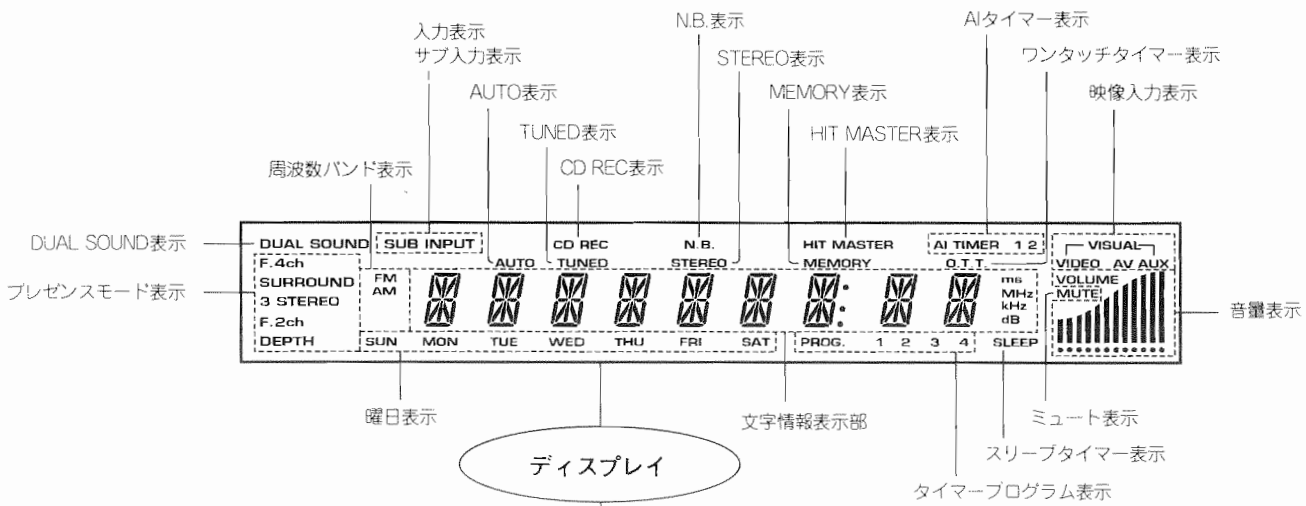
※片側のみ接続した場合、音が出ませんのでご注意ください。

スーパーウーファー
SW - 05 (別売)



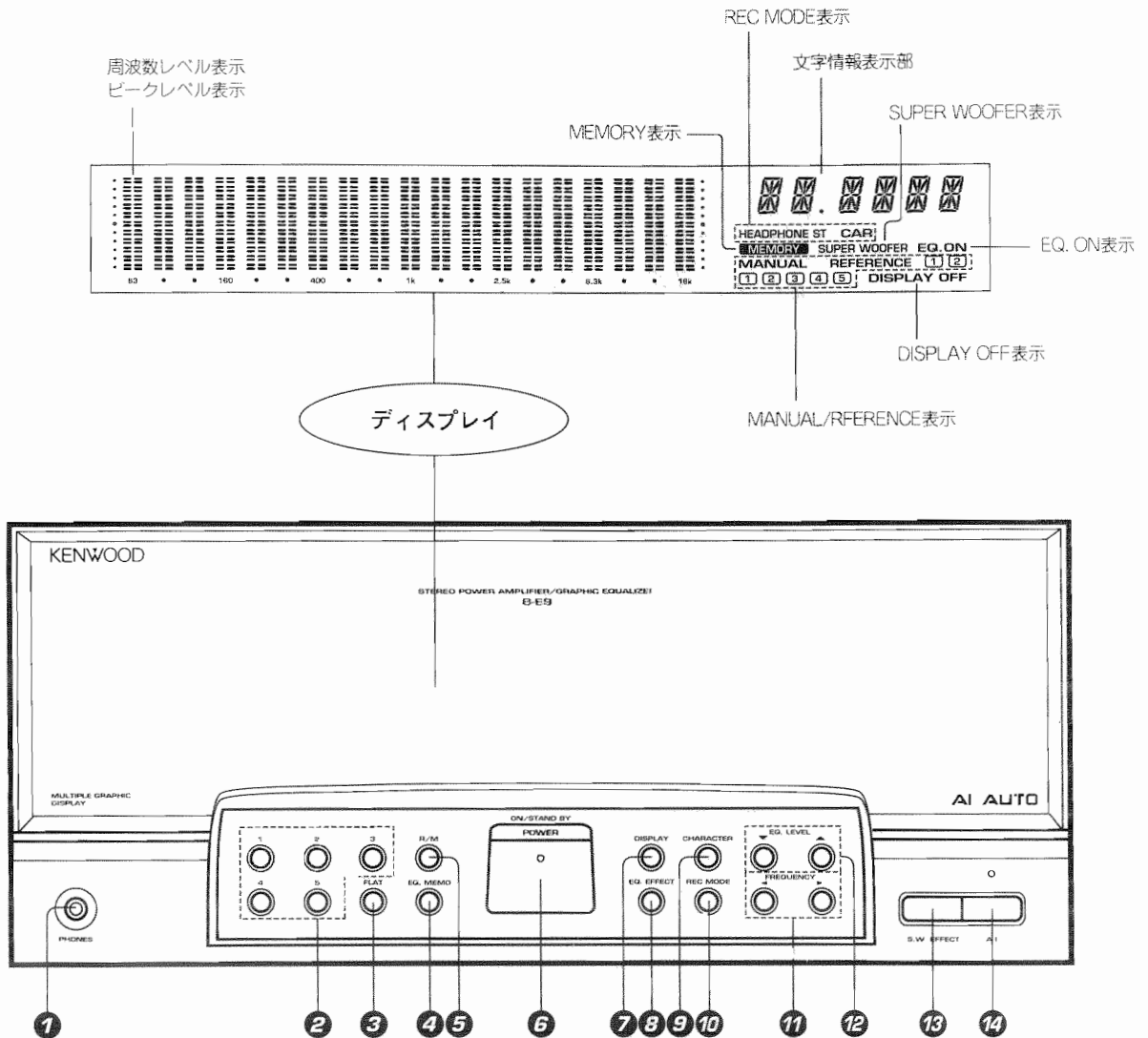
※オムニスピーカー(OMNI-A5)はボリュームつまみを中央にセットしてご使用ください。
 ※オムニスピーカー(OMNI-A5)のフロントスピーカーへの組み込みについては、オムニスピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。

プリアンプ/チューナー部



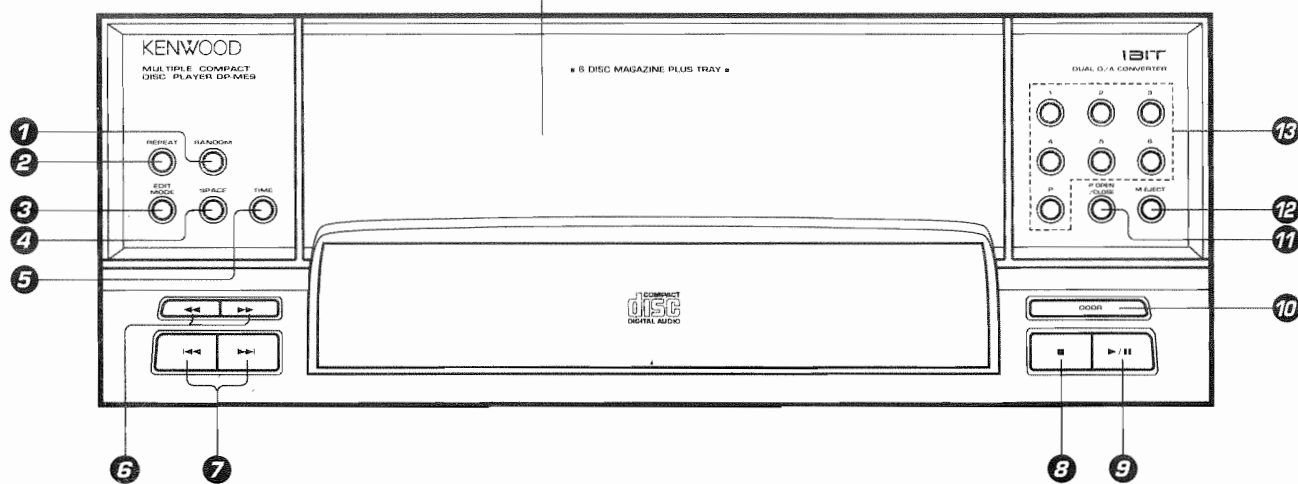
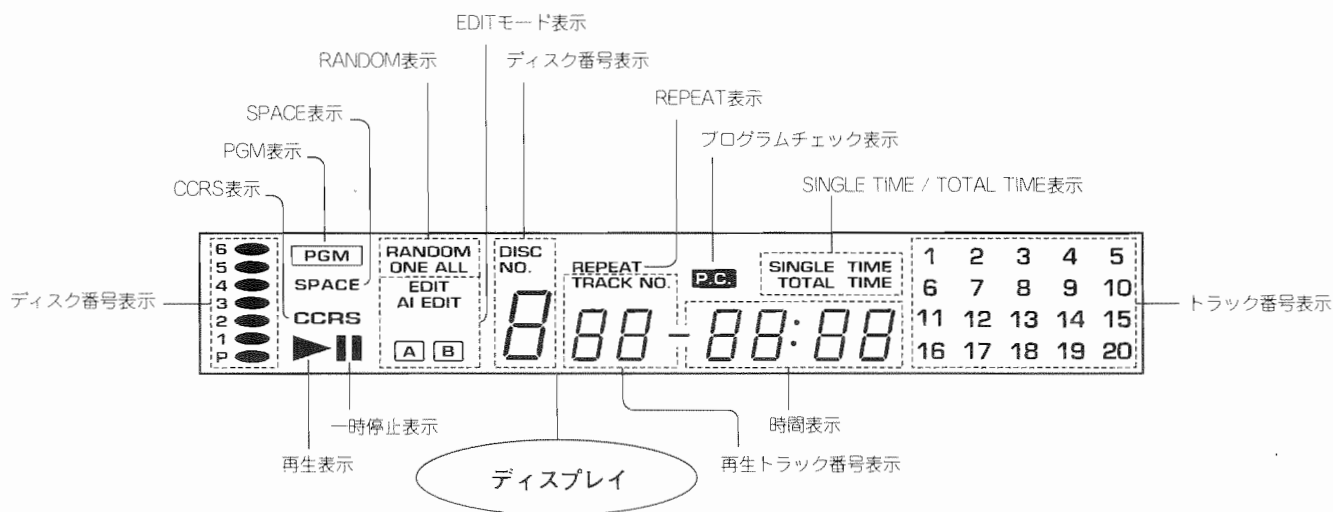
- | | | | |
|-----------------------------|------|---|------|
| ① MIC端子 | - 66 | ⑭ LINEAR ACOUSTIC (MAIN, SUB - OMNI)キー | - 18 |
| ② MIC MIXINGつまみ | - 66 | メインスピーカーとオムニスピーカー (別売) の音量バランスを調節します。 | |
| ③ DISPLAYキー | - 32 | ⑮ N.B.CIRCUITキー | - 19 |
| 押すたびにディスプレイ表示が切り換わります。 | | 低音を調節します。 | |
| ④ F.2CHキー | - 58 | ⑯ DUAL SOUNDキー | - 37 |
| ⑤ AUTOキー | - 32 | バーチャルリアリティーサウンド再生のときに使います。 | |
| ⑥ F.4CHキー | - 58 | ⑰ SOURCE DIRECTキー | - 19 |
| ⑦ BANDキー | - 32 | 色付けのない音を楽しみたいときに使います。 | |
| 受信する周波数バンド (AM/FM) を選びます。 | | ⑱ MAIN INPUTキー | - 22 |
| ⑧ DOLBY SURROUNDキー | - 64 | 再生する機器を選びます。 | |
| ⑨ TUNING (▼ ▲)キー | - 32 | ⑲ SUB - OMNI INPUTキー | - 37 |
| 受信する放送局を選びます。 | | バーチャルリアリティーサウンド再生のときに、オムニスピーカー (別売) から再生する機器を選びます。。 | |
| ⑩ DOLBY 3 STEREOキー | - 63 | ⑳ BALANCE (LEFT, RIGHT)キー | - 19 |
| ⑪ DEPTHキー | - 62 | 左右のスピーカーの音量を調節します。 | |
| 音の奥行き感を調節するときに使います。 | | ㉑ VOLUME CONTROLつまみ | - 19 |
| ⑫ CD RECキー | - 50 | ㉒ SOURCE DIRECT表示 | |
| CDを録音しながら他のソースの音を聴くことができます。 | | SOURCE DIRECTがONのとき点灯します。 | |
| ⑬ OFFキー | | | |
| サラウンドやプレゼンスモードを解除します。 | | | |

12 パワーアンプ/グラフィックイコライザー部



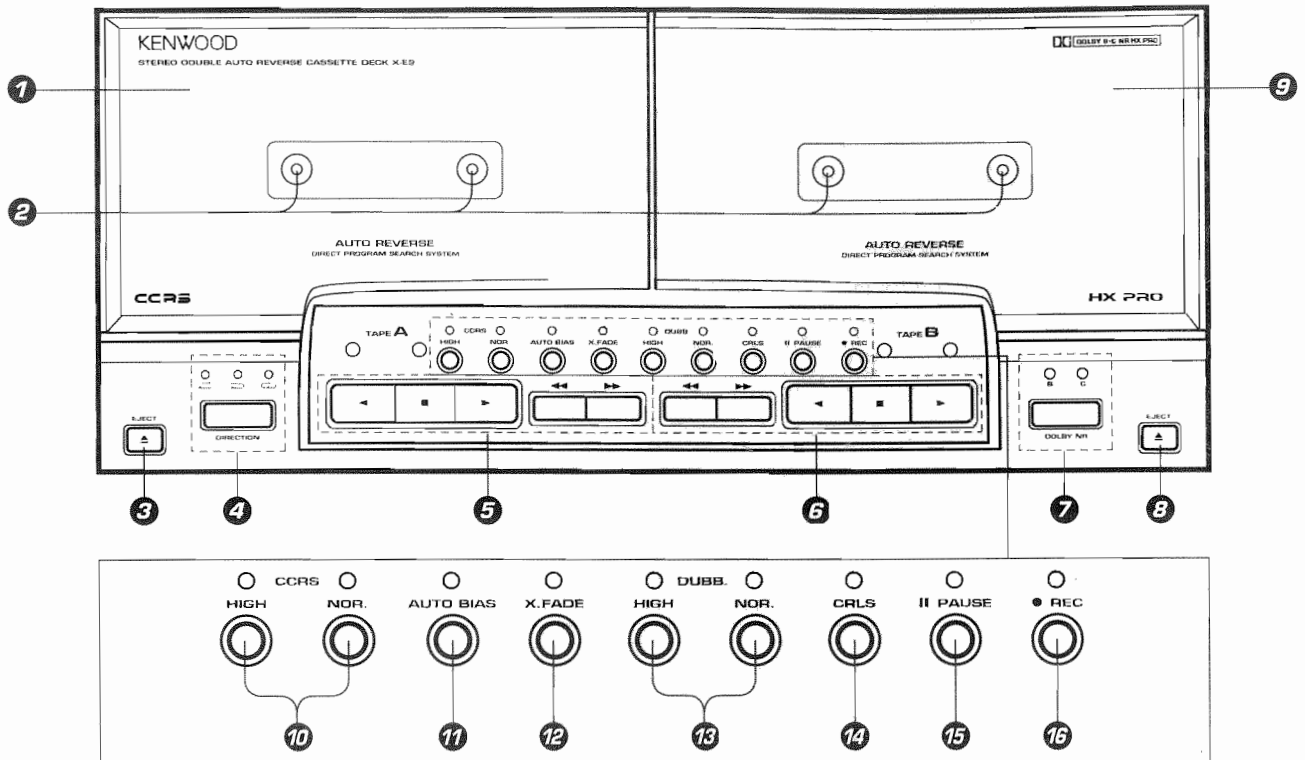
- | | | | |
|---|------|---------------------------------|------|
| ① PHONES端子 | - 18 | ⑪ FREQUENCY (◀ ▶)キー | - 55 |
| ② プリセットキー (1~5) | - 54 | 調整したい周波数を選ぶときに使います。 | |
| ③ FLATキー | - 55 | ⑫ EQ. LEVEL (▼ ▲)キー | - 55 |
| イコライザーカーブをフラット (平坦) にします。 | | イコライザーカーブのレベルを調節します。 | |
| ④ EQ. MEMOキー | - 55 | ⑬ S.W. EFFECTキー | - 18 |
| イコライザーパターンを記憶します。 | | スーパーウーファー (別売) の効果をON / OFFします。 | |
| ⑤ R/Mキー | - 54 | ⑭ AIキー | - 53 |
| 呼び出すカーブをREFERENCE / MANUALに切り換えます。 | | ディスクに合ったイコライザーカーブを自動的に設定します。 | |
| ⑥ POWERキー | - 18 | | |
| 電源のON / OFFをします。 | | | |
| ⑦ DISPLAYキー | - 52 | | |
| 押すたびに、グラフィックイコライザー、スペクトラムアナライザー、デモ、ディスプレイOFFが切り換わります。 | | | |
| ⑧ EQ. EFFECTキー | - 54 | | |
| イコライザー効果のON / OFFをします。 | | | |
| ⑨ CHARACTERキー | - 52 | | |
| 押すたびに、スペクトラムアナライザーの表示モードが切り換わります。 | | | |
| ⑩ REC MODEキー | - 56 | | |
| カーステレオ、ヘッドホンステレオ用のテープを作るときにお使いください。 | | | |

CDプレーヤー部



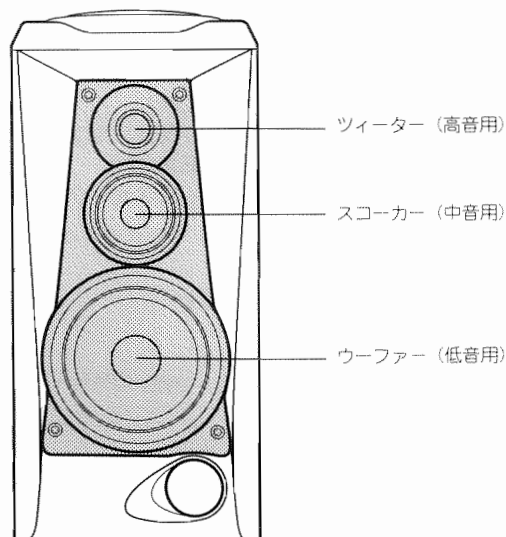
- | | | | |
|---|------|-------------------------|------|
| ① RANDOMキー
毎回曲を無作為に再生します。 | - 27 | ⑥ サーチキー
早送り、早戻しをします。 | - 23 |
| ② REPEATキー
繰り返し再生をするときに使います。 | - 26 | ⑦ スキップキー
曲の頭出しをします。 | - 23 |
| ③ EDIT MODEキー
編集録音のモードを選びます。 | - 46 | ⑧ 停止キー
再生/一時停止キー | - 22 |
| ④ SPACEキー
PGMモードのときに押すと、曲と曲の間に数秒間の音のない部分を自動的に作ります。 | - 25 | ⑨ 再生/一時停止キー | - 22 |
| ⑤ TIMEキー
ディスプレイの時間表示モードを切り換えます。 | - 26 | ⑩ DOORキー | - 21 |
| | | ⑪ P. OPEN / CLOSEキー | - 21 |
| | | ⑫ M. EJECTキー | - 21 |
| | | ⑬ ディスクセクターキー (1~6、P) | - 22 |

14 カセットデッキ部



- ① Aデッキ用カセットホルダー
- ② テープランニングインジケータ
- ③ Aデッキ用イジェクトキー
- ④ DIRECTION切換えキー/インジケータ
再生モードを切り換えます。 - [29]
- ⑤ Aデッキ操作部
◀▶: 再生キー/
ディレクションインジケータ
■ : 停止キー
◀◀ : 巻き戻しキー
▶▶ : 早送りキー
- ⑥ Bデッキ操作部
◀▶: 再生キー/
ディレクションインジケータ
■ : 停止キー
◀◀ : 巻き戻しキー
▶▶ : 早送りキー
- ⑦ DOLBY NR切換えキー/インジケータ
- [28]
- ⑧ Bデッキ用イジェクトキー
- ⑨ Bデッキ用カセットホルダー
- ⑩ CCRSキー(HIGH,NOR.)/インジケータ
CDの最適録音レベルとテープの最適録音バイアスを自動的に設定し、録音をスタートさせます。 - [42]
- ⑪ AUTO BIASキー/インジケータ - [39]
テープの録音バイアスを、自動的に設定します。
- ⑫ X. FADEキー/インジケータ - [45]
曲の初めと終わりをフェードイン/フェードアウトし、曲の切れ目のない音楽テープが作れます。
- ⑬ DUBBキー(HIGH,NOR.)/インジケータ
テープをダビングするときに使います。 - [41]
- ⑭ CRLSキー/インジケータ - [39]
自動的に、適切な録音レベルを設定します。
- ⑮ 一時停止キー/インジケータ - [40]
- ⑯ 録音キー/インジケータ - [39]

スピーカー部



型式: LS-E9
キャビネット型式: バスレフ型
(図は右チャンネル)

リモコン部

入力切り換えキー

MAIN INPUTキー：再生する機器を選びます。
SUB INPUTキー：オムニスピーカー（別売）から再生する機器を選びます。

DUAL SOUNDキー SOURCE DIRECTキー

カセットデッキ操作キー

Aデッキを操作するときは、A/B切り換えスイッチをA側にします。（●、■キーは働きません）
Bデッキを操作するときは、A/B切り換えスイッチをB側にします。

数字／曜日キー

入力切り換えがCDのときは、CDプレーヤーの数字キーとして働きます。
入力切り換えがTUNERのときは、チューナーの数字キーとして働きます。
タイマー予約をするときは、曜日キーとして働きます。

VOLUME CONTROLキー

音量を調節します。

MUTEキー

一時的に音を消すときに使います。

サラウンド、プレゼンス関連キー

OFFキー、F.2CHキー、F.4CHキー、DEPTHキー、DOLBY SURROUNDキー、DOLBY 3 STEREOキー、MULTI LEVEL CONTROLキー、ASFC / DEPTH LEVELキー、REARキー、CENTERキー、DELAY TIMEキー、TEST TONEキー

スーパーウーファー／MD操作キー

スーパーウーファー（別売）を操作するときは、A/B切り換えスイッチをA側にします。
MD（ミニディスク）レコーダー（別売）を操作するときは、A/B切り換えスイッチをB側にします。

S.W.VOL.キー、S.W.EFFECTキー、S.W.POWERキー、◀▶キー、▶キー、●キー、■キー、■キー、

A/B切り換えスイッチ

■の部分のキーは、2通りの使い方ができます。用途に応じて機能を切り換えてください。

●白と茶色の文字で名前が印刷されているキーは、Aのとき茶色、Bのときは白で印刷された働きをします。

POWERキー

チューナー操作キー BANDキー、P. CALLキー

CDプレーヤー操作キー

◀▶▶▶キー、▶▶▶▶キー、■キー、▶|||キー、

LINEAR ACOUSTIC CONTROLキー

CD/タイマー操作キー

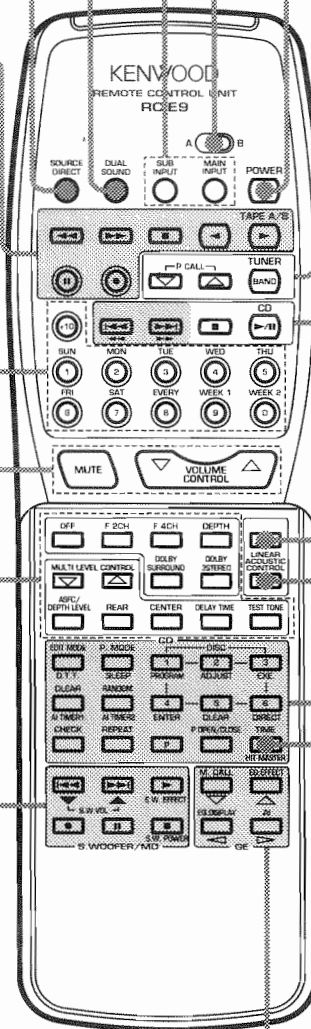
CDを操作するときは、A/B切り換えスイッチをB側にします。タイマーを操作するときは、A/B切り換えスイッチをA側にします。

EDIT MODEキー、P.MODEキー、ディスクセクターキー（1~6、P）
CLEARキー、RANDOMキー、CHECKキー、REPEATキー、P.OPEN / CLOSEキー、TIMEキー、O.T.T.キー、SLEEPキー、PROGRAMキー、ADJUSTキー、EXE.キー、AI TIMER1キー、AI TIMER2キー、ENTERキー、CLEARキー、DIRECTキー、

HIT MASTERキー

グラフィックイコライザー操作キー

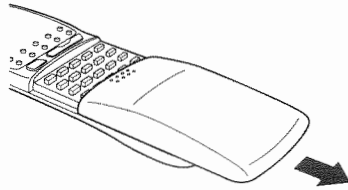
▽ ▲ キー、◀ ▶ キー、M.CALLキー、EQ.EFFECTキー、EQ.DISPLAYキー、AIキー



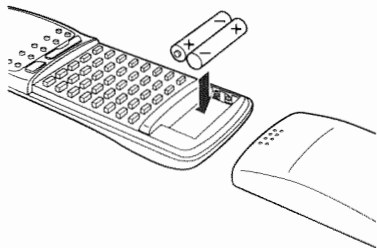
型名：RC-E9
赤外線方式

電池の入れかた

1 カバーをはずす

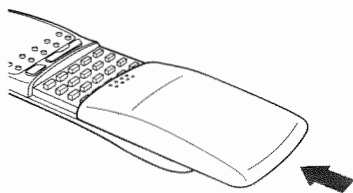


2 電池を入れる



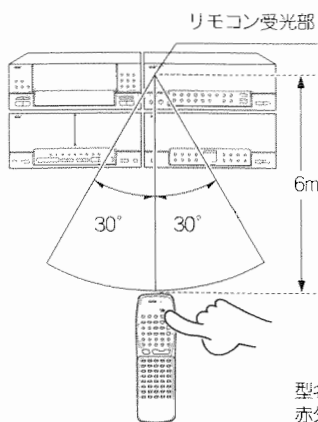
●単4乾電池 (R03/UM-4)2個を極性マークに従って入れる。

3 カバーを閉める



操作のしかた

パワーアンプ/グラフィックイコライザーの電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのPOWERキーを押すと、電源がONになります。電源がONになったら、操作したいキーを押します。



●リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

以後の各ページでは、説明の都合上、リモコンのカバーが省略されたイラストを使っています。あらかじめご了承ください。

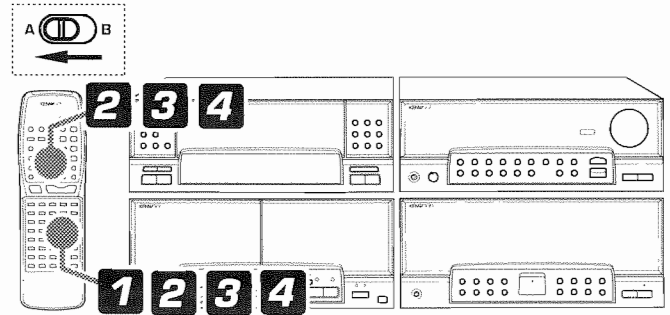
ご注意



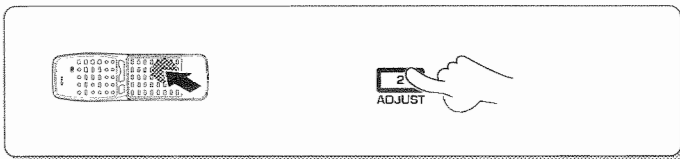
1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

時刻合わせ

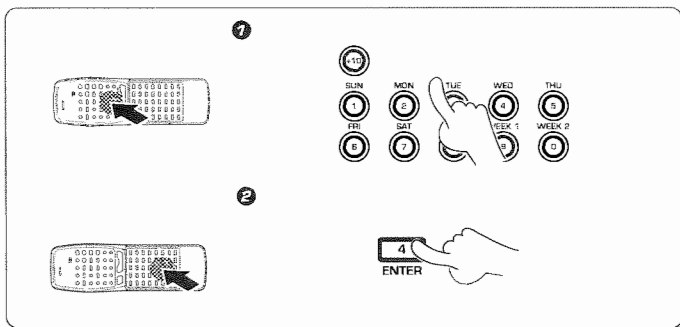
プリアンプ/チューナーには、時計機能がついています。タイマーを使う前に必ず正確な時刻に合わせてください。



1 ADJUSTキーを押す



2 西暦年を入力し、ENTERキーを押す

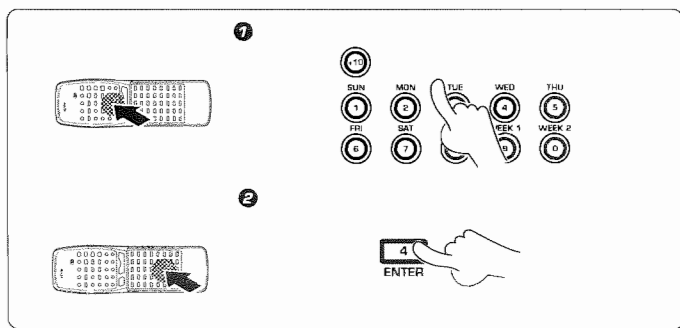


数字キーを押す順序は...

1994年なら... **1 9 9 4**

- 数字キーを間違えて押したときは、**CLEAR**キーを押して、やり直してください。

3 月、日を入力し、ENTERキーを押す



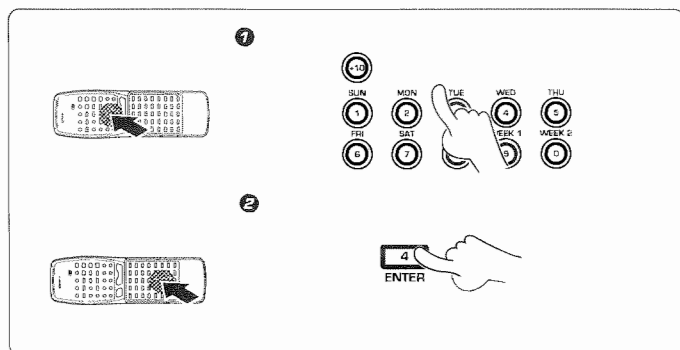
数字キーを押す順序は...

3月7日なら... **0 3 0 7**

12月30日なら... **1 2 3 0**

- 数字キーを間違えて押したときは、**CLEAR**キーを押して、やり直してください。

4 時刻を合わせてENTERキーを押す



数字キーを押す順序は...

午前9時5分なら... **0 9 0 5**

午後4時50分なら... **1 6 5 0**

- 数字キーを間違えて押したときは**CLEAR**キーを押して、やり直してください。
- 時報と同時に**ENTER**キーを押すと正確な時刻合わせができます。
- 停電があったり、電源プラグをコンセントから抜いたときは時刻表示が点滅します。その場合は、もう一度時刻合わせをしてください。

電源のON/OFF

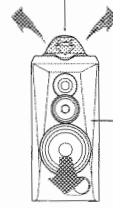
パワーアンプ/グラフィックイコライザーの電源キー (POWER) を押す。



- パワーアンプ/グラフィックイコライザーのPOWERキーだけで、基本システムの電源ON/OFFができます。

メインスピーカーとオムニスピーカー (別売) の音量バランスを調節する

オムニスピーカー (別売)

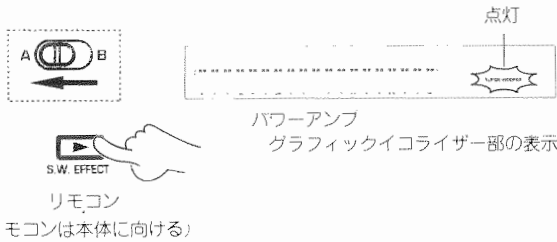


メインスピーカーとオムニスピーカーの音量バランスを自由に変えることができます。聴いている曲の雰囲気や、その日の気分に合わせて、いろんな音の響きが楽しめます。

- LINEAR ACOUSTICキーを押すとバランスの設定が表示され、表示中に押すと設定が変わります。
- MAINまたはSUB-OMNIキーを押し続けると、メインまたはオムニだけの音を楽しめます。
- オムニスピーカー (OMNI-A5) のボリュームつまみは、中央にセットしておいてください。

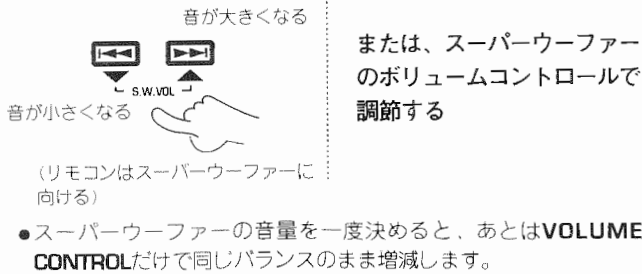
スーパーウーファー (別売) で、重低音を楽しむ

- 1 S.W.EFFECTキーを押す



パワーアンプ
グラフィックイコライザー部の表示

- 2 スーパーウーファーの音量を調節する



または、スーパーウーファーのボリュームコントロールで調節する

- スーパーウーファーの音量を一度決めると、あとはVOLUME CONTROLだけで同じバランスのまま増減します。

ヘッドホンで聴く

- 1 ヘッドホンのプラグをPHONES端子に差し込む



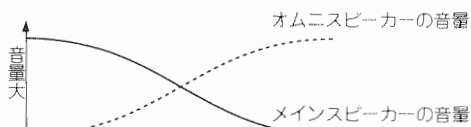
- すべてのスピーカーから音が出なくなります。
- オムニスピーカー (別売) から出る音は、ヘッドホンからは聴こえません。

- 2 音量を調節する

- プラグを抜くときは、音量を絞ってから抜いてください。

POWERスイッチのSTAND BYについて

本機では、電源プラグをコンセントに接続すると、ON/OFF電源に関係なくSTAND BYインジケータが点灯します。これは電源OFF時にも、メモリー保護のため、微弱な通電を行っているためです。これをスタンバイ状態といいます。STAND BYインジケータが点灯しているとき、リモコン操作によっても電源のON/OFFができます。



中央を示します バランスの設定を示します



メイン

サブ (オムニ)



ダイレクトで力強い

柔らかくて広がりがある

音量を調節する

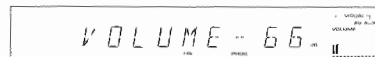


音が小さくなる

音が大きくなる



リモコン



音量の表示

一時的に音を消したいとき (リモコンのみ)



点滅

●もう一度押すと、元の音量に戻ります。

左右の音量バランスを調節する

中央を示します バランスの設定を示します



右側の音が小さくなる

LEFT RIGHT

左側の音が小さくなる

BALANCE

重低音の補正

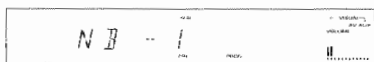
N.B. CIRCUIT : Natural Bass Circuit

押すたびに切り換わります。

N.B. CIRCUIT



- ①NB +1 : (弱い効果)
- ②NB +2 : (強い効果)
- ③NB -1 : (重低音を抑える)
- ④NB OFF : (N.B.Circuit を使わない)



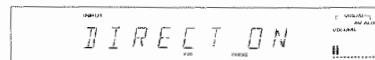
- 通常は、NB OFFの状態にしておいてください。
- より自然な低音にするために調節します。

よりピュアな音を楽しむ

SOURCE DIRECT



SOURCE DIRECTをONにすると、信号経路はバランス回路やDSPなどの音声処理回路を通らない、シンプルなものになり、音の純度が向上します。



- ONのときはパネルの"SOURCE DIRECT"インジケータが点灯します。
- もう一度キーを押すと解除されます。

プリアンプ/チューナーの入力切り換えとイージーオペレーション機能について

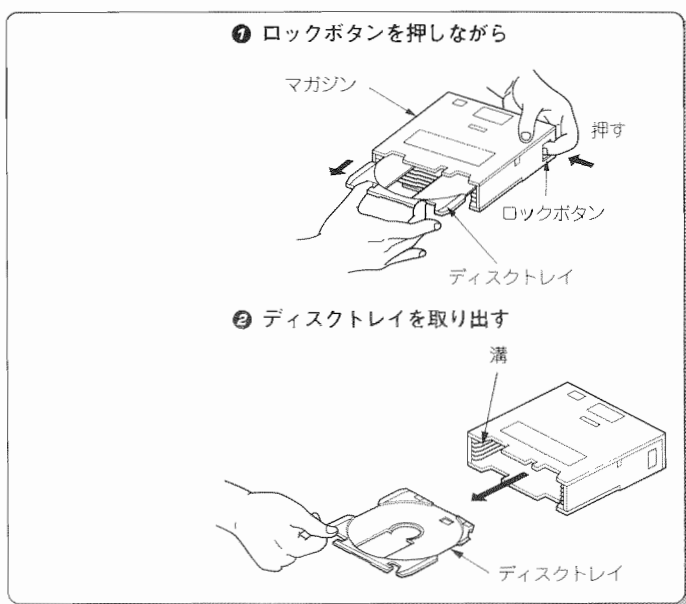
プリアンプ/チューナーのMAIN INPUTキーで入力 (TAPE,TUNER,CDなど) を切り換えるだけで、選んだ機器が再生を始めます。逆に、目的の機器を再生させると、入力切り換えキーが自動的にその機器に切り換わります。

リモコンでも同様に操作できます。なお、電源を入れたときは、電源を切る前に聴いていたソース (TUNER,CDなど) になります。

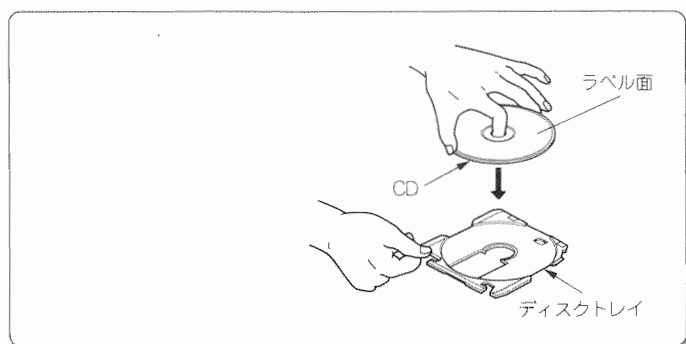
※バーチャルリアリティサウンド再生 (メインスピーカーとオムニスピーカー:別売 から別々の音を出す) のときは、イージーオペレーションは働きません。

マガジンにディスクを入れる

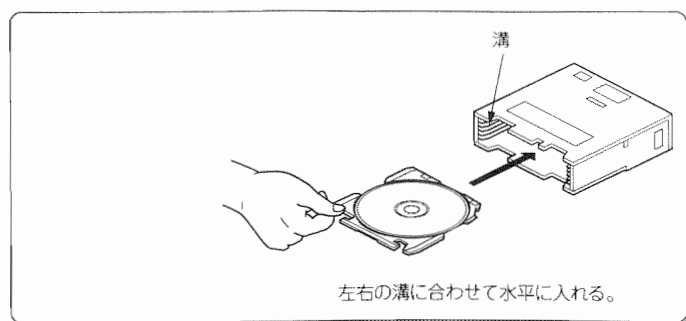
1 ディスクトレイを取り出す



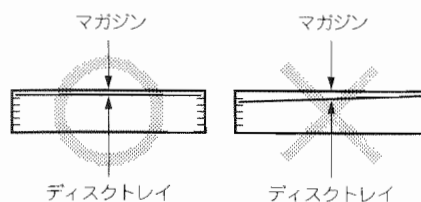
2 ディスクをのせる



3 トレイをマガジンに入れる

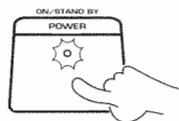


- 市販のCDシングル (8cm) ディスクアダプターは、本機では使用できません。CDシングル (8cm) ディスクを使用するときは、別売のCDシングル用マガジン”CDM-608”を使用してください。

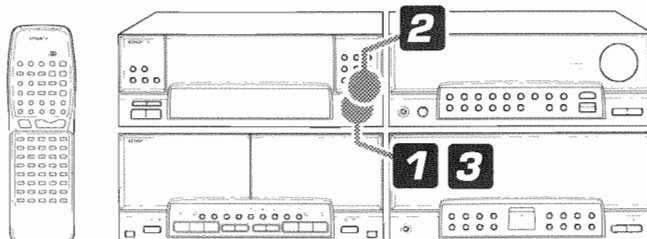


- ディスクは必ずディスクトレイにのせてマガジンに入れてください。
- ディスクの有無にかかわらず、マガジンには6枚のディスクトレイを入れておいてください。
- マガジンを運ぶ時は、水平に持ってください。

準備しましょう

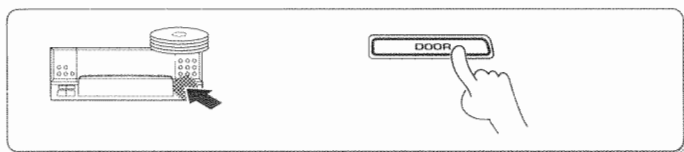


下記の操作をする前に必ずパワーアンプ/グラフィックイコライザーの電源をONにする



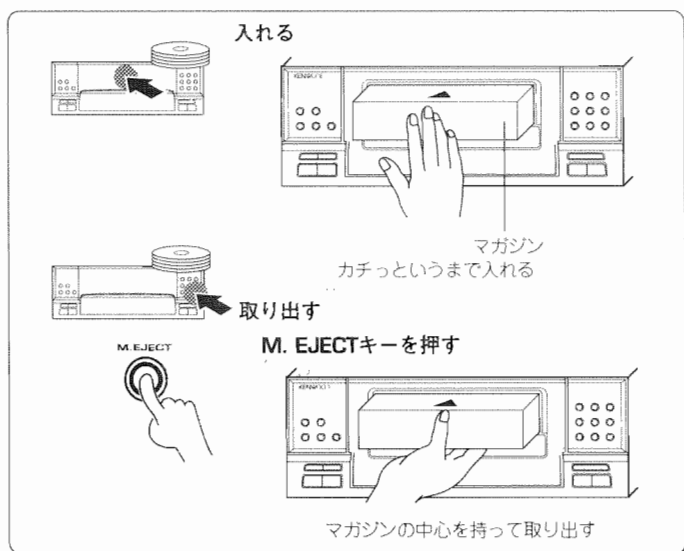
マガジンを入れる (取り出す)

1 ドアを開ける

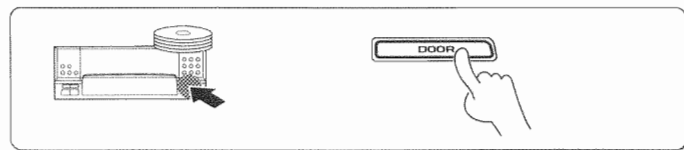


●M.EJECTキーを押すと、ドアが開いてマガジンが出てきます。

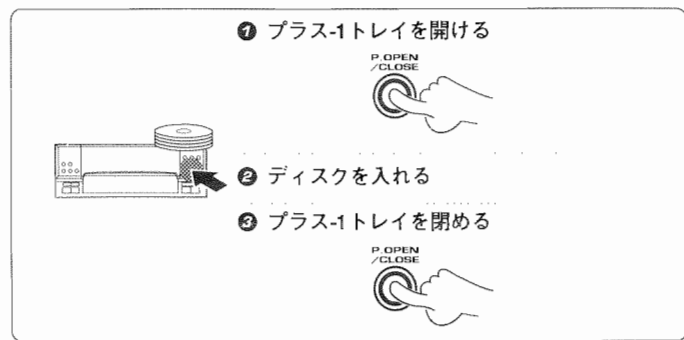
2 マガジンを入れる (取り出す)



3 ドアを閉める



プラス-1トレイにディスクを入れる



- ドアが開いてプラス-1トレイが出てきます。
- ディスクは、トレイの溝に合わせて、正しく置いてください。(ディスクを斜めに置くと、故障の原因になります。)



- プラス-1トレイが閉じてドアが閉まります。

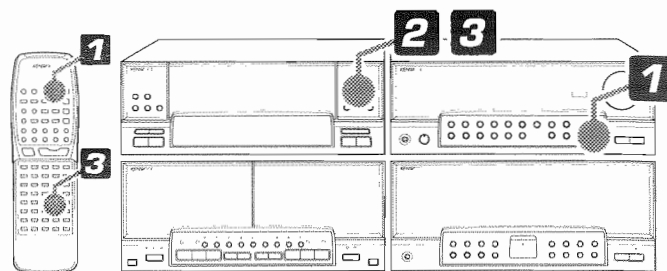


1曲目から順に聴く

XJ7M (J)

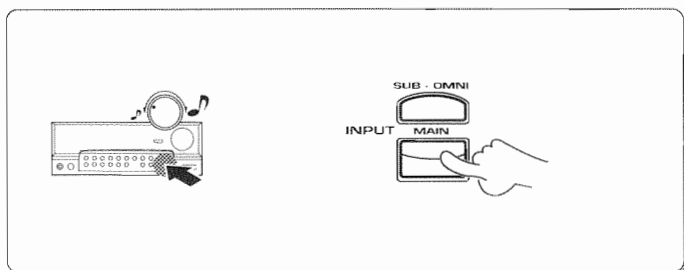
CDを、1曲目から、そのままの曲順で聴くときの使いかたです。

22



CDを聴く

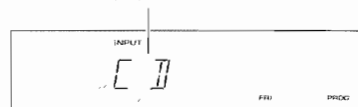
1 "CD" を選ぶ



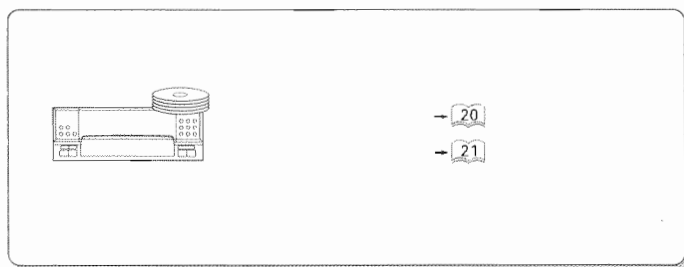
押すたびに切替わります。

- ① [CD]
- ② TUNER (周波数の表示)
- ③ TAPE
- ④ MD/DAT
- ⑤ VIDEO
- ⑥ AV AUX

"CD"の表示にします



2 ディスクを入れる

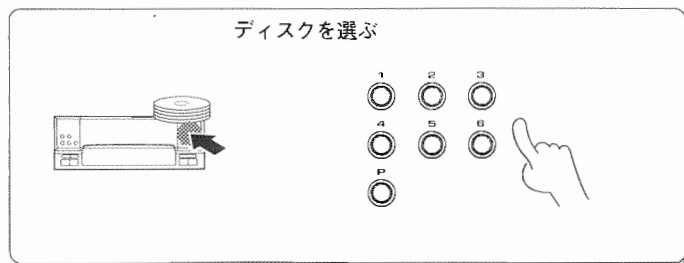


●1枚のディスクのみ再生するときには、マガジンを取り出しプラス-1トレイのみにディスクを入れます。

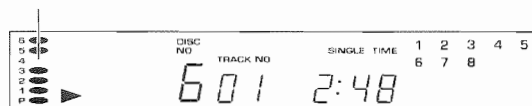
ディスクの有無にかかわらず、すべてのディスクインジケーターが点灯します。



3 再生を始める

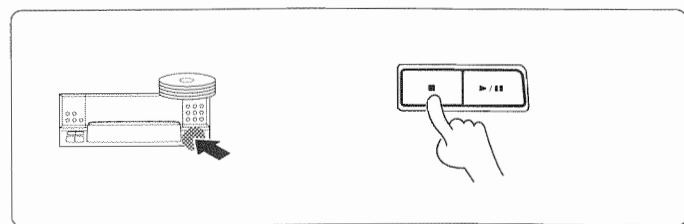


選ばれたディスクが無いとき消灯します。

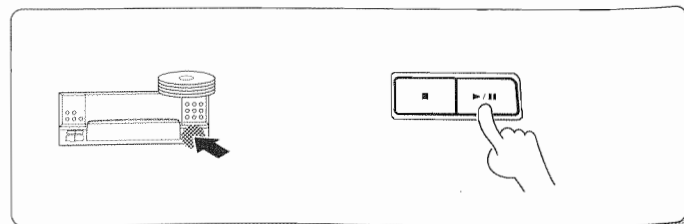


- 選ばれたディスクから、ディスクNo.順に再生が始まります。
- ディスクを選ばずに▶/|| キーを押すと、自動的に次の順番で再生されます。(P・1・2・3・4・5・6) P:プラス-1トレイ

再生を止めるには



一時停止するには



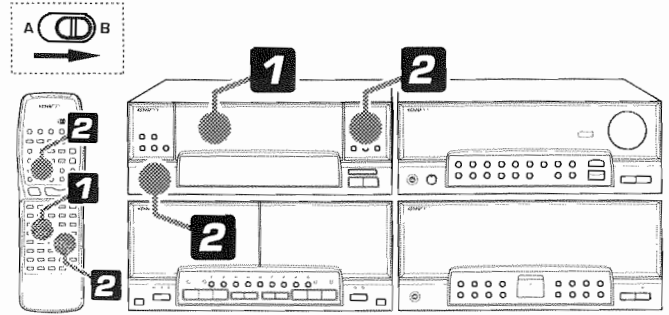
●押すたびに、一時停止と再生が切替わります。

準備しましょう

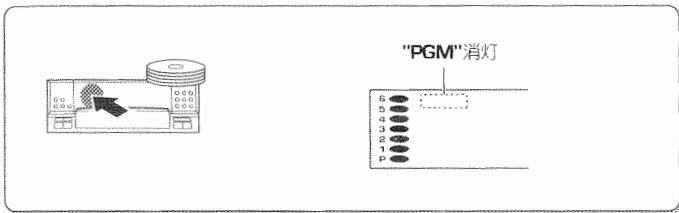
- MAIN INPUTキーで"CD"を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。

- 20

- 21

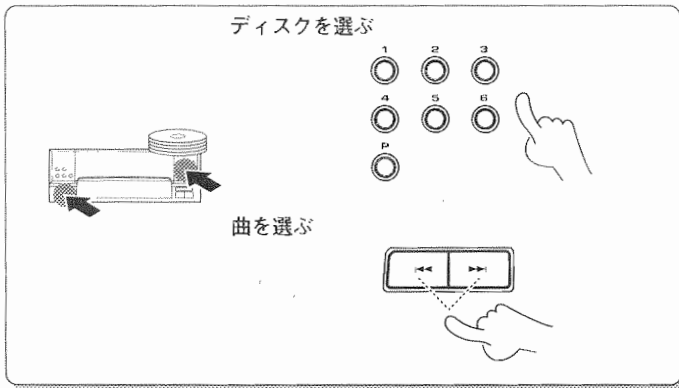


1 "PGM"表示の消灯を確かめる



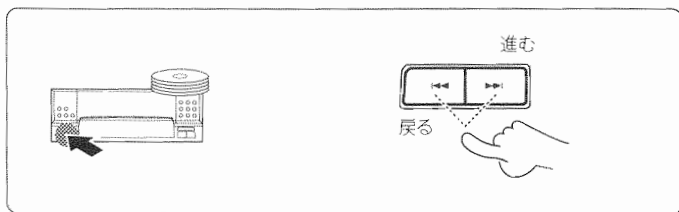
- "PGM"表示が消灯していないときは、リモコンのP.MODEキーを押して消灯させてください。

2 聴きたい曲を選ぶ



- 選んだ曲以降を再生します。
- トレーを開けた状態でディスクにない曲を選ぶと、ディスク最後の曲を再生します。
- トレーを閉めた後、および再生が始まってからは、ディスクにない曲を選ぶことができません。

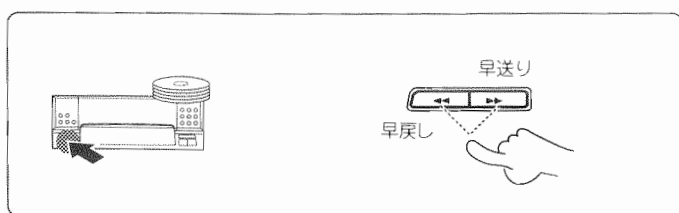
曲を飛び越すには (スキップ)



リモコンで操作するときは、A/B切換えスイッチをB側にします。

- 再生中に◀◀ キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。

早送り・早戻しするには (サーチ)



リモコンで操作するときは、A/B切換えスイッチをA側にします。

- 手を離れた所から、再生します。



曲順を自由にプログラムする

24

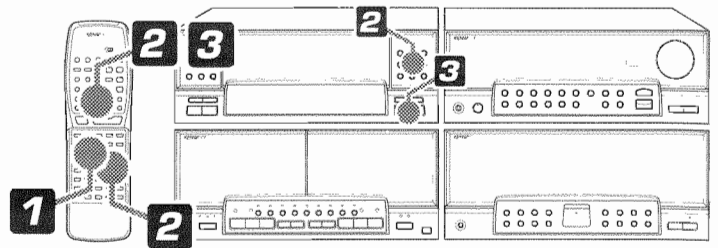
7枚のディスクの中から、好きな曲を好きな順番で（最大32曲）プログラムできます。

準備しましょう

- MAIN INPUTキーで"CD"を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。

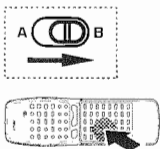
- 20

- 21



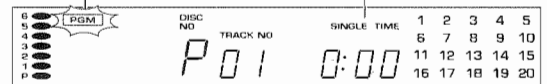
CDを聴く

1 PGMモードに切り換える



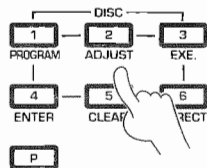
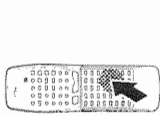
点灯

プログラムモードでは、"SINGLE TIME"表示のみです。



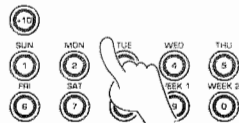
2 聴きたい順に曲を選ぶ

① ディスクを選ぶ



8秒以内に!

② 曲を選ぶ



選んだ曲番号を表示します



2枚以上のCDから曲を選ぶときは、①と②を繰り返してください。

- 32曲まで選べます。33曲になると、"FULL"と表示します。
- 間違えたときは**CLEAR**キーを押してから、選び直してください。
- ディスクを選んでから8秒以内に曲を選ばないと、そのディスクの全ての曲がプログラムされます。
- ディスクの入っていないDISC No.を選ぶと、いったんプログラムされますが、再生のときにキャンセルされます。

3 再生する



- 選んだ順（P-番号順）に再生します。
- 再生中に、◀◀ または ▶▶ キーを押すと、押した方向へ飛び越します。

再生を止めるには



曲番号順の再生にするには



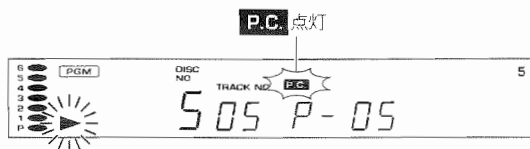
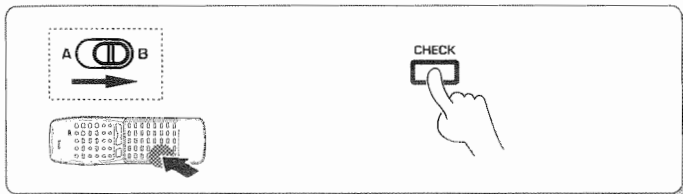
- そのとき聴いている曲から、曲番号順の再生に戻ります。

オートスペース機能について

カセットに録音するときに便利な機能です。曲順のプログラム中にSPACEキーを押すと、曲間に数秒間の無音部分が作られます。この状態でカセットに録音すれば、DPSS機能（無音部分を探す）を使って、テープの頭出しやリピート再生などが確実にこなえます。

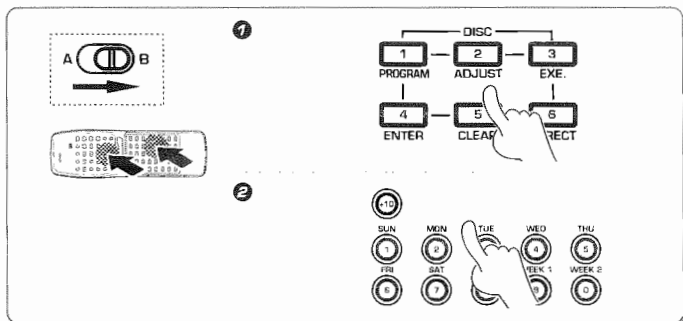
- 前曲と次曲の演奏が繋がっている場合でも（クラシックやライブ収録など）、別々の曲番号がついていれば無音部分が作られます。
- 解除するときは、もう一度SPACEキーを押してください。

プログラムした曲順を確認するには



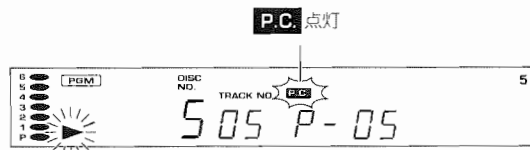
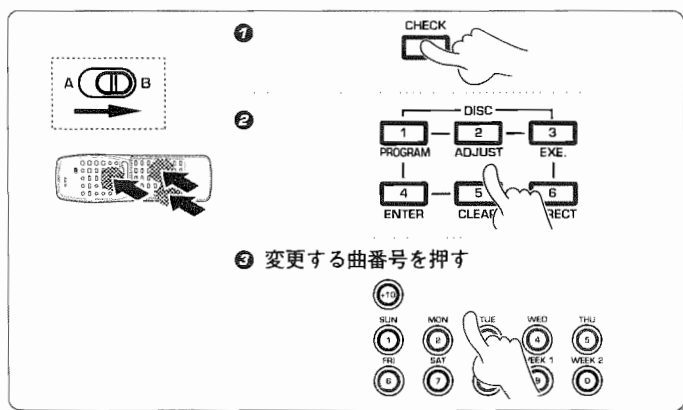
- 押すたびに、プログラムした曲順(P-NO)と、DISC番号を表示します。
- 数秒後に元の表示に戻ります。

曲を追加するには



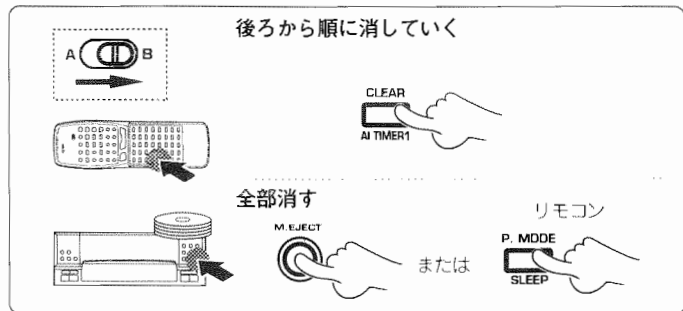
- 追加したいDISC番号と曲番号を選ぶと、プログラムの最後に追加されます。

曲を変更するには



- 変更したい曲番号が表示されるまで、繰り返しCHECKキーを押します。
- "P.C."表示の点灯中に押してください。
- そのとき聴いている曲は変更できません。

プログラムした曲を取り消すには



- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。
- そのとき聴いている曲は取り消せません。

- P. OPEN/CLOSEキーでもプログラムの内容が、全部消えます。



CDプレーヤーの時間表示について

TIMEキーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

表示	説明
① 1:23	再生中の曲の経過時間
② - 2:37	再生中の曲の残り時間
③ 23:45	ディスク全体の経過時間
④ - 36:15	ディスク全体の残り時間
⑤ - -:--	21曲目以降の再生中は、“SINGLE TIME”の残り時間がこのようになります。

●PGMモードとRANDOMモードでは、SINGLE TIME表示のみです。



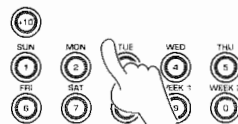
準備しましょう



- MAIN INPUTキーで“CD”を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。

- 20

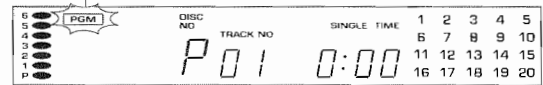
- 21

選んだ曲だけを繰り返すには

- PGMモードにする
 
- ディスクを選ぶ
 
- 曲を選ぶ
 

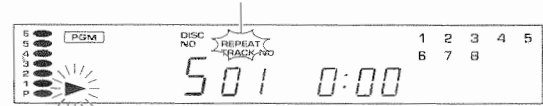
8秒以内に
- REPEATを指定する
 
- 再生する
 

“PGM”表示を点灯させます。



- ディスクを選んでから8秒以内に曲を選ばないと、そのディスクの全ての曲がプログラムされます。
- 選んだ曲全部を繰り返します。
- 1曲だけ選んだ場合は、その曲だけを繰り返します。
- ②と③を繰り返して32曲まで選べます。
- プラス1トレイのみで繰り返し再生をするときは、③でプラス1トレイを選んで8秒以上待ちます。

“REPEAT”表示を点灯させます。






繰り返し再生をやめるには

もう一度、REPEATキーを押します。

- “REPEAT”表示が消灯し、CDプレーヤーのモードに従った再生に戻ります。

ディスク全体を繰り返すには

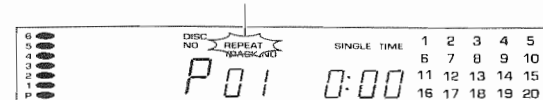
- “PGM”表示を消灯させる
 
- REPEATを指定する
 
- 再生する
 

- マガジン、プラス1トレイにあるディスクの全ての曲を繰り返し再生します。

“PGM”表示を消灯させます。



“REPEAT”表示を点灯させます。



繰り返し再生をやめるには

もう一度、REPEATキーを押します。

- “REPEAT”表示が消灯し、CDプレーヤーのモードに従った再生に戻ります。

順番にこだわらずに聴く (ランダムプレイ)



XJ7M (J)

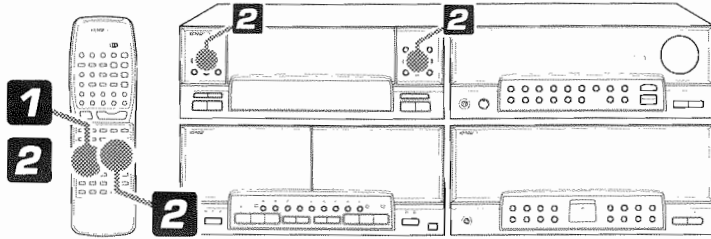
毎回曲がランダム (無作為) に選択されるので、長時間でも飽きることなく楽しめます。

準備しましょう

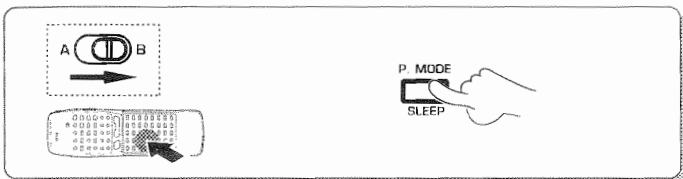
- MAIN INPUTキーで"CD"を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。

→ 20

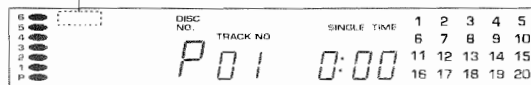
→ 21



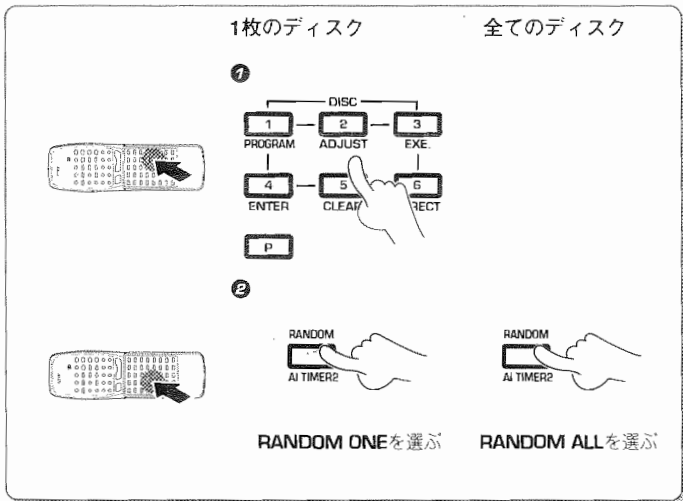
1 PGM表示を消灯させる



"PGM"表示を消灯させます。



2 ディスクを選ぶ

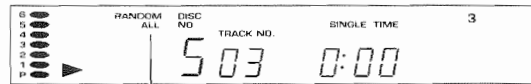


最初にディスク3の7曲目が選ばれたとき



- 1曲終わると次々に曲を選び、再生していきます。

次にディスク5の3曲目が選ばれたとき



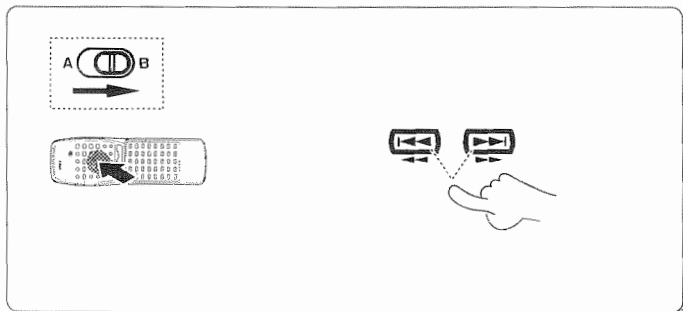
"RANDOM ONE/RANDOM ALL" の表示

押すごとに切り換わります。

- ① RANDOM ONE
- ② RANDOM ALL
- ③ 消灯

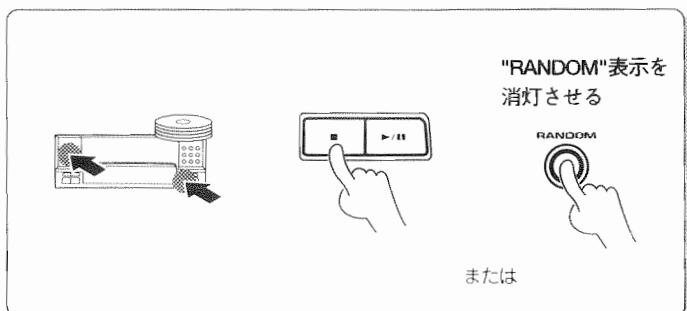
- 同じ曲が連続して再生されることはありませんが、もう一度再生されることがあります。

曲の途中で別の曲を選ぶには

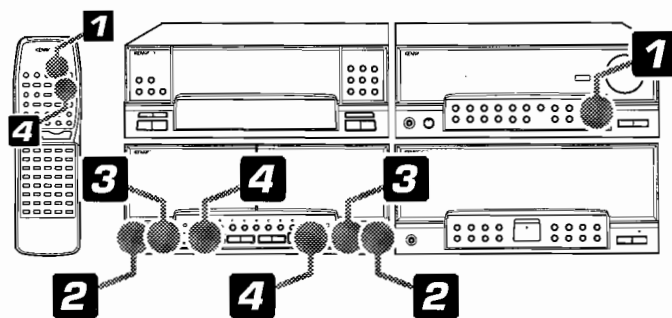


- ◀▶ キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには



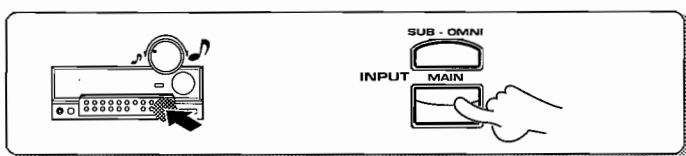
- ■ キーを押すと再生が停止します。
- RANDOM キーを押すと通常再生になります。



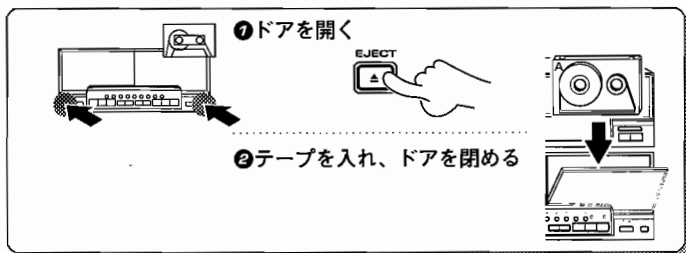
テープの再生

1 "TAPE" を選ぶ

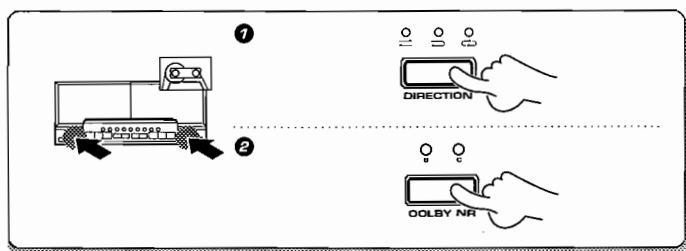
テープを聴く



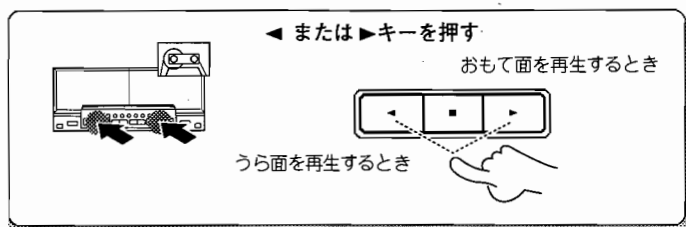
2 カセットテープを入れる



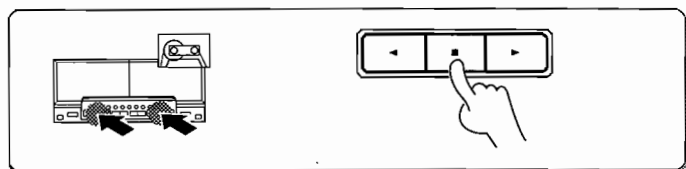
3 再生モードを決める



4 再生する



再生を止めるには

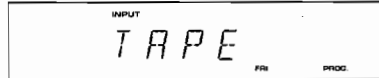


●テープが完全に停止するまで、イジェクトキーを押さないでください。

押すたびに切り替わります

- ① []
- ② TUNER (周波数の表示)
- ③ TAPE
- ④ MD/DAT
- ⑤ VIDEO
- ⑥ AV AUX

"TAPE"の表示にします



- ノーマル、クローム、メタルのテープ選択は自動設定されます。
- テープはたるみのない状態にしてください。
- ドアは、確実に閉めてください。

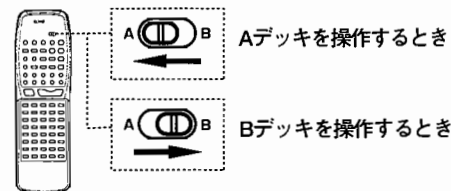
押すたびに切り替わります

- ① "∞" エンドレス再生をする
- ② "■" 片面のみを再生して止まる
- ③ "◀▶" 両面を再生して止まる
(◀キーを押したときは、うら面だけを再生して止ります。)

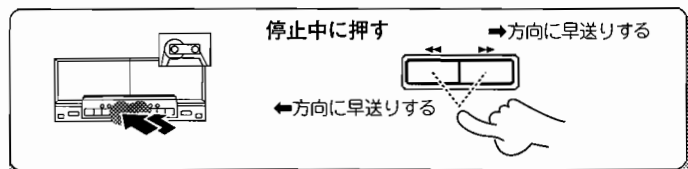
- ① DOLBY NR "B" 一般的なタイプ
- ② DOLBY NR "C" より高性能なタイプ
- ③ DOLBY NR "OFF"(消灯) DOLBY NRを使わない

●DOLBY NRは、テープの録音状態に合わせて選んでください。

●リモコンを使う場合は、A/B切換えスイッチで、操作するデッキを選びます。



早送り・早戻しするには



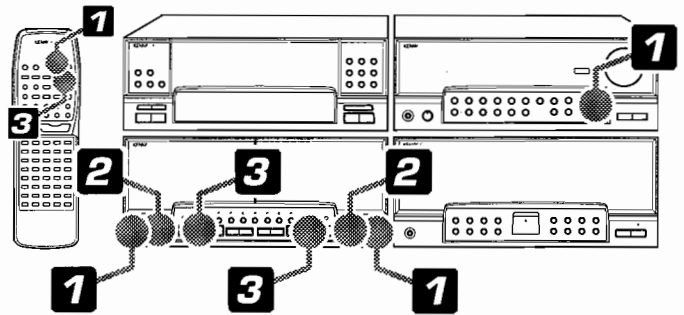
●早送りを止めるときは、■キーを押してください。

リレー再生のしかた

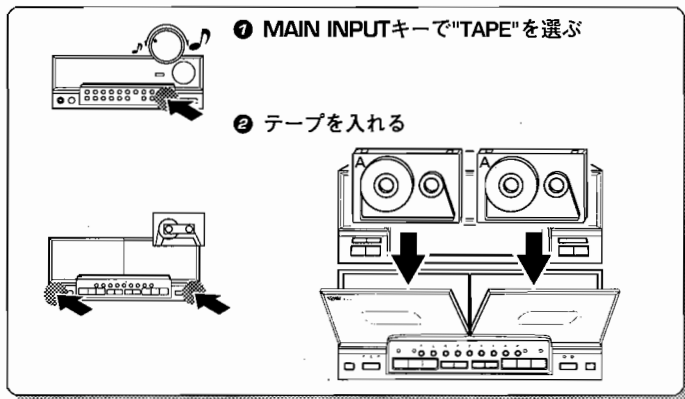


XJ7M (J)

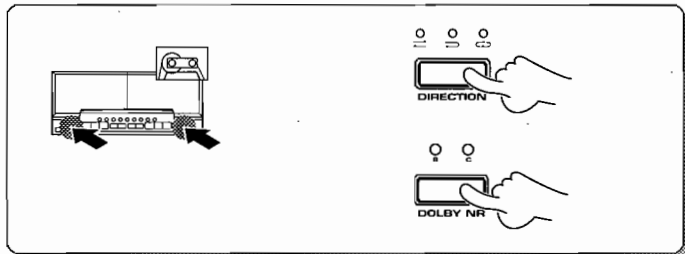
A,B両デッキに入れたテープを交互に繰り返し再生します。



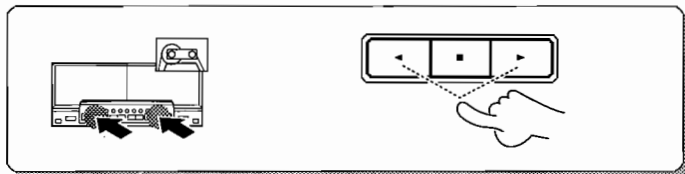
1 テープを入れる



2 再生モードを選ぶ



3 再生する



テープを聴く

●テープは走行方向インジケータと同じ向きの面を再生します。

押すたびに切り替わります

- ① "◀▶"このときは、リレー再生になりません。
- ② "A/B"A,Bデッキの片面だけを繰り返し再生します。
- ③ "A/B"A,Bデッキの両面を繰り返し再生します。

- ① DOLBY NR "B"一般的なタイプ
- ② DOLBY NR "C"より高性能なタイプ
- ③ DOLBY NR "OFF"(消灯)DOLBY NRを使わない

●DOLBY NRは、テープの録音状態に合わせて選んでください。

●押した方のデッキから再生が始まります。

ドルビーノイズリダクション(NR)とは

ドルビーNRシステムは、テープを聴くときの"サー"というヒスノイズを、できるだけ聞こえにくくするためのシステムです。BタイプとCタイプがありますが、録音するときと再生するときと同じタイプを選ばないと効果がありません。

テープには"B","C"の区別を書き込んでおきましょう。

ドルビー-BNR:一般的なドルビーNR方式です。

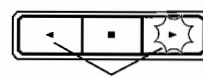
ドルビー-CNR: Bタイプよりもノイズ低減効果が優れています。

本機だけで録音再生するときはドルビー-CNRの利用をおすすめします。

走行方向表示について

イージーオペレーションなどで、再生や録音が自動スタートするとき、テープが進む方向を、◀▶キーのインジケータ(◀▶)の点灯で示します。最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。

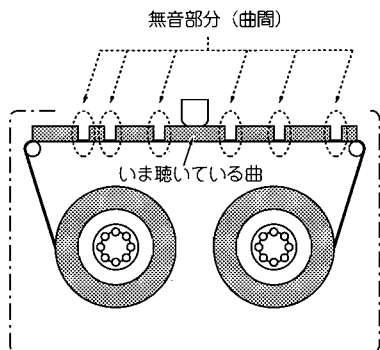
(向きを変えるときは、いったん逆向きの▶キーを押してから◀キーを押します。)



走行方向表示

DPSS (ダイレクト・プログラム・サーチ・システム) について

4秒以上の無音部分を「曲間」として探し出す機能で、4種類の使いかたがあります。

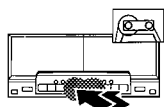


テープを聴く

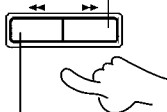
1. 飛び越し選曲 : 途中の曲を飛び越して、目的の曲の最初から再生します。最大16曲まで飛び越せます。
2. ダッシュ&プレイ : 10秒以上の無音部分を早送りで飛び越しながら、繰り返し再生します。
3. 巻き戻し再生 : テープを巻き戻して、最初から再生します。
4. 1曲リピート再生 : 同じ曲を16回繰り返して再生します。

飛び越し選曲

おもて面を聴いているとき (▶ 点灯中)



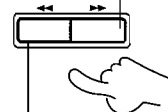
次の曲を聴くとき : 1回押す
4曲先を聴くとき : 4回押す



聴いている曲の最初に戻る : 1回押す
4曲前に戻る : 5回押す

うら面を聴いているとき (◀ 点灯中)

聴いている曲の最初に戻る : 1回押す
4曲前に戻る : 5回押す

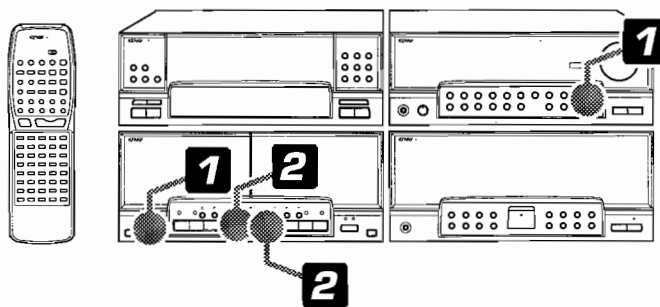


次の曲を聴くとき : 1回押す
4曲先を聴くとき : 4回押す

ご注意

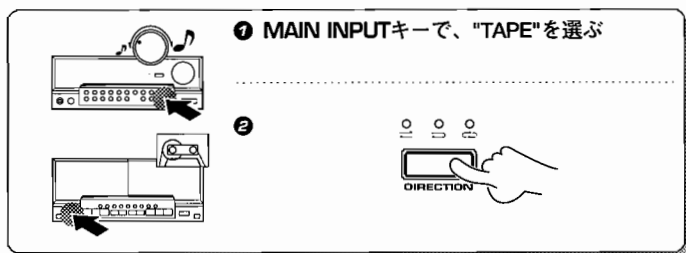


1. DPSSは、Aデッキ、Bデッキ同時には使えません。
2. 次のようなテープでは、DPSSが正常に動作しません。
 - 会話、落語などで音声が入り切れるテープ
 - クラシック音楽など、1曲の中に、音量が極端に小さくなる場所のあるテープ
 - 曲間に、大きな雑音などが録音されているテープ
 - 曲間が4秒未満のテープ
 - 小さな音で録音されたテープ
 - クロスフェード録音 (前曲の最後に、次曲が重なっていること) されたテープ

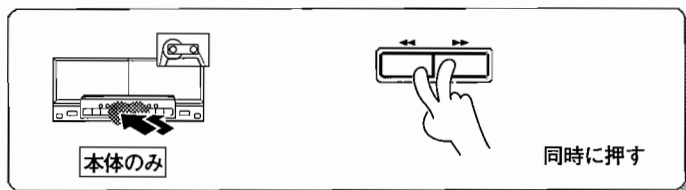


ダッシュ&プレイ

1 再生モードを選ぶ



2 ダッシュ&プレイを始める



再生中に10秒以上の無音があると、その部分を自動的に早送りし、音声のある部分だけを再生します。

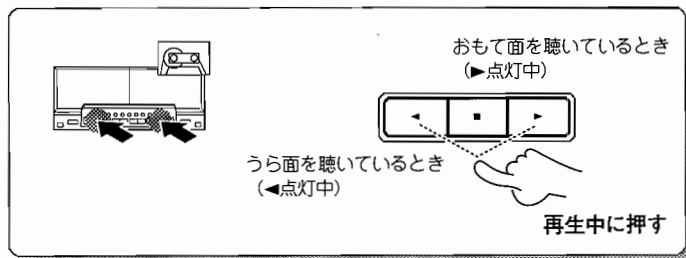
押すたびに切り換わります

- ① "↔" 両面を8回繰返し再生して止まる
- ② "←" 片面だけを8回繰返し再生して止まる
- ③ "→" 両面を1回だけ再生して止まる

● A,B両方のデッキにテープが入っているときに、"→"を選ぶと、一方のデッキのダッシュ&プレイを始めます。これを16回繰返して停止します。

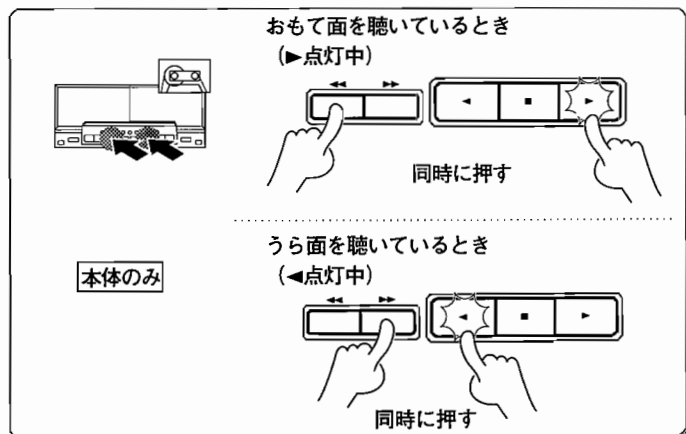
● キーを押すと再生が停止し、ダッシュ&プレイは取り消されます。

1曲リピート再生



- そのとき聴いている曲を、16回繰返し再生し、通常の再生に戻ります。
- キーを押すと再生が停止し、1曲リピートは取り消されます。

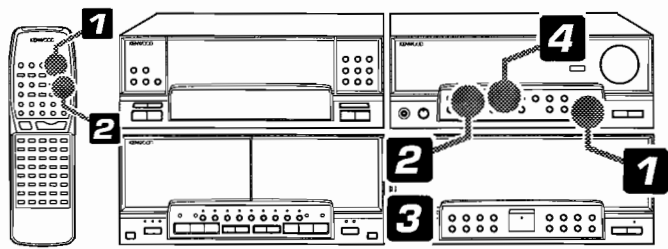
巻き戻し再生



● そのとき聴いている面の最初まで巻き戻してから、再生が始まります。

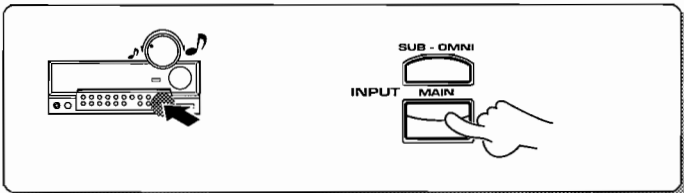
32

ラジオ放送を受信する方法です。放送局を最大20局まで記憶させ、ワンタッチで受信することもできます。
 本機はAMステレオ対応です。スポーツ中継やドラマなどを臨場感あふれる音声で楽しむことができます。
 AMステレオ放送を行なう局は、全国に広がりつつあります。AMステレオによる新しい発見をお楽しみください。(新聞、雑誌等のラジオ番組表でお確かめください。)



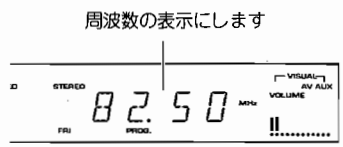
放送を受信する

1 "チューナー" を選ぶ



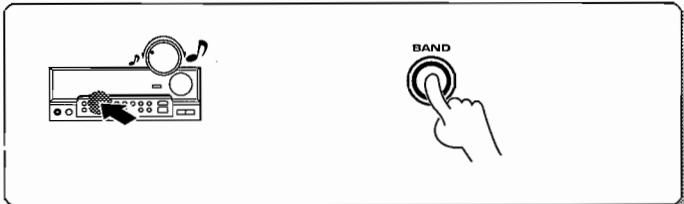
押すたびに切り替わります。

- ① []
- ② TUNER (周波数の表示)
- ③ TAPE
- ④ MD/DAT
- ⑤ VIDEO
- ⑥ AV AUX



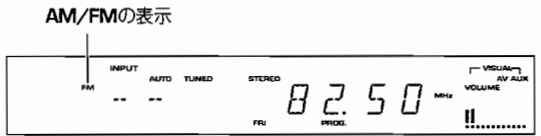
放送を聴く

2 AM/FMのどちらかを選ぶ

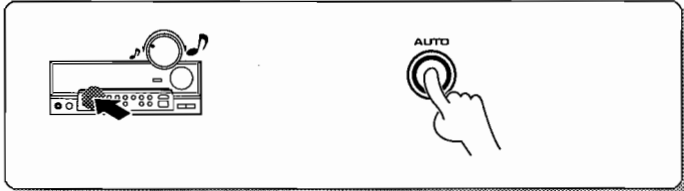


押すたびに切り替わります。

- ① AM
- ② FM



3 選局方法を選ぶ



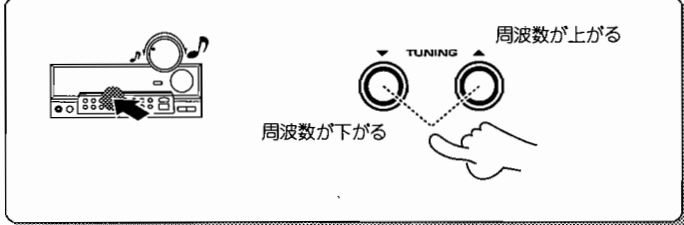
押すたびに切り替わります。

- ① AUTO点灯 (オート選局)
- ② 消灯 (マニュアル選局)

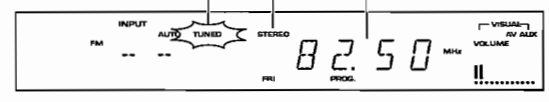
●通常は、AUTO (オート選局) にしておきます。

電波が弱く、雑音が多いときはマニュアル選曲にします。(マニュアル選局のとき、ステレオ放送はモノラル受信になります。)

4 放送局を選ぶ



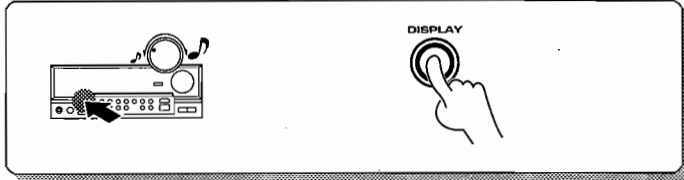
ステレオ受信時に点灯
 受信すると、"TUNED"が点灯 周波数の表示



オート選局のとき: 押すたびに次の放送局を受信します。
 マニュアルのとき: 受信するまで繰り返し押し。または押したままにする。

DISPLAYキーの使いかた

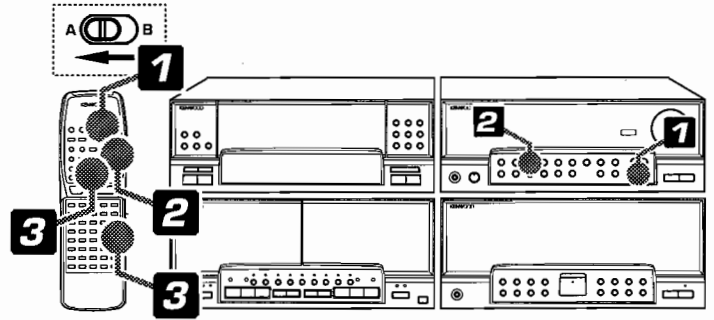
DISPLAYキーを押すたびに、プリアンプ/チューナーの表示が切り替わります。



押すたびに切り替わります。

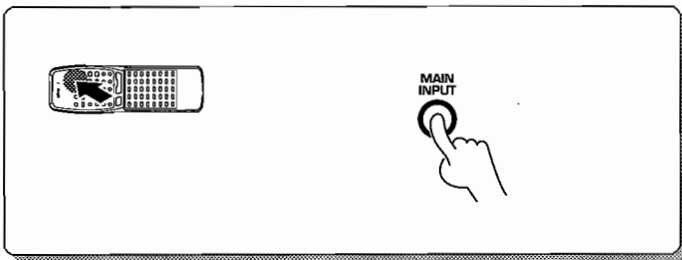
- ① 入力ソース表示: 選ばれている入力ソースを表示します。チューナーが選ばれているときは、受信中の周波数を表示します。
 - ② プレゼンスモードの表示
 - ③ 時刻表示
 - ④ 月日表示
- 選局にかかわる操作をすると、数秒間だけ、周波数表示になります。

●電源がOFFのときは、月日/時刻表示の切り換えになります。



周波数を指定して受信する

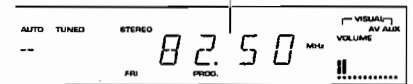
1 "チューナー" を選ぶ



押すたびに切り替わります。

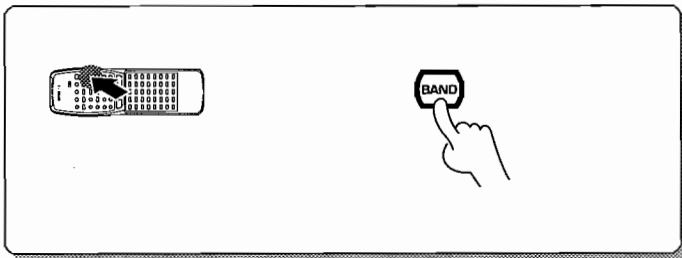
- ① CB
- ② TUNER (周波数の表示)
- ③ TAPE
- ④ MB/BAT
- ⑤ VIDEO
- ⑥ AV AUX

周波数の表示にします



放送を聴く

2 AM/FMのどちらかを選ぶ



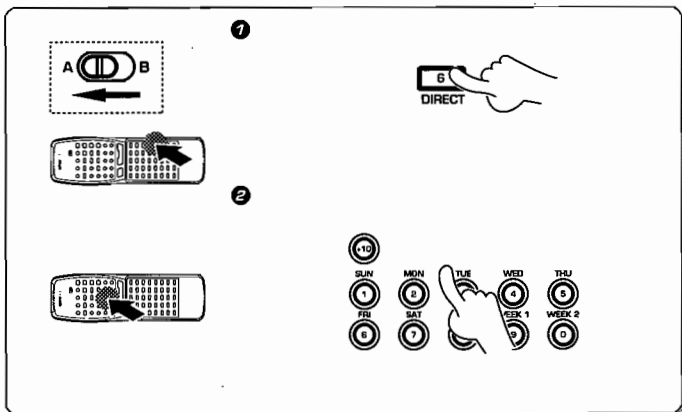
押すたびに切り替わります。

- ① AM
- ② FM

AM/FMの表示



3 周波数を指定する

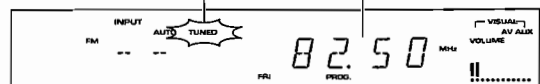


受信する周波数と、数字キーの押しかた

- AM 810kHz : 8 1 0
- AM 1242kHz : 1 2 4 2
- FM 80MHz : 8 0 0
- FM 82.5MHz : 8 2 5

受信すると、"TUNED"が点灯

周波数の表示

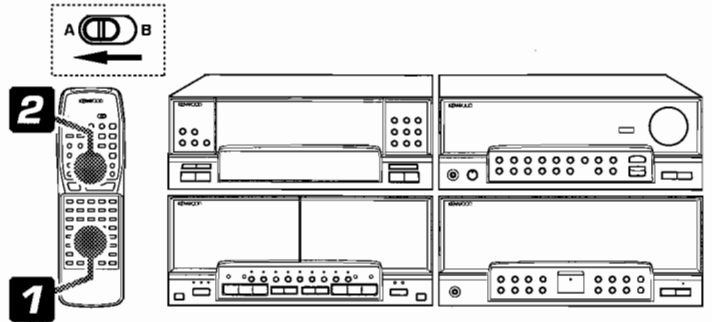


- まちがった周波数を入力すると、ディスプレイが点滅します。正しい周波数を入力してください。
- まちがえたときは、CLEARキーを押してからやり直します。

最大20局までの放送局に、番号を付けて記憶させておけば、次からは、番号を指定するだけで、受信できるようになります。

準備しましょう ●記憶させたい放送局を受信している状態にする。

- 32



1 受信中に、ENTERキーを押す



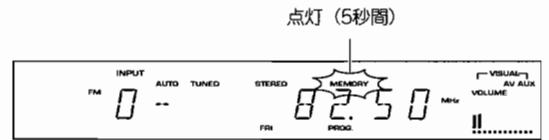
放送を聴く



5秒以内に手順 2 へ

5秒以上たった場合は、もう一度押し直します。

2 1~20のプリセットナンバーをつける



数字キーを押す順序は...

"15"に記憶させるとき: **+10** **5**

"20"に記憶させるとき: **+10** **+10** **0**

- プリセットを続けるときは、手順 1、2 を繰り返します。
- 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。

記憶させた放送局を受信する

目的の放送局のプリセットナンバーを押す

① MAIN INPUTキーで" TUNER" を選ぶ



②



数字キーを押す順序は...

"15"なら: **+10** **5**

"20"なら: **+10** **+10** **0**

記憶させた放送局を順に聴く (プリセットコール)

P.CALLキーを押す

① MAIN INPUTキーで" TUNER" を選ぶ



②



- キーを押すたびに、記憶されている放送局が順に切り替わります。

△ キーを押すと 1 → 2 → 3 18 → 19 → 20

▽ キーを押すと 1 ← 2 ← 3 18 ← 19 ← 20

押したままにすると...約0.5秒間隔で、放送局をスキップします。



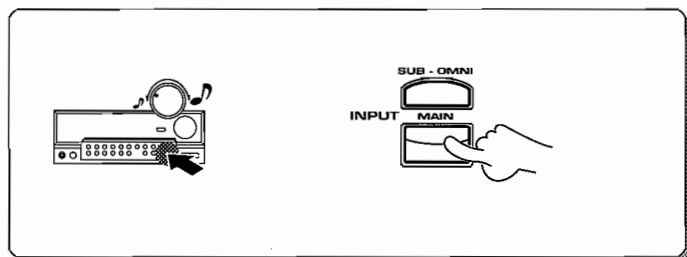
接続や操作については、接続する映像機器の取扱説明書を、合わせてよくお読みください。

-10-

ビデオを再生する

1 モニターテレビの電源を入れる

2 入力切換をVIDEOにする



3 ビデオデッキを再生する

押すたびに切換わります

- ① CD
- ② TUNER (周波数の表示)
- ③ TAPE
- ④ MD/DAT
- ⑤ VIDEO
- ⑥ AV AUX

"VIDEO"の表示にします

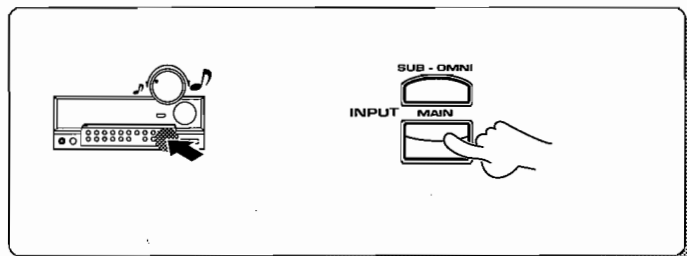


ビデオ機器を使用する

ビデオ録画をする

1 録画したい機器を接続する

2 入力切換をAV AUXにする



3 録画したい機器を再生する

4 ビデオデッキで録画を開始する

- 録画したい機器をAV AUX端子に接続します。
- ビデオデッキ(再生のみ)、ビデオカメラ(再生のみ)、LDプレーヤー、BSチューナーなどが接続できます。

"AV AUX"の表示にします



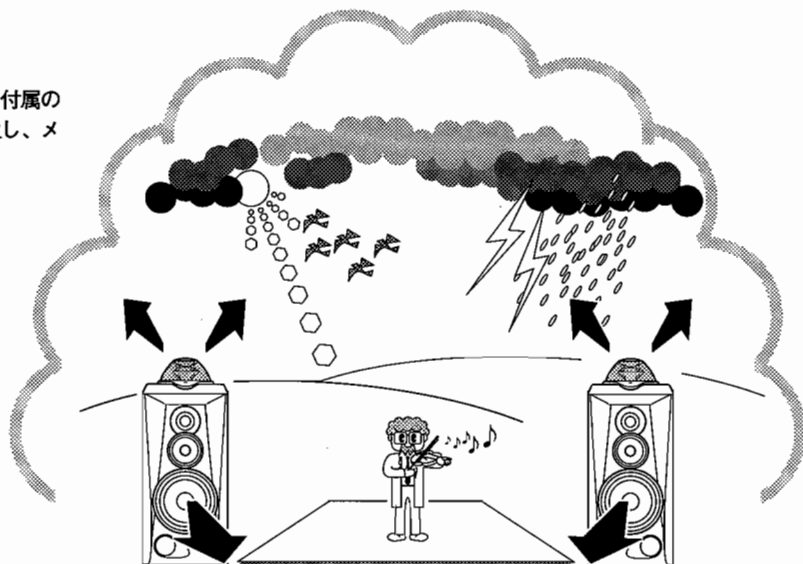


CDとテープなど、2種類のソースをメイン/オムニの両スピーカーから別々に再生する機能で、メインスピーカーからの音楽に、オムニスピーカーからのバーチャルリアリティーサウンドを重ね合わせると、あたかも、その場の雰囲気の中で音楽を聴いているような気分になります。

バーチャルリアリティーサウンドを楽しむには、オムニスピーカー（OMNI-A5：別売）が必要です。

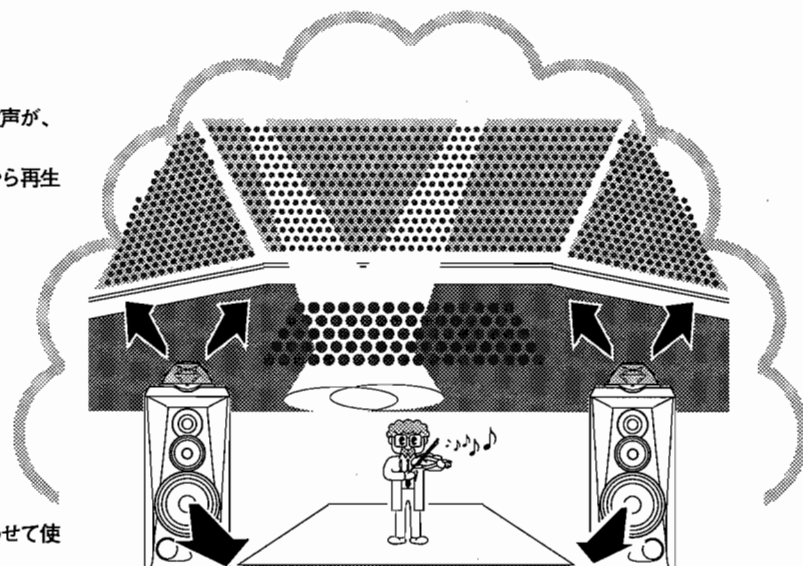
自然音で楽しむ

自然の中で、または季節を感じながら音楽を聴く感覚を楽しめます。付属のCDに収録されている、お好みのトラックをオムニスピーカーから再生し、メインスピーカーから音楽を再生します。



臨場音で楽しむ

コンサートホールやジャズクラブ、またはスタジアムのざわめきや歓声が、音楽を盛り上げます。付属のCDに収録されている、お好みのトラックをオムニスピーカーから再生し、メインスピーカーから、音楽を再生します。



臨場音で楽しむ場合、DSPプレゼンスモードと組み合わせて使うことで、さらにリアルな雰囲気を楽しめます。

- 60

3D：3 Dimension（3次元）の略称です。

付属のCDについて

バーチャルリアリティーサウンドをバックにCDを聴きたいときは、付属のCDからテープに、お好みのトラックを録音してください。録音したテープをオムニトップスピーカーから再生し、お好きなCDの曲をメインとして再生できます。録音するときにCDプレーヤーのリピート機能を利用すると、同じトラックを何回も続けて録音できます。

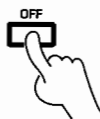
付属のCDは、収録されている音源の左右、奥行はもちろん、高さや方向性までもリアルに再現するように制作されています。3Dバーチャルリアリティーサウンドの世界を、ぜひ体験してください。

3Dバーチャルリアリティーサウンドを体験する



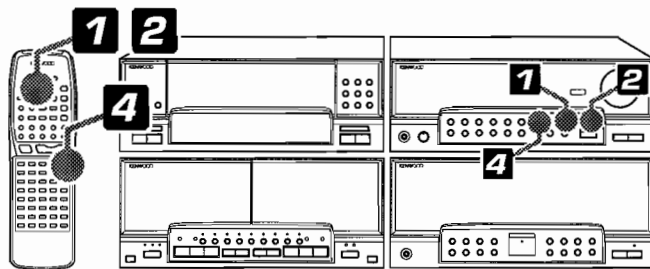
XJ7M (J)

準備しましょう ●プレゼンスをOFFにします。

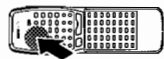


- CD - 22
- テープ - 28
- 放送 - 32

●放送を受信するか、CDプレーヤーまたはカセットテープを再生します。



1 デュアルサウンドをONにする



●プレゼンス表示の消灯を確かめます。

DUAL SOUNDキーを押すたびに切り替わります

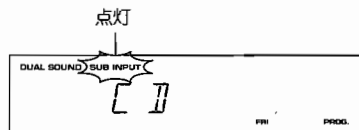
- ① LEVEL 1 環境音の音量：小
- ② LEVEL 2 環境音の音量：中
- ③ LEVEL 3 環境音の音量：大
- ④ DUAL OFF 環境音を出力しない

2 バーチャルリアリティーサウンドを再生する機器を選ぶ



押すたびに切り替わります

- ① []
- ② TAPE
- ③ M/D/DT
- ④ AV AUX



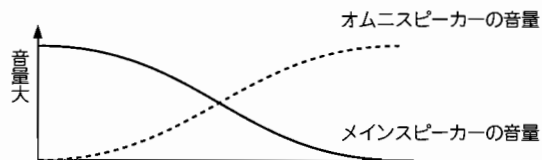
●"DUAL SOUND"表示の消灯中には、オムニ入力は選ばません。

3 バーチャルリアリティーサウンドを再生する

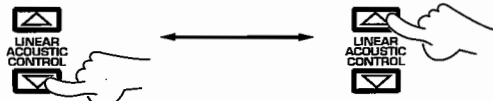
4 音量のバランスを調節する



オムニが大きくなる
メインが大きくなる



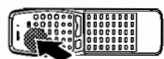
中央を示します
バランスの状態を示します



●LINEAR ACOUSTIC CONTROLキーで、メインスピーカーとオムニスピーカーの音量のバランスを設定してください。

解除するには

"DUAL SOUND"表示を、消灯させます。



バーチャルリアリティーサウンドシステム

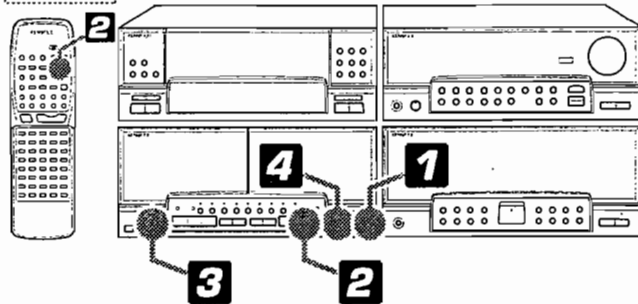
38

本機はオートバイアス、CRLS (自動録音レベル設定) とDOLBY HX Pro headroom extension を搭載しています。カンタンな操作できれいに録音できます。



音にイコライザーやプレゼンスの効果をかけると、効果のかった音が録音されます。 -54-58

バーチャルリアリティーサウンド機能を使うと、メイン入力とサブ (オムニ) 入力をミックスした録音ができます。CDとチューナー、あるいは接続した外部機器との組み合わせでお楽しみください。(この場合、Aデッキの音をBデッキで録音することはできません。)



録音の準備をしましょう

1 Bデッキにテープを入れる

① Bデッキのドアを開く

EJECT

② テープを入れる

③ ドアを閉める

2 テープの進む向きを選ぶ

① ▶ または ◀ キーを押す

おもて面から録音するとき

うら面から録音するとき

② ■ キーを押す

3 録音モードを選ぶ

DIRECTION

4 DOLBY NRを選ぶ

DOLBY NR

- ノーマル、クローム、メタルのテープ種別は、自動設定されます。
- テープは、たるみのない状態で入れてください。
- マイクを使わない場合は、MIC MIXINGつまみを左いっぱいに戻しておいてください。

- 録音を始めると、このとき選んだ方向にテープが進みます。
- テープの頭出し (録音を始める位置を探すこと) をしておきます。

押すたびに切り替わります。

- ① "☺" (この場合も、両面を録音して止まります。)
- ② "☺" 片面を録音して止まる
- ③ "☺" 両面を録音して止まる

押すたびに切り替わります。

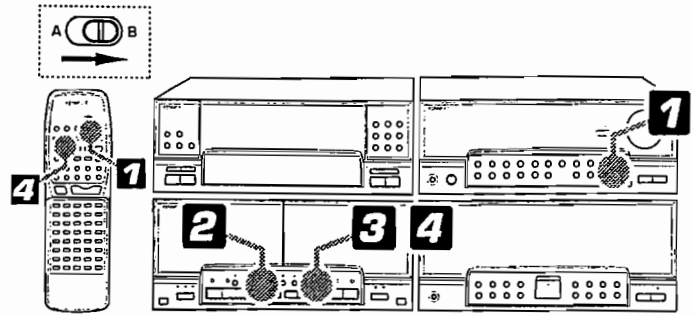
- ① DOLBY NR B Bタイプ (一般的なタイプ) を使う
- ② DOLBY NR C Cタイプ (より高性能なタイプ) を使う
- ③ DOLBY NR OFF (消灯) .. ドルビーノイズリダクションを使わない

準備しましょう

- Bデッキにカセットテープを入れる。
- テープの進む向き (◀, ▶) を選ぶ。
- "二" (両面録音) / "一" (片面録音) を選ぶ。
- ドルビーリダクションを選ぶ。
- (CDプレーヤーにディスクを入れる。)

- 38 -

DUALSOUNDがONで、サブ(オムニ)入力が"TAPE"になっているときは録音はできません。



音にイコライザーやプレゼンスの効果をかけると、効果のなかった音が録音されます。

- 54 - 56

1 何を録音するか選ぶ

"TAPE" 以外を選んでください



押すたびに切替わります。

- ① [C]
- ② TUNER (周波数の表示)
- ③ TAPE
- ④ M] / DAT
- ⑤ V] DEQ
- ⑥ R] / AUX

録音したい機器名の表示にします



- CDを選んだ場合、すでにディスクがセットされているときは、再生が始まります。

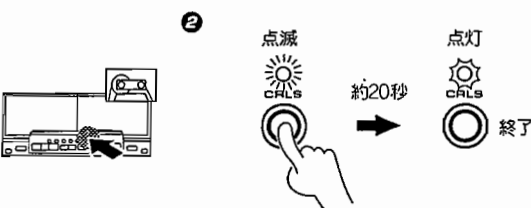
2 バイアスを自動調整する



- バイアスの調整とは、そのときセットされているテープの特性を調べて、もっともバランスの良い録音ができるように、デッキを調整することです。調整結果は、電源をOFFにしたりBデッキのドアを開けない限り記憶されているので、録音のやり直しのときは、再調整しなくてもかまいません。
- 約45秒でバイアスの設定が終了し、デッキが停止します。
- バイアス設定を途中でやめるときは、■キーを押します。
- バイアスの設定を省略しても、ノーマル、クローム、メタルの一般的な設定がセットされているので、録音に支障はありません。

3 録音レベルを自動調整する

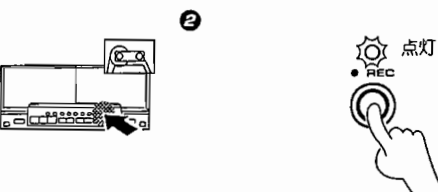
- ① 録音する内容を再生する
(目的の放送局を受信する。)



- 約20秒で録音レベルの設定が終了し、録音ポーズ状態になります。
- 設定中(点滅中)に録音を始めると、はずんだ音が録音される場合があります。
- 設定中(点滅中)にCRLSキーを押すと、その時点で設定を中断し、録音ポーズ状態になります。
- CRLSキーを押したときから5秒以上無音が続くと、録音レベルの設定は中止されます。

4 録音をスタートさせる

- ① 録音する内容を再生し直す
(目的の放送局を受信したまま)



CDを録音する場合、■キーを押さずに、ディスクセレクトキー、または数字キーで曲を選ぶと、デッキの録音も自動的に始まります。
(シンクロ録音機能)

- 録音が始まります。
- 録音する面(片面または両面)が終了すると、自動的に終了します。

CRLSキーの働きについて

録音したい音声を分析し、約20秒で自動的に録音レベルを設定します。

一度もキーを押さないと...

当社が設定した基本レベルで録音されます。

キーを押すと...

録音レベルを自動設定し、そのとき選んでいた入力 (CD, TUNER, VIDEO...) の録音レベルとして記憶します。

次からはキーを押さなくても同じレベルで録音できます。

キーを押したあとで、前回のレベルに戻すには...

CRLSインジケータの点滅中に ■ キーを押してください。

基本レベルに戻すには...

インジケータが消えるまで (約3秒間) キーを押したままにしてください。

録音をやり直す

① 巻き戻す



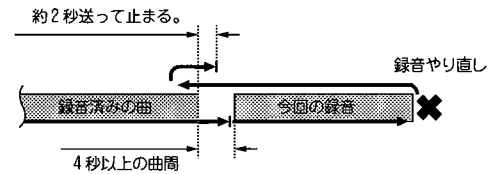
② ● キーを2回押す



③ ● キーを1回押す



- 録音が中止され、テープは図のように巻き戻されます。(録音開始位置の手前に、4秒以上の無音がある場合)



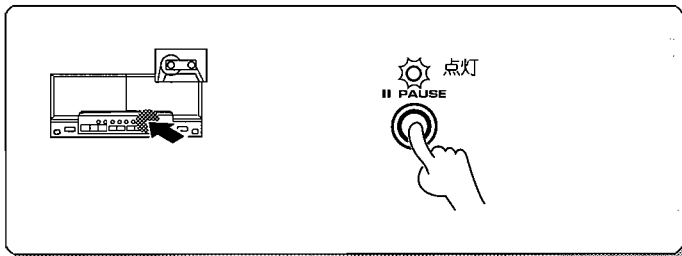
- 録音済みの曲が手前にならない場合は、テープを巻き取って止まります。

- 約4秒の無音部分を作って停止します。
- テープの最初から録音し直す場合は、リーダーテープ (テープ巻き始めの録音できない部分) を送ってから録音を始めてください。

- 録音が始まります。

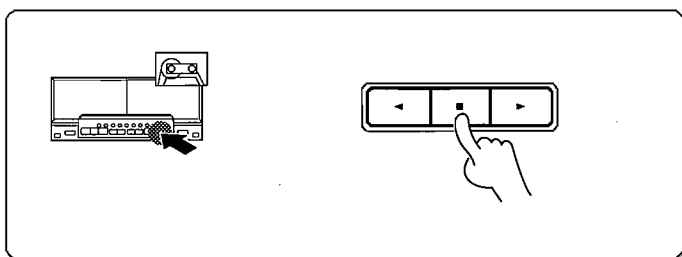
録音のしかた

録音を一時停止する (ポーズ)



- 録音を再開するときは、● キーを押します。

録音を途中で終了する



ドルビーHX Proとは

DOLBY HX Pro headroom extensionとは、録音中に、録音している音の周波数成分に応じてバイアス電流をコントロールすることで、シンバルなどの高音域を美しく録音するシステムです。本機で録音すると、自動的にこのシステムが働きます。

テープをコピーする (ダビング)

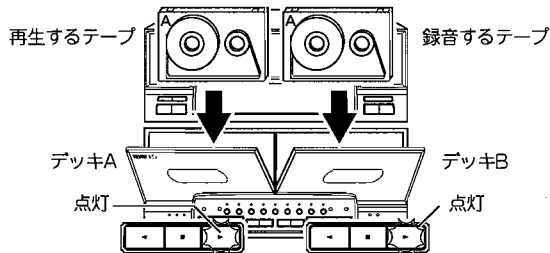


XJ7M (J)

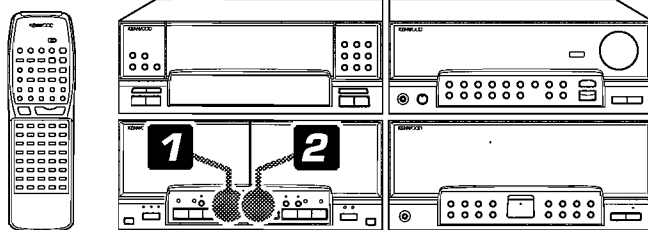
準備しましょう

- Bデッキにカセットテープを入れる。
- テープの進む向き (◀, ▶) を選ぶ。
- "⌂" (両面録音) / "⌂" (片面録音) を選ぶ。

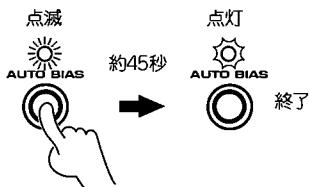
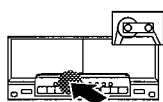
— 39 —



Aデッキにセットしたテープの内容を、Bデッキのテープにコピーします。



1 バイアスを自動調整する



- バイアスの自動調整とは、そのときセットされているテープの特性を調べて、最もバランスの良い録音ができるように、デッキを調整することです。調整結果は、電源をOFFにしたり、Bデッキのドアを開かない限り、記憶されています。
- 約45秒でバイアスの設定が終了し、デッキが停止します。
- バイアス設定を途中でやめるときは、■キーを押します。
- バイアスの設定を省略しても、ノーマル、クローム、メタルの、一般的な設定がセットされているので、録音に支障はありません。

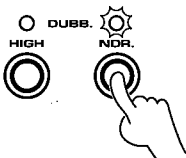
2 ダビングをスタートさせる



倍速録音のとき



普通の録音のとき

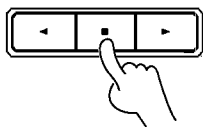
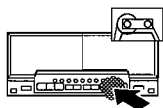


倍速ダビング中は、Aデッキの操作キーは働きません。また、リモコンでデッキの操作はできません。

- ダビングが始まります。
- ダビングする面 (片面または両面) が終了すると、自動的に終了します。

ダビングを止めるには

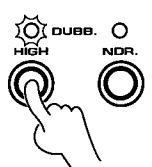
Bデッキの■キーを押す



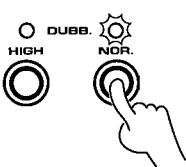
- Aデッキ、Bデッキとも停止します。

ダビングを一時停止するには

倍速録音のとき



普通の録音のとき



- 普通で速度でダビングしていたときは約4秒間、倍速のときは約6秒間の無音部分を作ってから、Bデッキだけが録音ポーズになります。
- ダビングを再開するときには、DUBB NORM, DUBB HIGHのうち、一時停止するときに押したほうのキーを押します。

ご注意



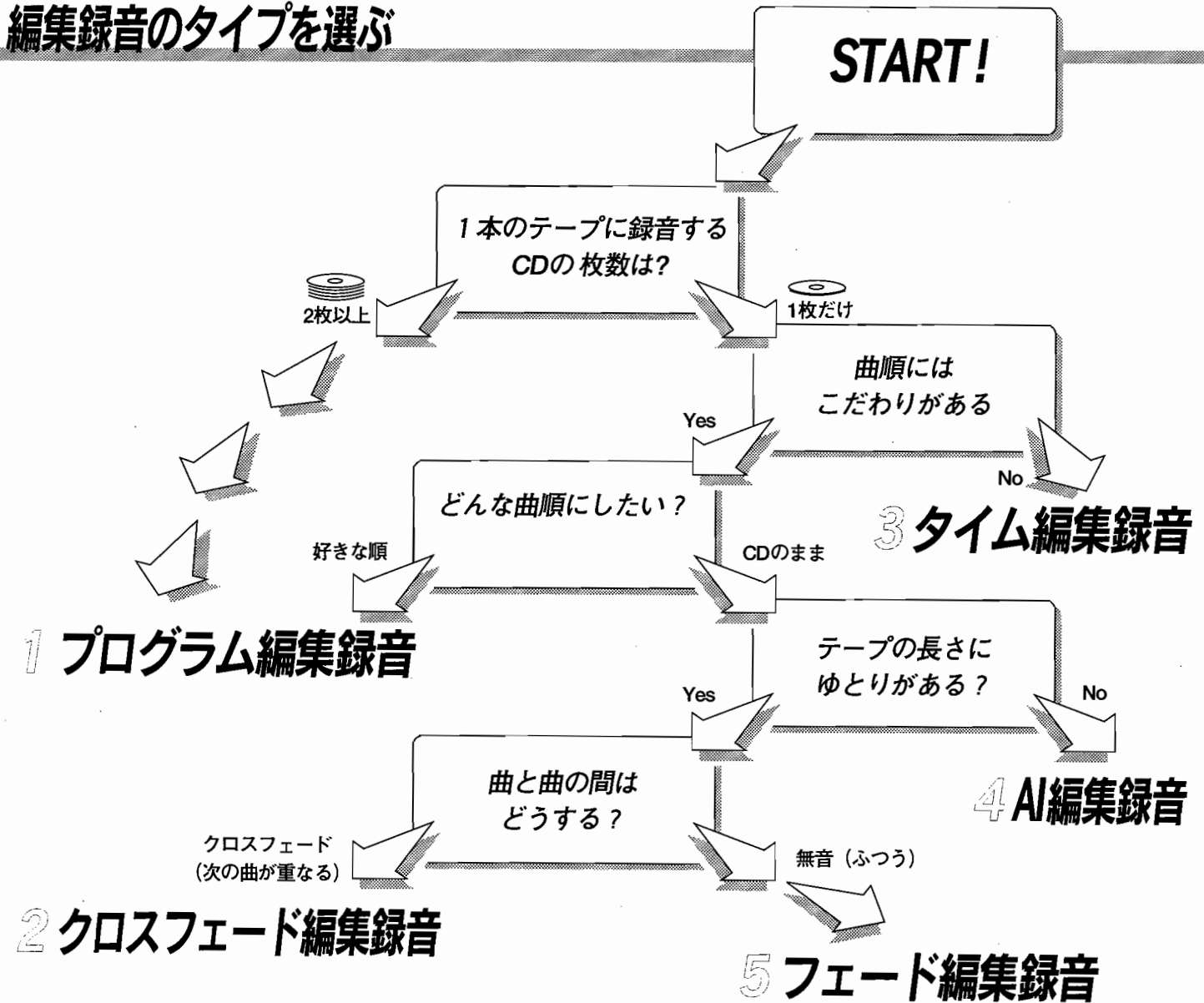
1. ダビングするときには、録音レベルの調節は不要です。
2. ダビングするとき、DOLBY NRキーは働きません。Bデッキで録音されるテープは、Aデッキで再生されているテープと同じDOLBY NRになります。
3. 雑音が入ることがありますので、倍速ダビングするときはTVから離してください。
4. 音質を損なう場合がありますので、大きな録音レベルで録音されたテープをダビングするときには、普通で速度でダビングしてください。

42

テープの長さ（時間）をセットするだけのカンタンな操作で、CDを編集録音する方法です。録音レベルやバイアスの設定はもちろんのこと、テープの折返しや、終点での面倒な処理まで、全部まとめてアローラが引き受けます。（CCRS機能）

2枚以上のCDから、好きな曲を好きな曲順で編集することもできます。そのときは、「プログラム編集録音」を選んでください。

編集録音のタイプを選ぶ



CDの編集録音

CCRSとは

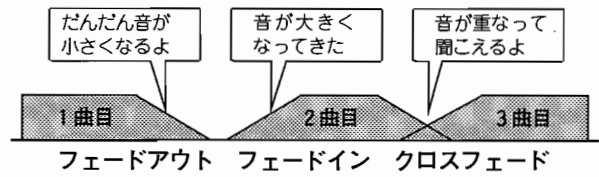
CDをワンタッチでカセットテープに録音する機能です。

CCRSキーを押すと、約90秒間で、CDの内容と、使用するテープの特性を調べて、録音レベルとバイアスが自動的にセットされ、録音が始まります。録音が終了すると、自動的に停止します。CCRSキーを押すと、バーチャルリアリティーサウンドは自動的にOFFになります。

電源をOFFにしたり、Bデッキのドアを開けるとAUTO BIASは解除されます。（記憶中は、「AUTO BIAS」のインジケーターが点灯しています。）

また、電源をOFFにしたり、CDを停止すると編集内容が解除されます。

フェードイン/フェードアウトとは



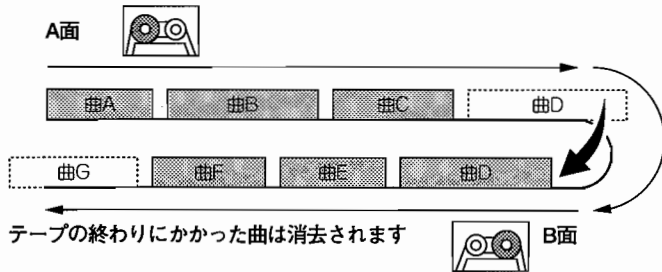
フェードアウト : だんだん音を小さくして曲が終わること
 フェードイン : だんだん音を大きくして曲が始まること
 クロスフェード : 曲間で音が重なるようにフェードアウトとフェードインを組み合わせること



1 プログラム編集録音

-44

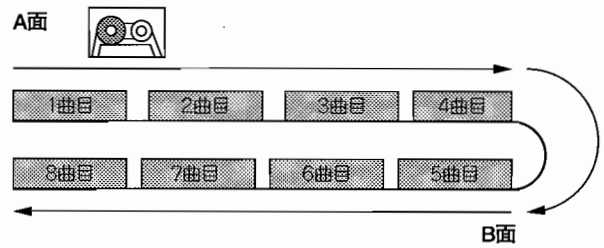
1枚のCDから プログラムした曲順で録音します。テープの折り返しにかかった曲を消去し、裏面はその曲から録音します。



3 タイム編集録音

-46

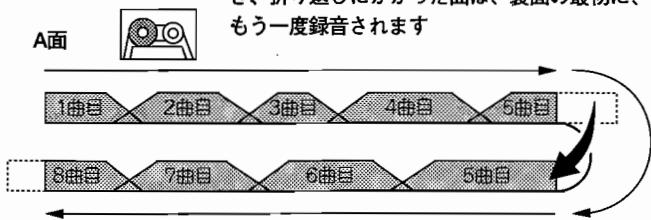
テープの折り返しで曲が途切れないように、曲順を自動的に入れ替えて録音します。



2 クロスフェード編集録音

-45

曲間をフェードアウトとフェードインでつなぎ、折り返しにかかった曲は、裏面の最初に、もう一度録音されます



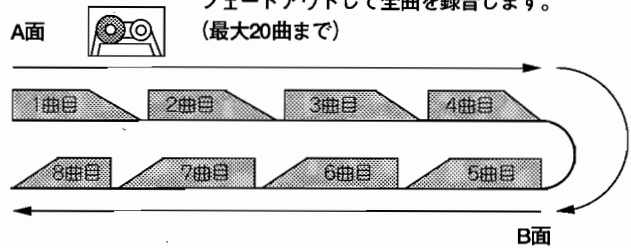
テープの終わりにかかった曲は、そのままになります

CDの曲順でも、プログラム曲順でも録音できます。

4 AI編集録音

-47

テープの長さがたりないときに、曲の終わりをフェードアウトして全曲を録音します。(最大20曲まで)

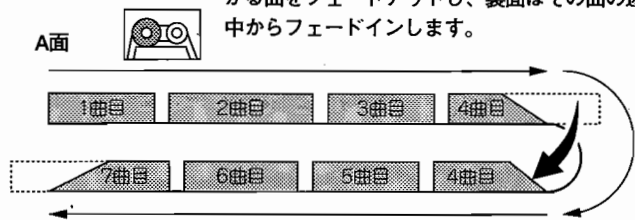


CDの編集録音

5 フェード編集録音

-48

CDの曲順で録音します。テープの折り返しにかかる曲をフェードアウトし、裏面はその曲の途中からフェードインします。



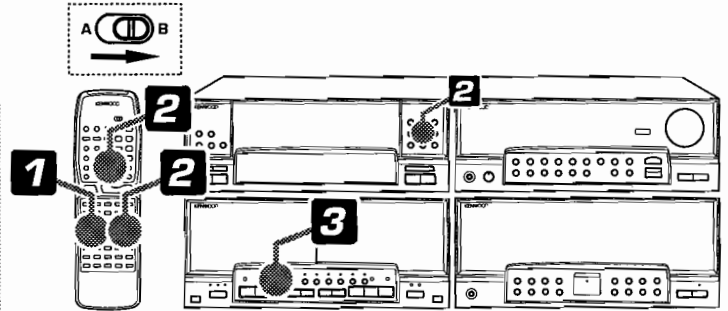
テープの終わりにかかった曲は、フェードアウトされます。


あなたが選んだ曲順で、テープの折り返しや終端で、曲がとぎれないように録音します。

準備しましょう

- 38

- Bデッキにカセットテープを入れる。
- テープの動く向き(◀▶)を確かめる。
- ドルビーノイズリダクションを選ぶ。
- "C" (両面録音)を選ぶ。
- **MAIN INPUT**キーで"CD"を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。



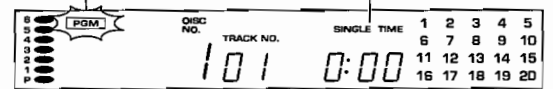
 音にイコライザーやプレゼンスの効果をかけると、効果のかかった音が録音されます。(倍速録音のときはイコライザーをOFFにしてください)

- 54 - 58

1 PGMモードに切り換える

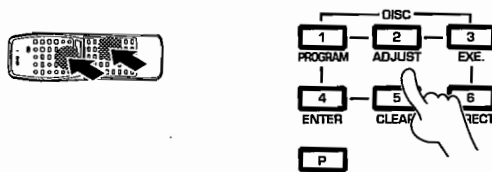



点灯 プログラムモードでは、"SINGLE TIME"表示のみです。



2 録音する順に曲を選ぶ (編集する)

① ディスクを選ぶ



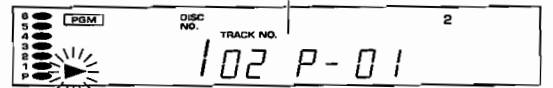
 8秒以内に
② 曲を選ぶ



数字キーを押す順序は...

2、5、25曲目を選ぶとき: **2** **5** **+10** **+10** **5**

選んだ曲番号を表示します



- 使用するテープの録音時間を超えないように選んでください。
- 32曲まで選べます。33曲になると、"FULL"と表示します。
- 間違えたときは、**CLEAR**キーを押してから、選び直してください。
- ディスクを選んで8秒以上たつとCCRS機能は動きません。
- **SPACE**キーと**REPEAT**キーは動きません。

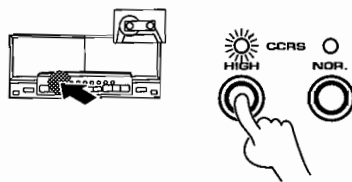
2枚以上のCDから編集するとき、①と②を繰り返してください。

編集した内容を確認する

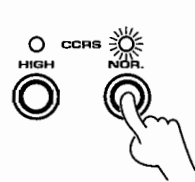
編集した内容を取り消す - 49

3 編集録音をスタートする

倍速録音のとき



普通の録音のとき



- 約90秒間で、録音レベルとバイアスの調整が行なわれたのち、録音が始まりま。
- 2枚以上のCDから編集する場合、ディスクが切り替わるたびに、CCRS設定が終わると再び録音を始めます。
- 倍速録音 (CCRS) 中は、DOLBY NRがOFFになりますので、そのテープを再生するときも、DOLBY NR をOFFにしてください。
- 倍速録音中は、音程も倍になるので、スピーカーから音を出しても音楽として楽しむことができません。

ご注意



1. CDプレーヤーの再生中に**CCRS**キーを押すと、再生は中止され、CCRS設定 (編集録音準備) が始まります。
2. 編集録音するときの録音レベル自動設定には、セットされているCDの、録音レベルの設定に適した部分を利用しています。
3. クラシックなど、1曲が長くてテープ片面に収まらない場合は、編集録音はできません。
4. デッキが片面録音 (C) にセットされている場合、テープ折り返し部分の処理は、おもて面だけになります。

クロスフェード編集とは、曲順を編集するというよりも、曲間をクロスフェードさせる機能と言ったほうが、わかりやすいでしょう。CDの曲順で録音するときや、プログラム編集、タイム編集と組み合わせる使用することができます。

準備しましょう

- 38

- Bデッキにカセットテープを入れる。
- テープの動く向き (◀▶) を確かめる。
- ドルビーノイズリダクションを選ぶ。
- "C" (両面録音) を選ぶ。
- MAIN INPUTキーで"CD"を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。



音にイコライザーやプレゼンスの効果をかけると、効果のなかった音が録音されます。

- 54 - 58

曲順を編集する場合

- ① プログラム編集、または、タイム編集をする

プログラム編集 - 44

タイム編集 - 46

- ② 編集録音をスタートする

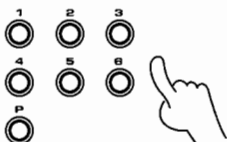
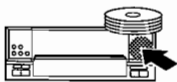


- 編集後は、CCRSキーを押さずに、このページに戻り、手順②に進んでください。編集後にCCRSキーを押すと、それぞれの編集録音が始まってしまうので、クロスフェード録音にはなりません。

- 倍速録音はできません。
- 約90秒間で、録音レベルとバイアスの調整が行なわれたのち、録音が始まります。

CDの曲順で録音する場合

- ① 録音するディスクを選ぶ



- ② 編集録音をスタートする



- 倍速録音はできません。
- 約90秒間で、録音レベルとバイアスの調整が行なわれたのち、録音が始まります。

ご注意



もともとフェードアウト/フェードインされている曲をクロスフェード録音すると、曲間があいてしまう場合があります。



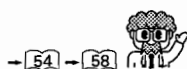
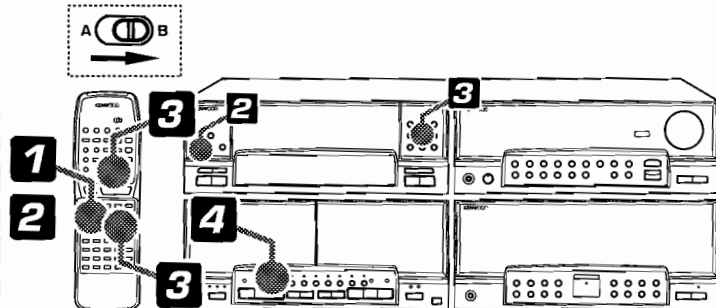
46

テープの録音時間を指定すると、テープの折り返しや終端で曲がとぎれないように、自動的に曲順を入れ換えて録音します。

準備しましょう

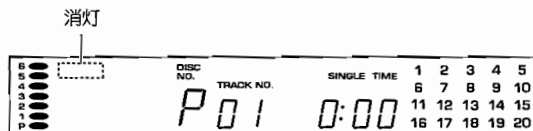
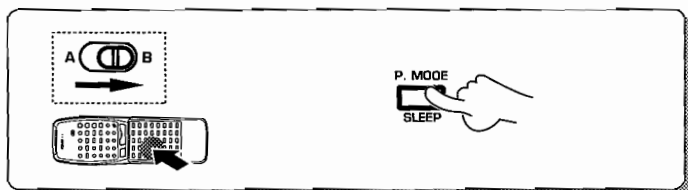
- 38

- Bデッキにカセットテープを入れる。
- テープの動く向き (◀▶) を確かめる。
- ドルビーノイズリダクションを選ぶ。
- "C" (両面録音) を選ぶ。
- MAIN INPUTキーで"CD"を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。

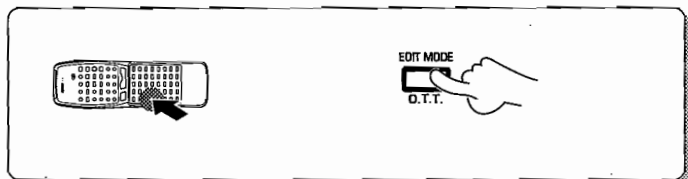


音にイコライザーやプレゼンスの効果をかけると、効果のかかった音が録音されます。(倍速録音のときはイコライザーをOFFにしてください)

1 "PGM"インジケーターを消灯させる

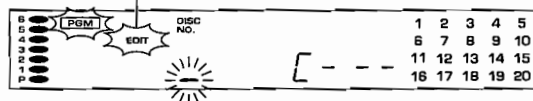


2 "EDIT"を選ぶ



押すたびに切り換わります

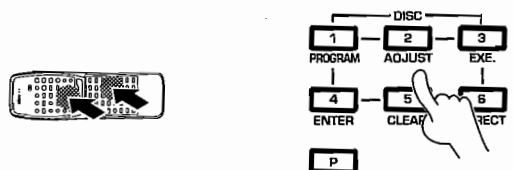
- ① EDIT
- ② AI EDIT



8秒以内に手順 3 へ
8秒以上たった場合は、もう一度選び直します。

3 ディスクとテープの設定をする

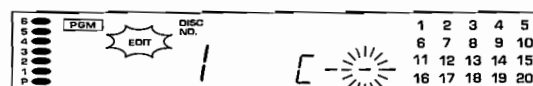
① ディスクを選ぶ



② テープの録音時間を指定する



● オートスペース機能を使うときは、SPACEキーを押しておきます。オートスペースを解除するときは、P.MODEキーを押し、手順 2 からやり直します。

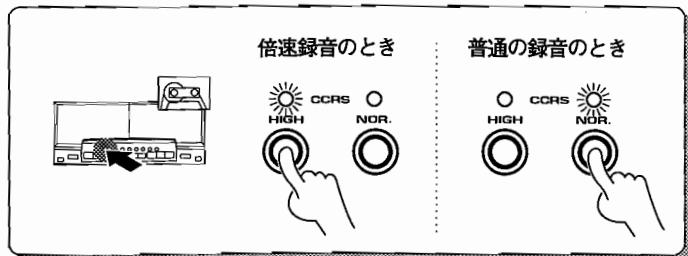


数字キーを押す順序は...

- 30分テープなら : +10 +10 +10 0
46分テープなら : +10 +10 +10 +10 6

TIMEキーを繰り返し押すと、46,54,60,90分テープを簡単に選べます。選んだあとは、EDIT MODEキーを押してから、手順 4 へ移ります。

4 編集録音をスタートする



- 20曲まで編集録音できます。
- A面、B面の自動編集が行われます。編集が終了すると、"EDIT"の表示が点滅から点灯に変わります。

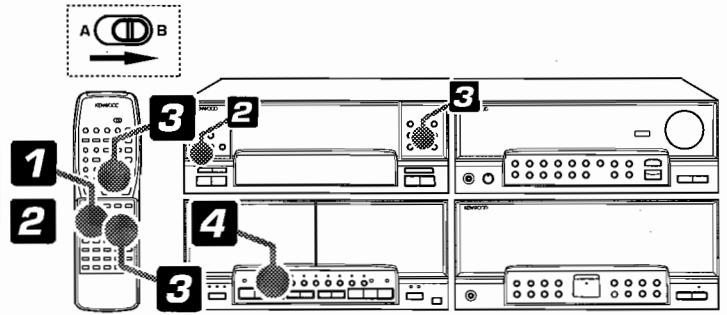
- 約90秒間で、録音レベルとバイアスの調整が行なわれたのち、録音がまります。
- 録音が終了すると、自動的に停止します。
- 倍速録音 (CCRS) 中は、DOLBY NRがOFFになりますので、そのテープを再生するときも、DOLBY NRをOFFにしてください。
- 倍速録音中は、音程も倍になるので、スピーカーから音を出しても音楽として楽しむことはできません。

録音したいCDの収録時間よりもテープが短いとき、各曲の最後をフェードアウトで短くカットして全曲を録音します。(最大20曲まで)

準備しましょう

- Bデッキにカセットテープを入れる。
- テープの動く向き (◀▶) を確かめる。
- ドルビーノイズリダクションを選ぶ。
- "こ" (両面録音) を選ぶ。
- MAIN INPUTキーで"CD"を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。

- 38

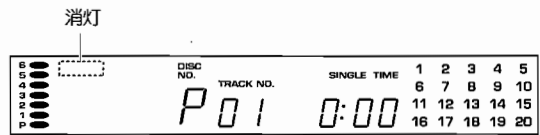
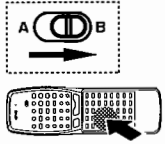


- 54 - 58



音にイコライザーやプレゼンスの効果をかけると、効果のかかった音が録音されます。(倍速録音のときはイコライザーをOFFにしてください)

1 "PGM"インジケータを消灯させる

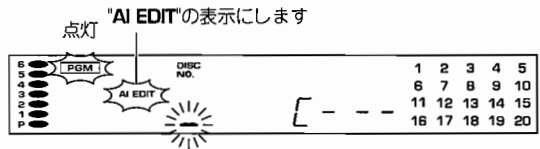


2 "AI EDIT"を選ぶ



押すたびに切り換わります

- ① EDIT
- ② AI EDIT



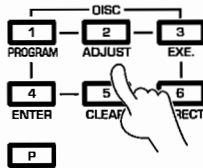
8秒以内に手順3へ

8秒以上たった場合は、もう一度選び直します。

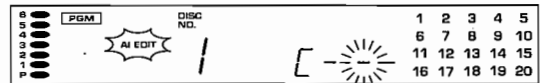
●SPACEキーとREPEATキーは働きません。

3 ディスクとテープの設定をする

① ディスクを選ぶ



② テープの録音時間を指定する



数字キーを押す順序は...

30分テープなら : [+10] [+10] [+10] [0]

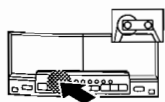
46分テープなら : [+10] [+10] [+10] [+10] [6]



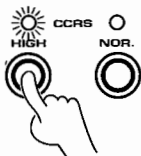
TIMEキーを繰り返し押すと、46,54,60,90分テープを簡単に選べます。選んだあとは、EDIT MODEキーを押してから、手順2へ移ります。

●A面、B面の自動編集が行われます。編集が終了すると、"AI EDIT"の表示が点滅から点灯に変わります。

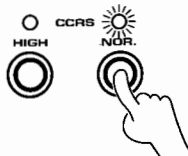
4 編集録音をスタートする



倍速録音のとき



普通の録音のとき



- 約90秒間で、録音レベルとバイアスの調整が行なわれたのち、録音が始まります。
- テープの長さにも余裕があるときは、全曲ともノーカットで録音されます。
- 録音が終了すると、自動的に停止します。
- 倍速録音(CCRS)中は、DOLBY NRがOFFになりますので、そのテープを再生するときも、DOLBY NRをOFFにしてください。
- 倍速録音中は、音程も倍になるので、スピーカーから音を出しても音楽として楽しむことはできません。
- クロスフェード編集と組み合わせることはできません。

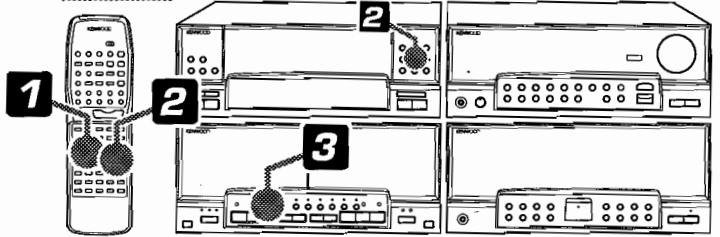
48

テープの折り返しにかかった曲をフェードアウトし、うら面は、その曲の途中からフェードインします。テープ終端にかかった曲は、フェードアウトされます。

準備しましょう

- Bデッキにカセットテープを入れる。
- テープの動く向き(◀▶)を確かめる。
- ドルビーノイズリダクションを選ぶ。
- "C" (両面録音)を選ぶ。
- MAIN INPUTキーで"CD"を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。

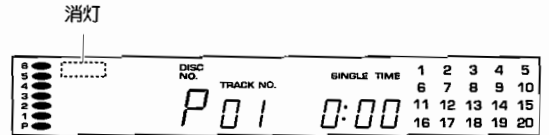
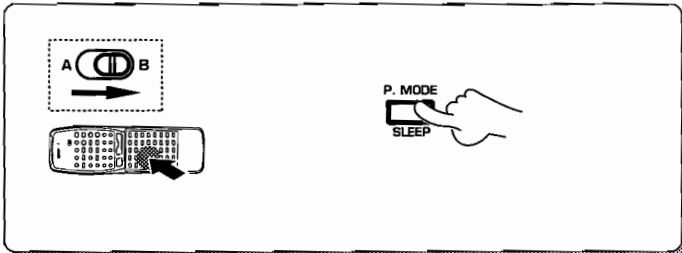
- 38



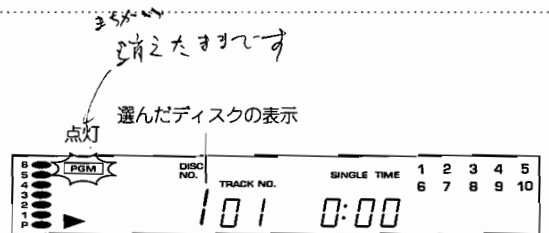
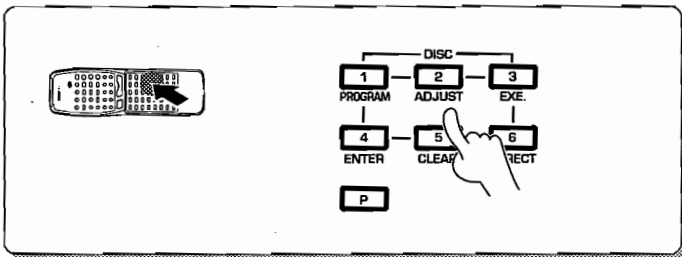
音にイコライザーやプレゼンスの効果をかけると、効果のかかった音が録音されます。(倍速録音のときはイコライザーをOFFにしてください)

- 54 - 58

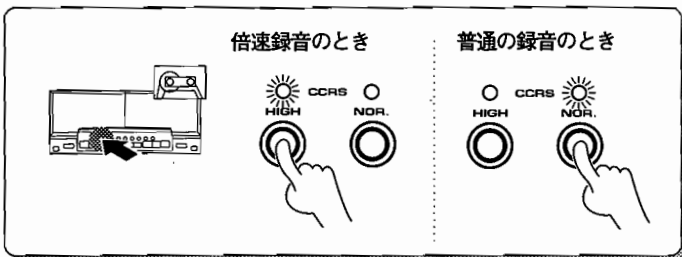
1 "PGM"インジケーターを消灯させる



2 ディスクを選ぶ



3 編集録音をスタートする



- 約90秒で、録音レベルとバイアスの調整が行なわれたのち、録音が始まります。
- CDの曲順で録音されます。
- 倍速録音(CCRS)中は、DOLBY NRがOFFになりますので、そのテープを再生するときも、DOLBY NRをOFFにしてください。
- 倍速録音中は、音程も倍になるので、スピーカーから音を出しても音楽として楽しむことはできません。

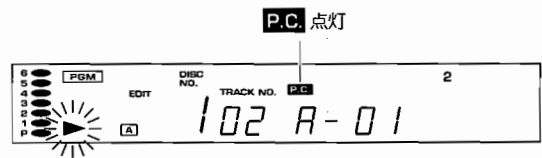
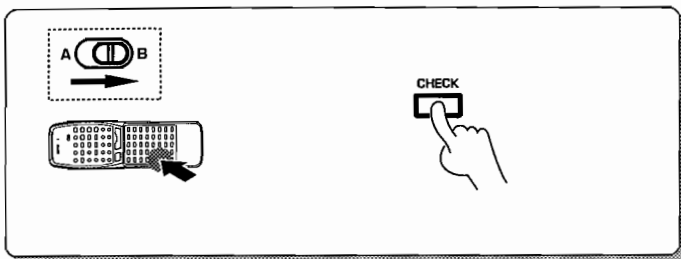
CDの編集録音

ご注意



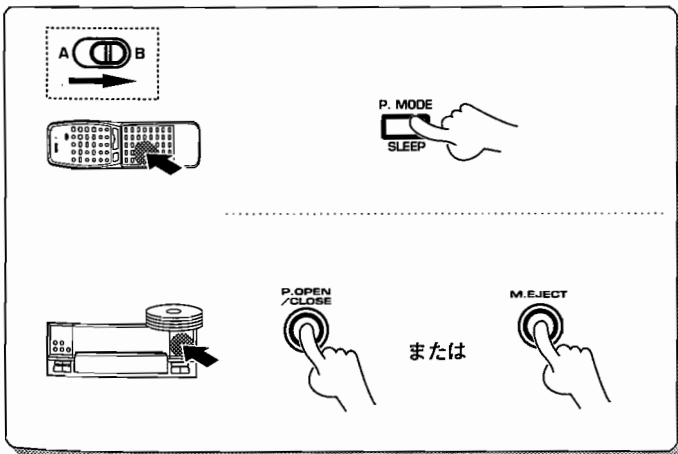
1. CDプレーヤーの再生中にCCRSキーを押すと、再生は中止され、CCRS設定(編集録音準備)が始まります。
2. 編集録音するときの録音レベル自動設定には、セットされているCDの録音レベルの設定に適した部分を利用しています。
3. クラシックなど、1曲が長くてテープ片面に収まらない場合は、編集録音はできません。
4. デッキが片面録音(◀▶)にセットされている場合、テープ折り返し部の処理は、おもて面だけになります。
5. テープ終端にかかった曲がフェードアウトされる時、前曲との曲間が短いと、前曲の最後も一部消去されることがあります。

編集した内容を確認する



- 押すたびに、編集した曲番号が順に表示されます。

編集した内容を取り消す



- 編集内容のすべてが消えます。

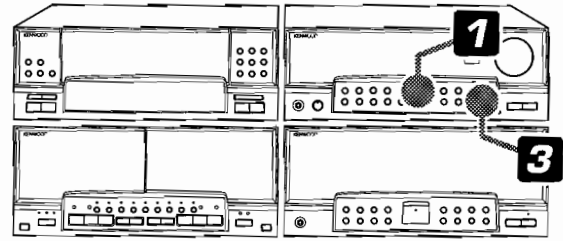
50

CDを録音しながらラジオ放送を聴いたり、接続した他の機器を使って楽しむことができます。

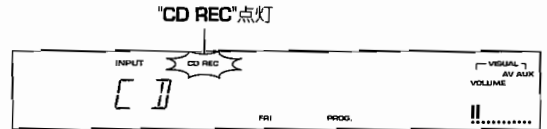
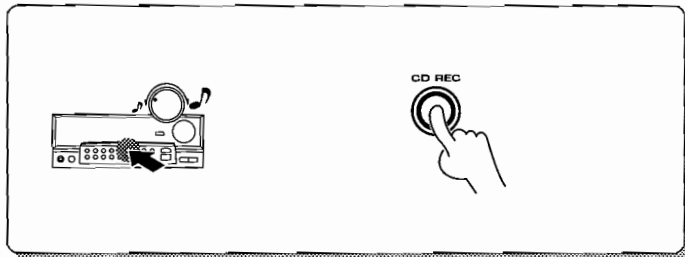
準備しましょう

- 38

- Bデッキにカセットテープを入れる。
- テープの動く向き (◀▶) を確かめる。
- ドルビーノイズリダクションを選ぶ。
- "つ" (両面録音) / "二" (片面録音) を選ぶ。
- MAIN INPUTキーで"CD"を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。



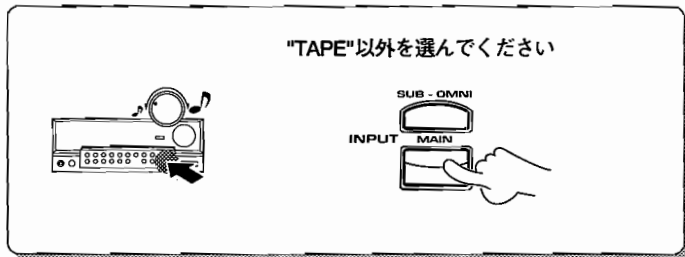
1 CD RECキーを押す



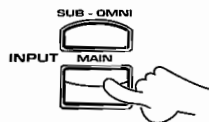
2 CDの録音を始める

- 39

3 聴きたいものを選ぶ



"TAPE"以外を選んでください

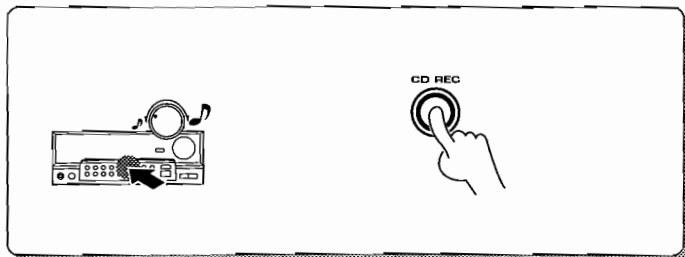


聴きたい機器名や、周波数の表示にします



CDの編集録音

CD RECを解除するには



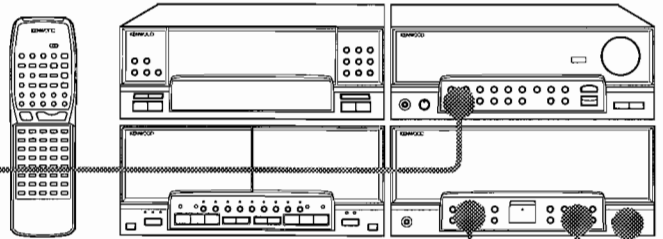
- 録音インジケータの点灯中または点滅中には、解除できません。
- CD RECの終了後は、必ずCD RECキーを押してCD RECを解除しておいてください。

ご注意

CD RECキーを使って録音する場合、録音される音にイコライザーやDSPプレゼンスの効果はかかりません。



AI (人工知能) が、あなたが聴きたい音楽に最適な音質を判断します。登録されている15の音質パターンを手軽に呼び出すことができます。お好みに合わせて自由に音質を調整できます。またその内容を記憶することができます。



AI LINK

- 59

DSPプレゼンス音場を選んだり、解除したとき、最適なイコライザーカーブと、リニアアコースティックコントロールが自動設定されます。

REFERENCE / MANUAL

- 54

15通りの音質パターンを選べます。そのうち5パターンには、あなたの作ったイコライザーカーブを記憶できます。

AI AUTO / AI FOCUS

- 53

AIAUTO: AIがあなたの聴きたいディスクに最適な音質を創ります。
AIFOCUS: AIがディスクのDSPプレゼンス再生のときに最適な音質を創ります。

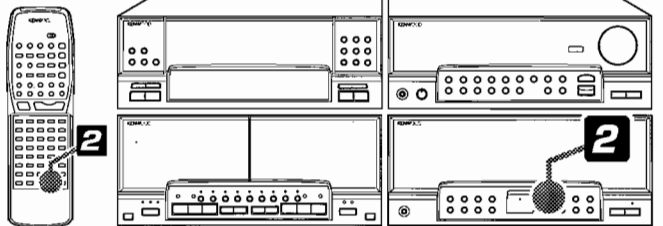
REC MODE

- 56

カーステレオ、ヘッドホンステレオ用のテープを録音するときに最適な音質を選べます。

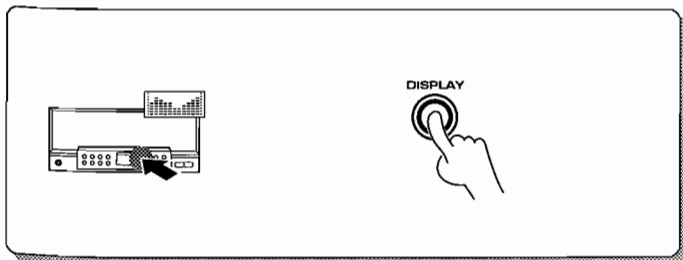
デモンストレーションをしてみましょう

このグラフィックイコライザーで聴くことのできる音を順番に再生していきます。音に合わせて、表示も変わります。あなたの目と耳で効果を確認してみましょう。



1 ききたい音を再生する

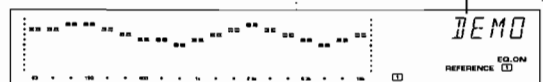
2 "DEMO" を選ぶ



● 押すたびに切り換わります

- ① グラフィックイコライザー
- ② スペクトラムアナライザー
- ③ デモンストレーション
- ④ ディスプレイOFF (消灯)

"DEMO"の表示にします。



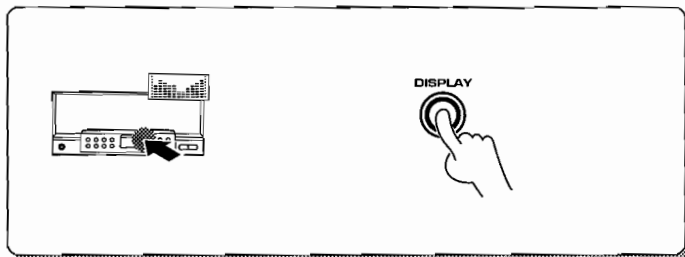
● 止めるときは、DISPLAYキーを押します。

AIとは

アーティフィシャル インテリジェンス

AI(人工知能): Artificial Intelligenceの略。

表示の種類を変える



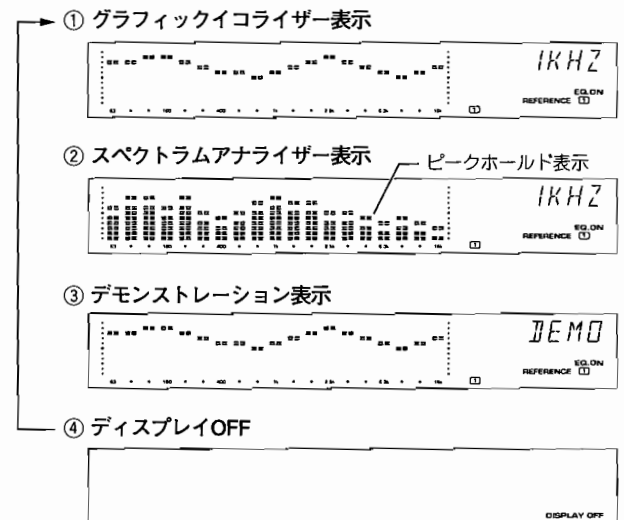
グラフィックイコライザー表示：
各周波数がどのように補正されているかを表示しています。

スペクトラムアナライザー表示：
音に合わせて変化する周波数レベルを表示しています。

デモンストレーション表示：
イコライザーのカーブが、順に変化して行きます。

ディスプレイOFF表示：
表示したくないときに、この状態にします。ディスプレイOFFのときもイコライザーは働きます。

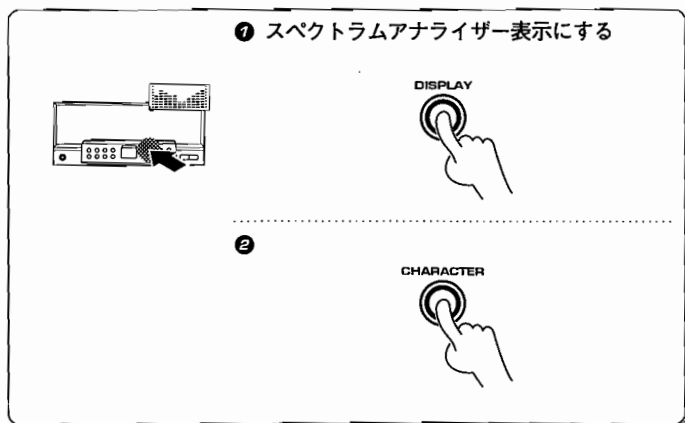
押すたびに切り替わります



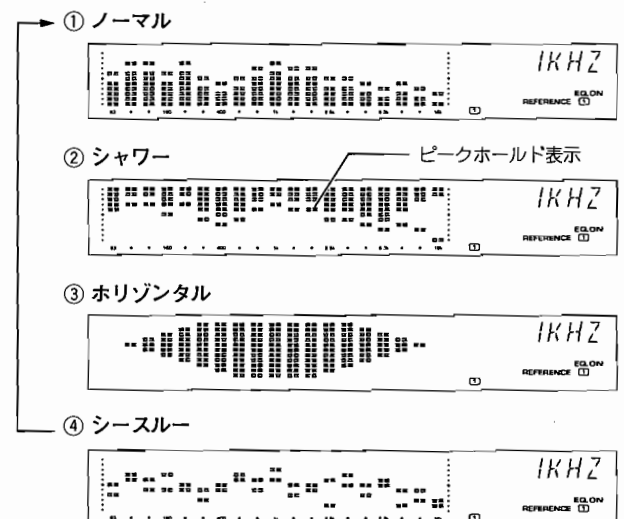
キャラクター表示にする

周波数レベルの変化をいろいろなパターンで楽しむことができます。

スペクトラムアナライザー表示のときに押す



押すたびに切り替わります



AI AUTO

CDを聴くときAIキーを押すと、約30秒でCDの収録内容を分析し、最適なイコライザーカーブとリニアアコースティック(メインスピーカーとオムニスピーカーの音量バランス)の値が自動的に設定されます。CDは1曲目から再生します。

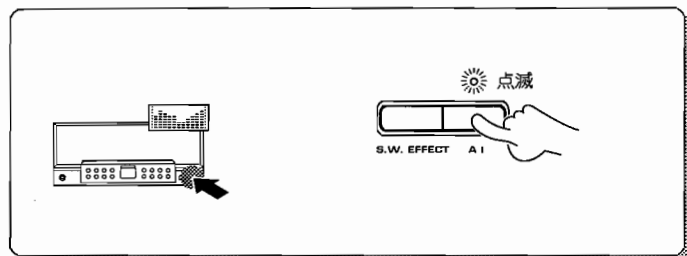
AI FOCUS

DSPプレゼンスモードでCDを聴くとき、AI AUTOの場合に加えて、最適なASFC(音の広がりを決める設定要素)の値が自動的に設定されます。

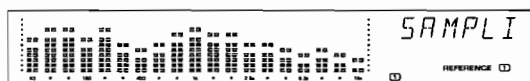
最適な音質でCDを聴く(AI AUTO)

1 ディスクセレクターキーで聴きたいディスクを選ぶ

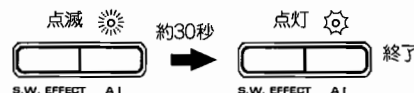
2 AIキーを押す



●"F.4ch"、"F.2ch"、"DEPTH"表示が消えていることを確かめます。



●約30秒後、1曲目から再生が始まります。



解除するには

AI設定中：もう一度AIキーを押します。(直前のカーブに戻ります)

AI設定後：FLATキーを押します。(カーブは平坦になります)

●LINEAR ACOUSTIC CONTROLキー、CDプレーヤーの ■ キーを押したときも、解除されます。

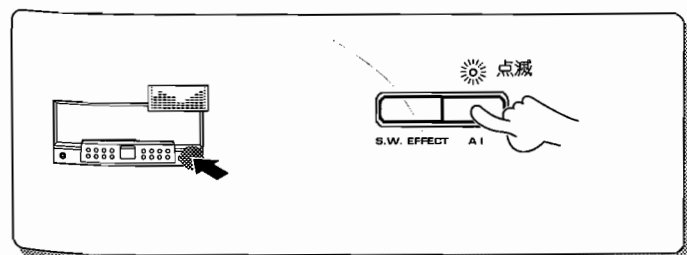
臨場感を生かしてCDを聴く(AI FOCUS)

1 ディスクセレクターキーで聴きたいディスクを選ぶ

2 音場を選ぶ



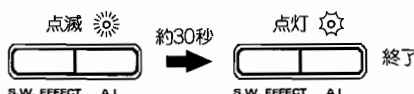
3 AIキーを押す



押すたびに切り換わります。

- ① ARENA
- ② JAZZ CLUB
- ③ STADIUM
- ④ MOVIE

●約30秒後、1曲目から再生が始まります。



解除するには

AI設定中：もう一度AIキーを押します。(直前のカーブに戻ります)

AI設定後：FLATキーを押します。(カーブは平坦になります)

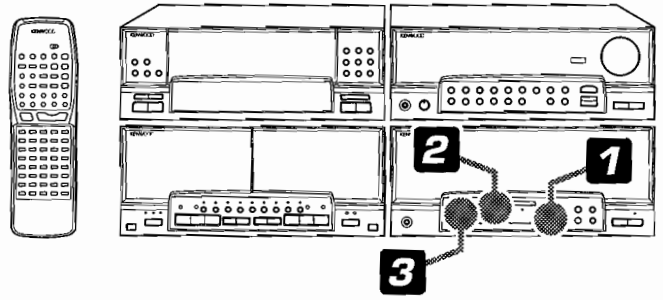
●LINEAR ACOUSTIC CONTROLキー、CDプレーヤーの ■ キーを押したときも、解除されます。

あらかじめ登録されている15通りのイコライザーカーブを手軽に呼び出すことができます。音質、またはきく音楽のジャンルによりお好みの合わせてご使用ください。

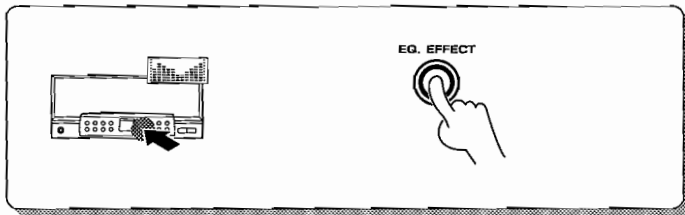
準備しましょう

●放送を受信するか、CD、またはカセットテープを再生します。

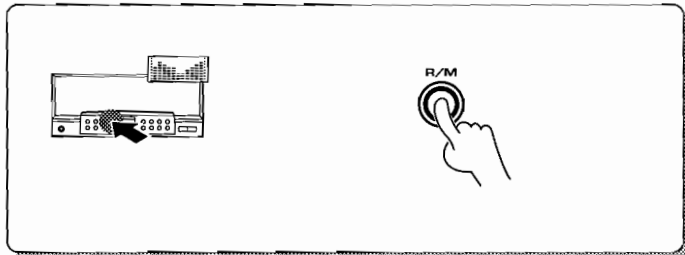
- CD - 22
- テープ - 28
- 放送 - 32



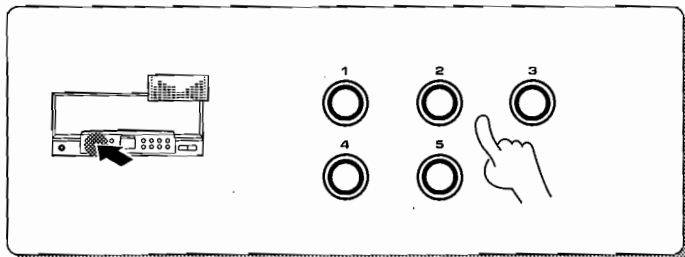
1 グラフィックイコライザーをONにする



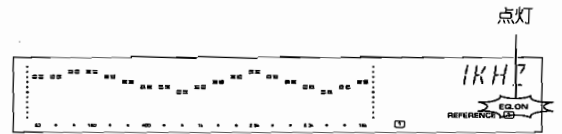
2 お好みのパターンを選ぶ



3 聴いているジャンルを選ぶ

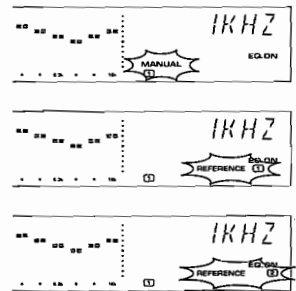


カンタン音質調整



押すたびに切り換わります

- ① **MANUAL** (クリアー)
各周波数帯を補い、すっきりとした音になります。
- ② **REFERENCE 1** (ベーシック)
適度に低域と高域を強調した音になります。
- ③ **REFERENCE 2** (スケール)
各周波数帯を強調したメリハリのある音になります。

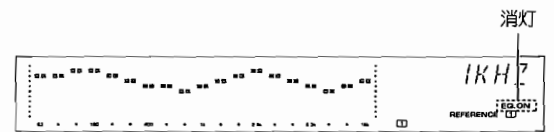


- 聴いている音楽のジャンルや内容に合わせて選んでください。
- "MANUAL"、"REFERENCE 1"、"REFERENCE 2"のそれぞれに、1~5の種類が用意されています。

- 1→ポピュラー、フュージョン
- 2→ロック
- 3→ジャズ
- 4→クラシック
- 5→ムービー

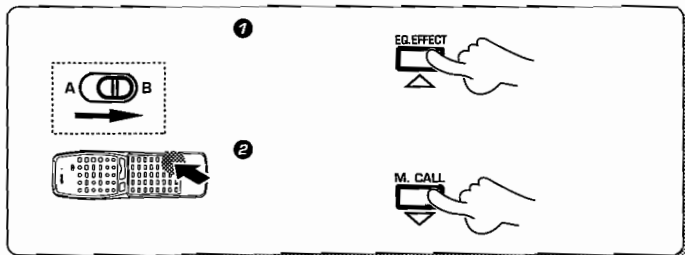
解除するには

もう一度EQ.EFFECTキーを押します。



- ディスプレイ上のイコライザーカーブは、そのままです。

リモコンで選ぶとき



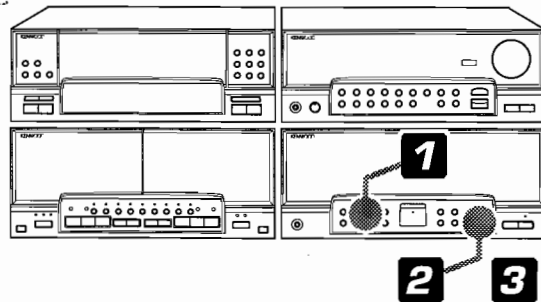
M.CALLキーを押すごとに切り換わります。

- ① **MANUAL** (クリアー) 1→2→3→4→5
- ② **REFERENCE 1** (ベーシック) 1→2→3→4→5
- ③ **REFERENCE 2** (スケール) 1→2→3→4→5

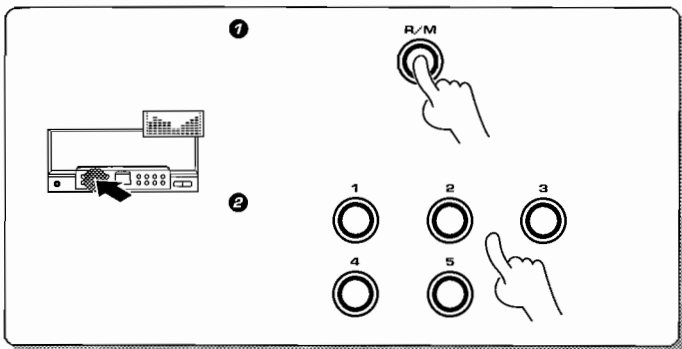
準備しましょう

- CD → 22
- テープ → 28
- 放送 → 32

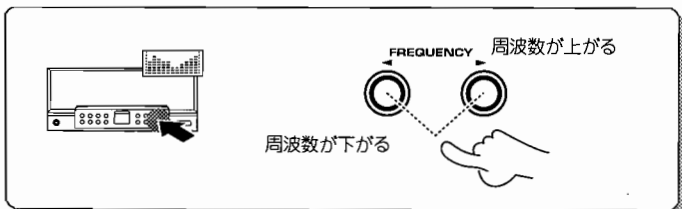
- ききたい音を再生します。
- EQ.EFFECTキーを押し、グラフィックイコライザーをオンにします。
- DISPLAYキーでグラフィックイコライザー表示にします。 → 52



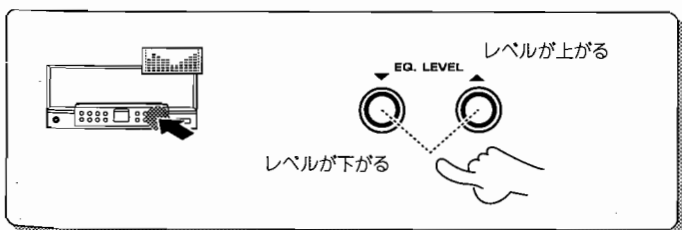
1 イコライザーカーブを選ぶ



2 調整したい周波数をえらぶ



3 レベルを調整する



- 作りたいカーブに近い内容のイコライザーカーブを選びます。
- FLATキーを押すと、平坦な状態からカーブを作ることができます。

周波数の特性について

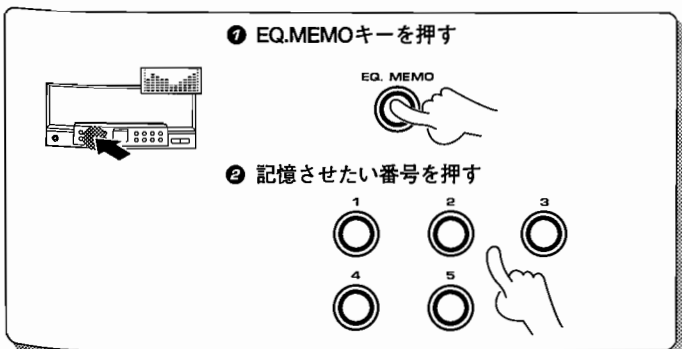


低音域 63~160Hz	低音域の楽器が安定感のある音として響きます。
中音域 400Hz~2.5kHz	歌手の声が手前に出たり、奥に引っ込むように聞こえます。
高音域 6.3kHz	レベルを上げると、バイオリンやフルートの音などが、つやのある音になります。
超高音域 16kHz	トライアングルや、シンバルなどが響き、繊細感が増します。

- 他に調整したい周波数があれば 2、3 の手順を繰り返します。

お好みの音質を記憶させる

作ったイコライザーカーブを記憶させましょう。



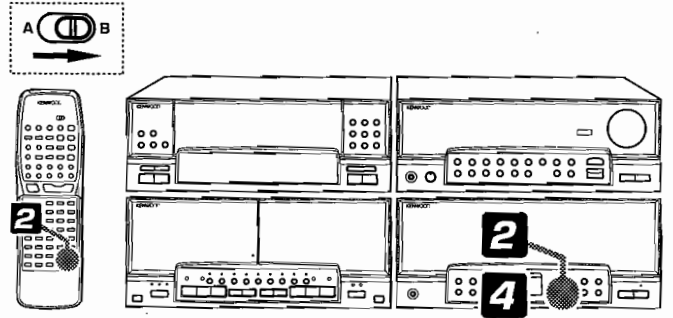
"MEMORY"点灯



- "MEMORY"インジケータの点灯中に手順 2 を行ってください。
- あなたが作ったイコライザーカーブは、"MANUAL"の中の、押した番号に記憶されます。
- すでに記憶されているキーを押したときは新しい記憶内容に変わります。

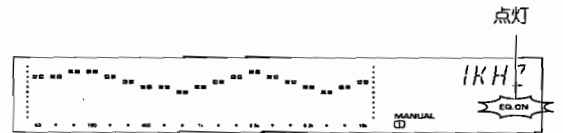
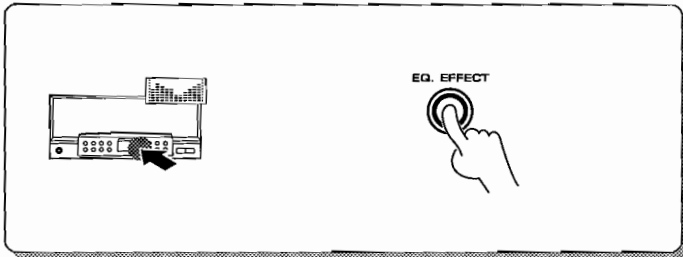
記憶させたカーブを取り消すとき

"MANUAL"モードにしてから、取り消したい番号のキーを5秒以上押し続けると、本機に最初から記憶されているイコライザーカーブに戻ります。



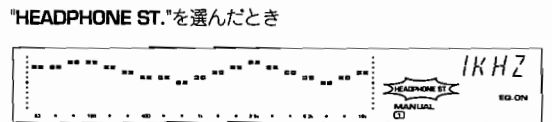
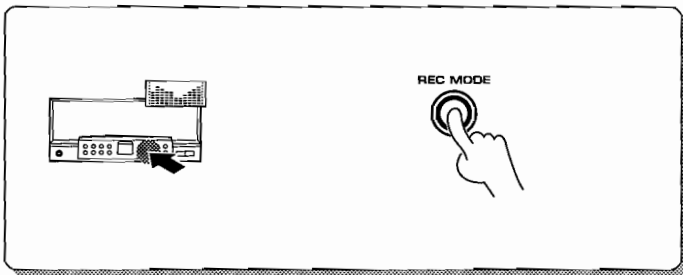
1 録音したい音を再生する

2 グラフィックイコライザーをONにする



3 お好みの音質にする

4 カーステレオかヘッドホンステレオを選ぶ



押すたびに切り換わります

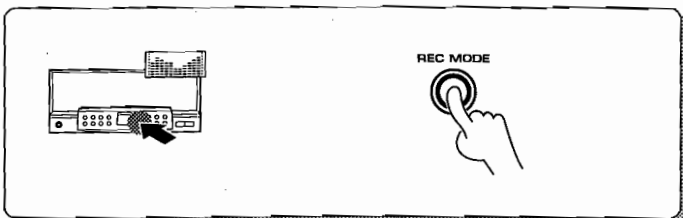
- ① CAR : カーステレオ用録音
- ② HEADPHONE ST. : ヘッドホンステレオ用録音
- ③ 消灯 : REC MODEキーを押す前のカーブ

- カーステレオ、ヘッドホンステレオ用のイコライザーカーブが、それまで表示されていたイコライザーカーブと合成されます。
- 通常のイコライザーとして使うときや、カーステレオ、ヘッドホンステレオ以外の録音のときには使わないでください。

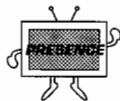
5 録音する - 39

解除するには

キーを押して、「CAR」、「HEADPHONE ST.」を消灯させます。



- 最後に選んでいたカーブが表示されます。

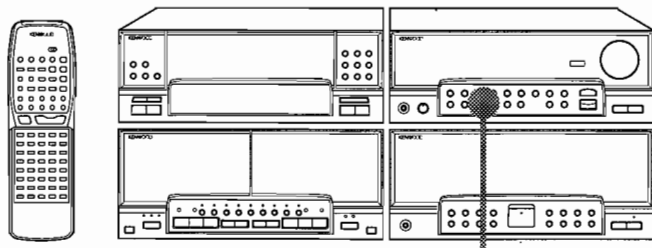


臨場感を再現するためのモードを用意しました。再生ソースやお手持ちの機器に合わせて、お楽しみください。

DEPTHモード - [62]

音の奥行き感をコントロールするモードです。スピーカーの数や再生するソフトにかかわらず、ご使用になれます。

モードの種類
VOCAL(ボーカル)、INST(インストゥルメント)



DSPプレゼンスモード - [58]

フロント4チャンネル(F.4ch)モード

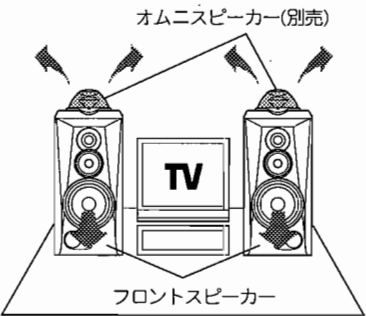
フロントスピーカーとオムニスピーカー(別売)を使って、手軽に4種類の臨場感を再現できます。

モードの種類
ARENA(アリーナ)、JAZZ CLUB(ジャズクラブ)、STADIUM(スタジアム)、MOVIE(ムービー)

フロント2チャンネル(F.2ch)モード

フロントスピーカーだけで臨場感を再現します。フロント4チャンネルモードと同様に4種類の臨場感を再現できます。

モードの種類
ARENA(アリーナ)、JAZZ CLUB(ジャズクラブ)、STADIUM(スタジアム)、MOVIE(ムービー)

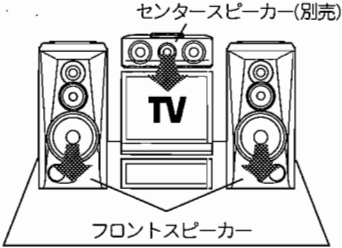


DOLBY 3 STEREOモード - [63]

一般のステレオ音声のビデオソフトを楽しむとき、センタースピーカーを加え、方向性強調と呼ぶ処理をすることで、せりふなどの音像定位を良くします。

センタースピーカー(別売)

フロントスピーカー



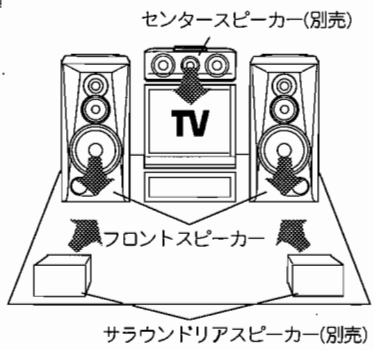
DOLBY PRO LOGIC SURROUNDモード - [64]

このモードで **[DOLBY SURROUND]** のマークが入ったビデオソフトやLDソフトを再生すると、映画館と同じような、臨場感あふれるドルビーサラウンド音響効果が楽しめます。このモードを使うときはサラウンドリアスピーカー(別売)を接続してください。また、センタースピーカー(別売)を接続すると、臨場感が一段とアップします。

センタースピーカー(別売)

フロントスピーカー

サラウンドリアスピーカー(別売)



臨場感を楽しむ

DSPってなに?



デジタルシグナルプロセッサ(Digital Signal Processor)の略称。音の響きかたは様々な条件によって変化します。フロント4チャンネルモード、またはフロント2チャンネルモードではDSPを活用して、一般の2チャンネルステレオの音声から、臨場感の決め手となる残響成分(さまざまな空間における音の響きの要素)を作り出しています。



臨場感のある音楽を楽しむ (DSPプレゼンスモード)

XJ7M (J)

58

F.4chのとき:

メインスピーカーから音楽が、オムニスピーカー(別売)からはプレゼンス音が出力されます。

F.2chのとき:

メインスピーカーから音楽とプレゼンス音が出力されます。

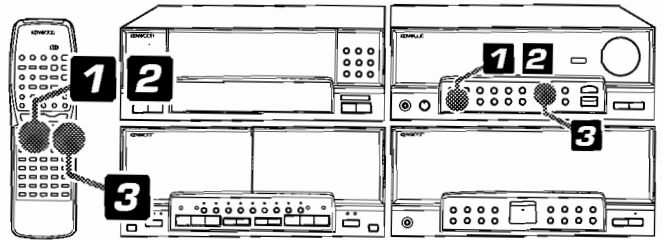
準備しましょう

●放送を受信するか、CD、またはカセットテープを再生します。

CD - 22

テープ - 28

放送 - 32

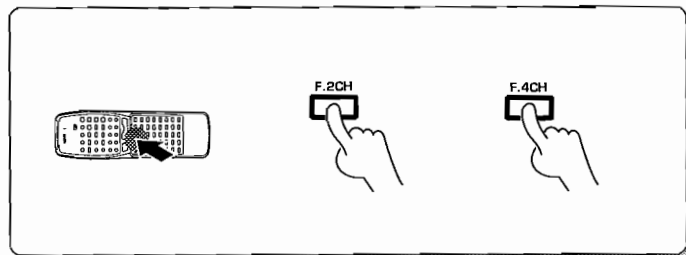


F.4CHモードでプレゼンス再生する場合は、オムニスピーカー (OMNI-A5:別売)が必要です。

1 F.2ch、F.4chのどちらかを選ぶ



2 音場を選ぶ



3 音量のバランスを調節する

● F.4chのとき



オムニの音量が大きくなる



メインの音量が大きくなる

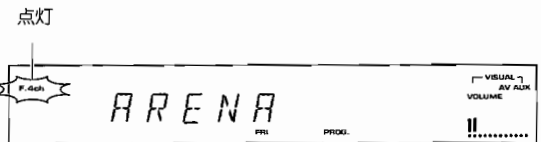
● F.2chのとき

プレゼンス音が大きくなる



音楽(実音)の音量が大きくなる

臨場感を楽しむ



●スピーカーの配置によって決めます。→57

押すたびに切り換わります

① ARENA

アリーナ席の最前列にいるようなライブ感を再現

② JAZZ CLUB

シンバルの響きわたるジャズライブハウスを再現

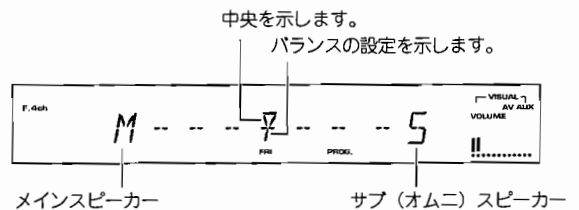
③ STADIUM

天井から反射してくる残響音がほとんどない解放感のある雰囲気

④ MOVIE

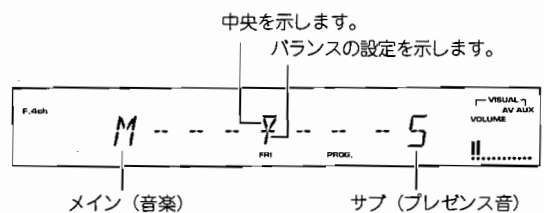
映画館特有の残響音と臨場感を再現

●選んだ音場に対してLINEAR ACOUSTICが自動的に設定されます。



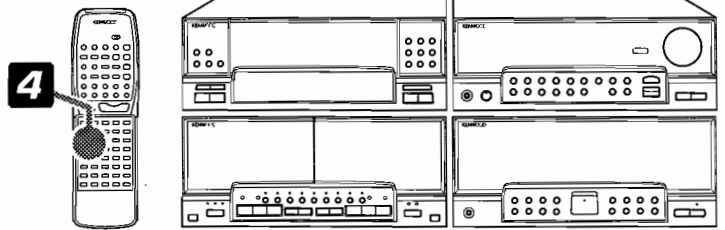
メインスピーカー

サブ(オムニ)スピーカー

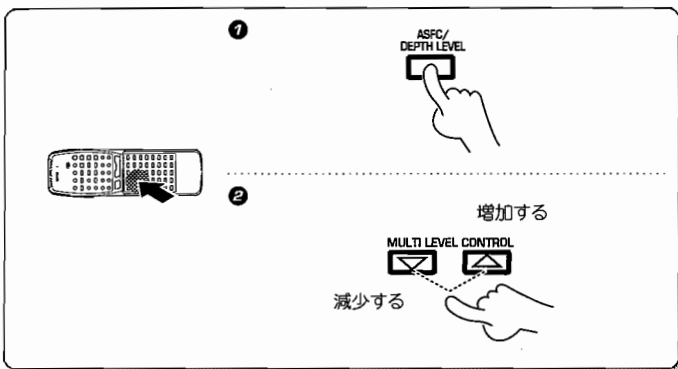


メイン(音楽)

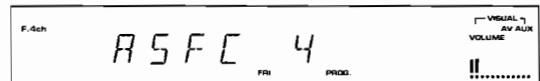
サブ(プレゼンス音)



4 音の広がり (ASFC) を調節する

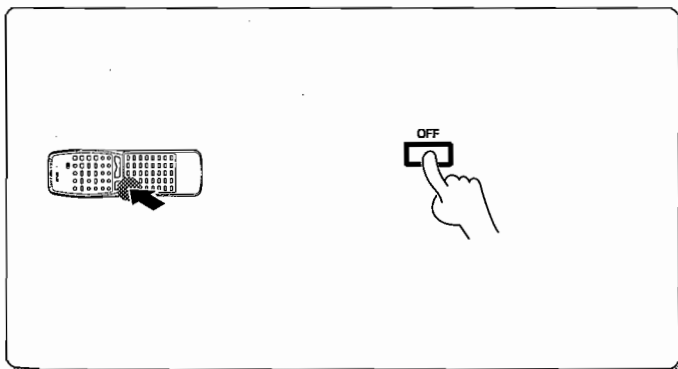


ASFCキーとMULTILEVELCONTROLキーで、更に音の広がりを7段階に調節することができます。数字が大きくなるほど音の広がりが強調されます。



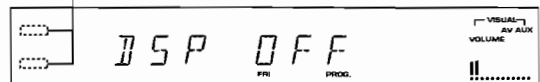
- AIキーを押さなかったときや、CD以外を聴くとき、お好みの音になるように調節します。

DSP再生をやめるには



- DSP再生をしないときは、必ずOFFにしてください。

消灯



AI LINKイコライザー効果

音場を選んだり解除すると、最適なイコライザーカーブとリニアアコースティックティック(メインスピーカーとオムニスピーカーの音量バランス)が自動設定され、音場効果を高めます。

音の広がりとは

ホールによって、または野外スタジアム・ライブなどで、音の聴こえかたが違うのは、間接音の分布が異なるためです。

ASFCではこれらの間接音のレベルを調整し、音の広がりを表現します。

ASFCとは

アコースティック サラウンド フィールド コントロール
ASFC: Acoustic Surround Field Controlの略



臨場感、プラス、3Dバーチャルリアリティーサウンドを体験する

XJ7M [J]

F.4chのとき：

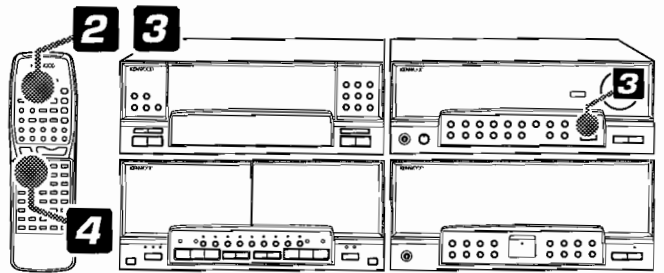
メインスピーカーから音楽が、オムニスピーカー(別売)からはプレゼンス音と環境音(SUB-OMNI INPUTキーで選んだソース)が出力されます。

F.2chのとき：

メインスピーカーから、音楽、プレゼンス音と環境音が出力されます。

準備しましょう ●放送を受信するか、CD、またはカセットテープを再生します。

CD - [22] テープ - [28] 放送 - [32]

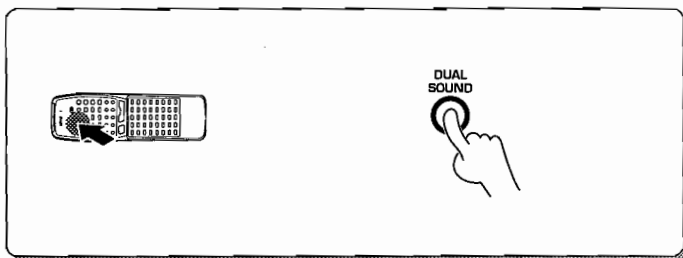


F.4chとバーチャルリアリティーサウンドを組み合わせる場合は、オムニスピーカー (OMNI-A5：別売) が必要です。

1 F.2ch, F.4chの、お好みの音場を選ぶ

- 4種類の音場があります。
(ARENA, JAZZ CLUB, STADIUM, MOVIE)
- 選んだ音場に対応してLINEAR ACOUSTICが自動的に設定されます。

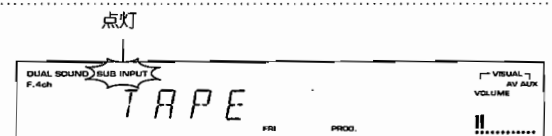
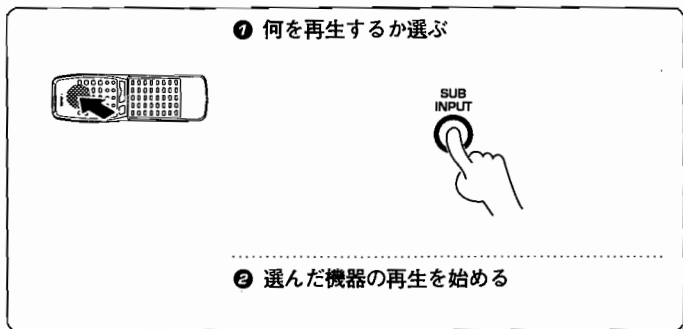
2 バーチャルリアリティーサウンドの音量を調節する



押すたびに切り換わります

- ① LEVEL 1 (環境音の音量:小)
- ② LEVEL 2 (環境音の音量:中)
- ③ LEVEL 3 (環境音の音量:大)
- ④ DUAL OFF (環境音を出力しない)..."DUAL SOUND"消灯

3 バーチャルリアリティーサウンドを再生する

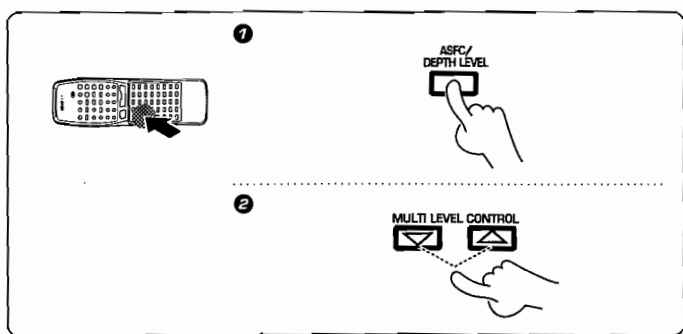


押すたびに切り換わります

- ① []
- ② TAPE
- ③ MD / DAT
- ④ AV AUX

●"DUAL SOUND"表示の消灯中には、サブ(オムニ)入力は選べません。

4 音の広がりを調節する



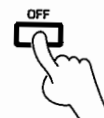
●ASFCは、お好みにより調節してください。-[59]

臨場感を楽しむ

解除するには

DSPプレゼンスの解除

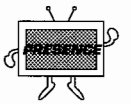
デュアルサウンドの解除



リモコン



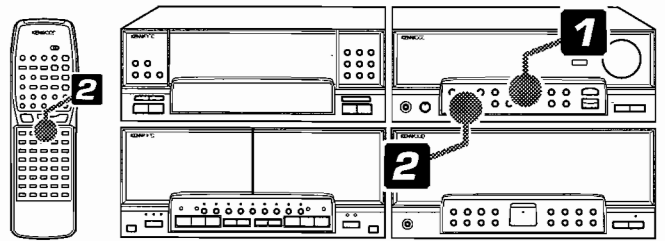
リモコン



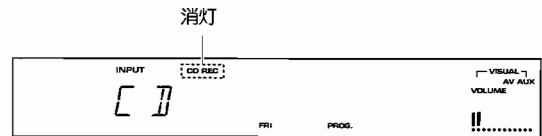
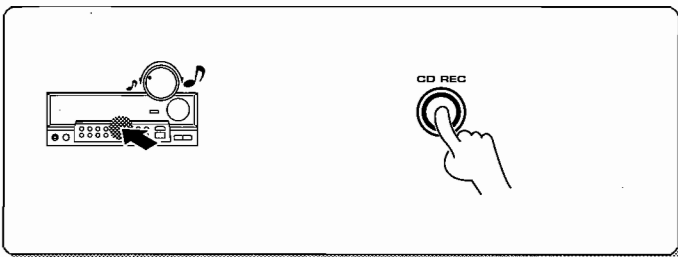
準備しましょう

- 38

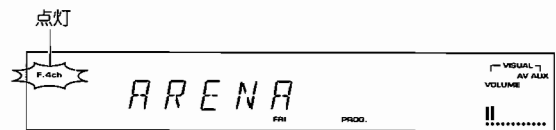
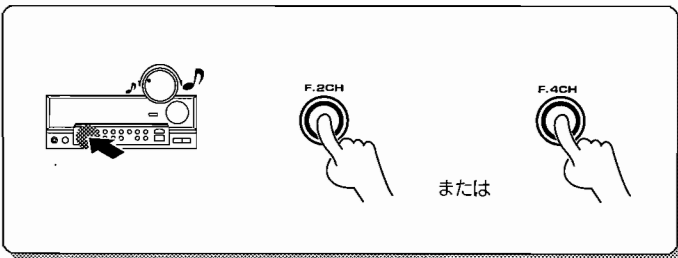
- Bデッキにカセットテープを入れる。
- テープの動く向き(◀▶)を確かめる。
- ドルビーノイズリダクションを選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。
- MAIN INPUTキーで"CD"または"チューナー"を選ぶ。



1 CD RECをOFFにする - 50



2 F.2ch、F.4chから音場を選ぶ



押すたびに切り換わります

- ① ARENA
アリーナ席の最前列にいるようなライブ感を再現
- ② JAZZ CLUB
シンバルの響きわたるジャズライブハウスを再現
- ③ STADIUM
天井から反射してくる残響音がほとんどない解放感のある雰囲気再現
- ④ MOVIE
映画館特有の残響音と臨場感を再現

●選んだ音場に対応してLINEAR ACOUSTICが自動的に設定されます。

3 音楽を再生し、録音する

●バーチャルリアリティーサウンドを組み合わせた場合、サブ(オムニ)入力の音がミックスされた録音になります。

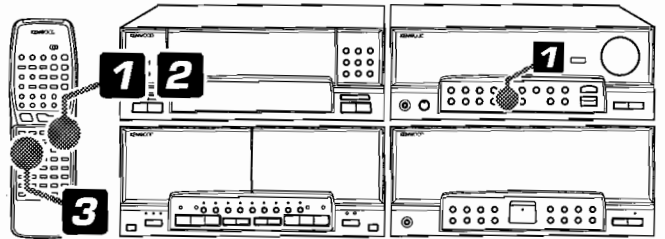
臨場感を楽しむ



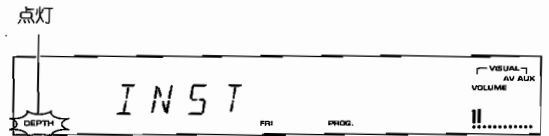
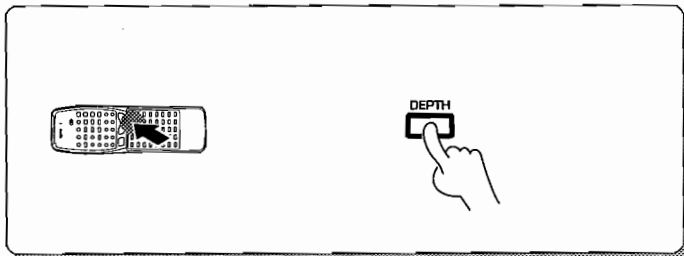
音の奥行き感をコントロールする (DEPTH)

準備しましょう ●放送を受信するか、CD、またはカセットテープを再生します。

- CD - 22
- テープ - 28
- 放送 - 32

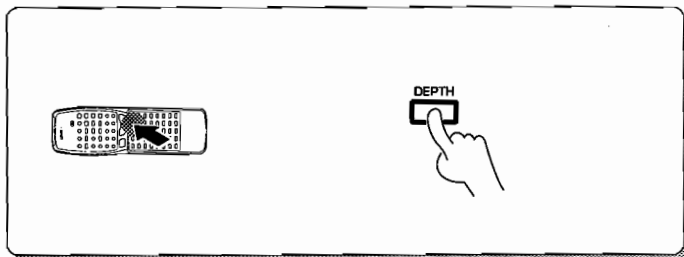


1 "DEPTH"をオンにする



●音場名が表示されます。

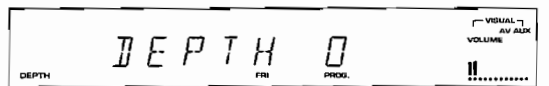
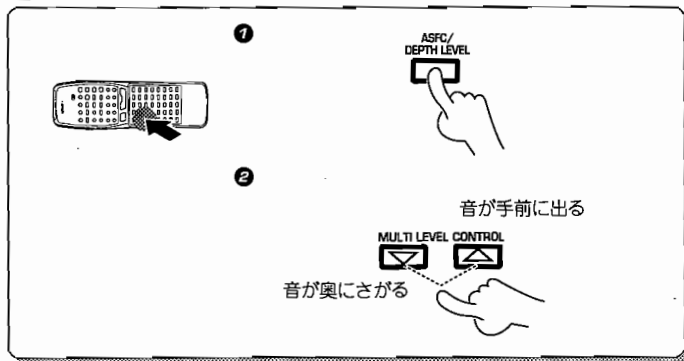
2 モードを選ぶ



押すたびに切り換わります

- ① *VOCAL* 歌声の奥行き感を調節できるモード
- ② *INST* 演奏の奥行き感を調節できるモード (INSTRUMENT)

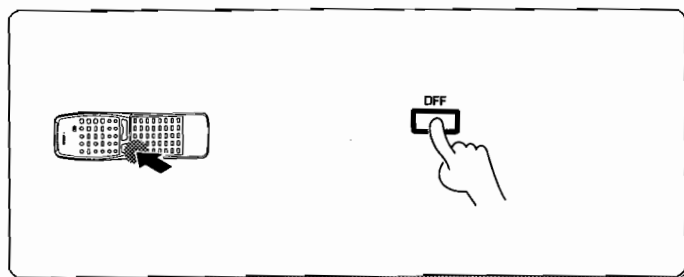
3 音の奥行き感を調節する



音の奥行き感を5段階に調節することができます。数字が大きくなるほど、音が手前に出てきます。

臨場感を楽しむ

DEPTHを解除するには



ドルビー3ステレオの調整・再生

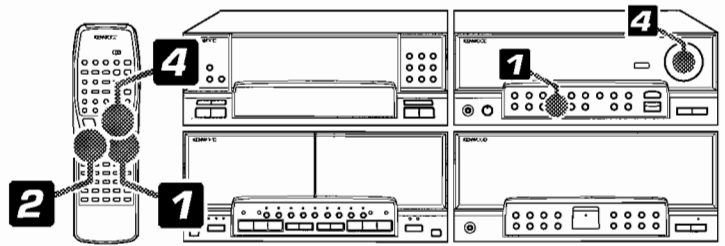


XJ7M (J)

一般の2チャンネルステレオ音声のビデオソフトなどを再生するとき、センタースピーカーを加え、方向性強調処理をすることで、せりふ等の音像定位がよくなります。

準備しましょう

- お手持ちのスピーカーの構成に合わせて、センターモードを必ず設定してください。



ドルビー3ステレオのとき、オムニスピーカー(別売)から音は出ません。また、DUAL SOUNDキーは動きません。

1 ドルビー3ステレオをオンにする



2 音量のバランスを調整する

- ① テストトーンを出す



- ② メインスピーカーと音量が同じになるように調整する

- ① センターチャンネルを選ぶ



- ② 調整する



- ③ テストトーンを止める



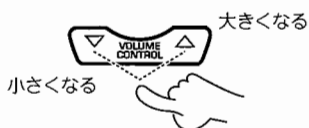
- 1.5秒間隔で、「ザー」というテストトーンが移動して行きます。

- ① TEST L (LEFT)
- ② TEST C (CENTER)
- ③ TEST R (RIGHT)

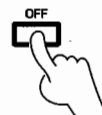
- MULTI LEVEL CONTROLキーを押すと、音量レベルが表示部に表示されます。表示中はキーを押すたびに1dBステップで調整できます。
- 音量レベルの調整範囲は-30dB~+10dBです。
- センターレベルは"ドルビープロ ロジックサラウンド"と共通の設定として記憶されます。

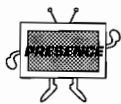
3 ビデオソフトを再生する

4 音量を調節する



ドルビー3ステレオ再生をやめるには



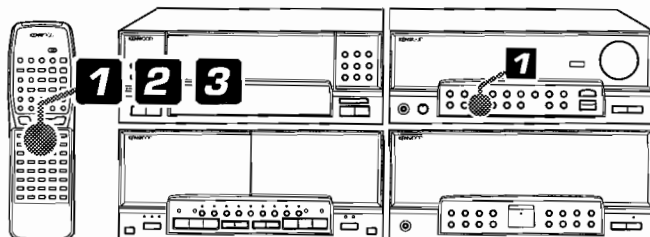


ドルビープロ ロジックサラウンドの調整

DOLBY SURROUND マークのビデオ (またはLD) ソフトを再生すると、映画館と同じようなドルビーサラウンド音響効果が楽しめます。

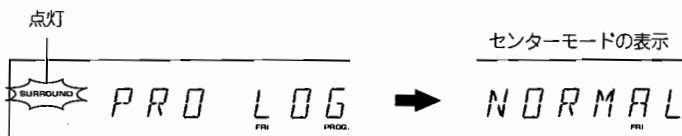
準備しましょう

●お手持ちのスピーカーの構成に合わせて、センターモードを必ず設定してください。



ドルビープロ ロジックサラウンドのとき、オムニスピーカー(別売)から音は出ません。また、DUAL SOUNDキーは動きません。

1 ドルビーサラウンドをオンにする

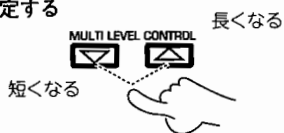


2 遅延時間(ディレイタイム)をあわせる

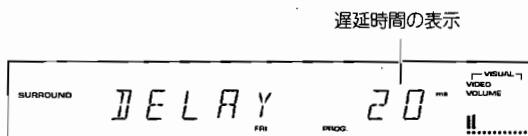
① "ディレイタイム"を選ぶ



② 設定する



遅延時間の計算方法 -[65]



- DELAY TIMEキーを押すと、遅延時間が表示部に表示され、MULTI LEVEL CONTROLキーで5段階に調整できます。
- 遅延時間の調整範囲は16~29msです。
- 一度設定した遅延時間は自動的に記憶され、再設定しない限り、変わりません。

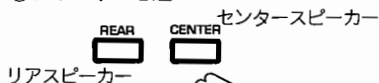
3 音量のバランスを調整する

① "ディレイタイム"を選ぶ

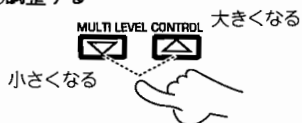


② メインスピーカーと音量が同じになるように調整する

①チャンネルを選ぶ



②調整する



③ テストトーンを止める



- 1.5秒間隔で「ザー」というテストトーンが移動して行きます。

NORMAL, WIDE BANDのとき

PHANTOMのとき

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ① TEST L (LEFT) | ① TEST L (LEFT) |
| ② TEST C (CENTER) | ② TEST R (RIGHT) |
| ③ TEST R (RIGHT) | ③ TEST S (SURROUND)(リア) |
| ④ TEST S (SURROUND)(リア) | |

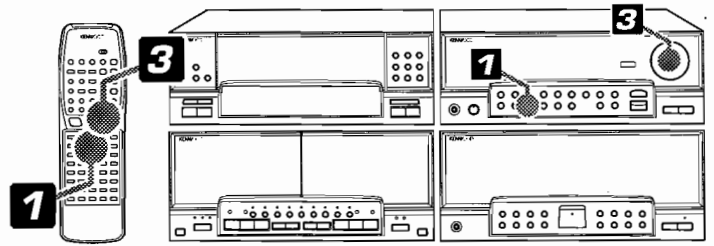
- MULTI LEVEL CONTROLキーを押すと、音量レベルが表示部に表示されます。表示中はキーを押すたびに1dBステップで調整できます。
- 音量レベルの調整範囲は-30dB~+10dBです。
- センターレベルは"ドルビー3ステレオ"と共通の設定として記憶されます。

ドルビープロ ロジックサラウンドの再生



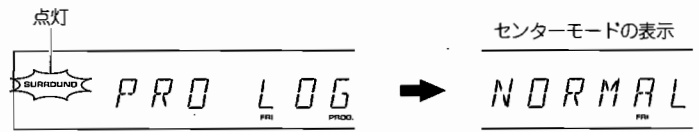
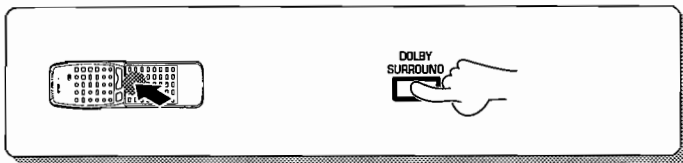
XJ7M (J)

DOLBY SURROUND マークのビデオ(またはLD)ソフトを再生する前に、必ず「ドルビープロ・ロジックサラウンドの調整」を済ませてください。



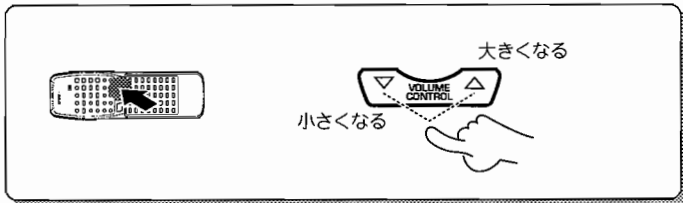
ドルビープロ ロジックサラウンドのとき、オムニスピーカー(別売)から音は出ません。また、DUAL SOUNDキーは動きません。

1 ドルビーサラウンドをオンにする

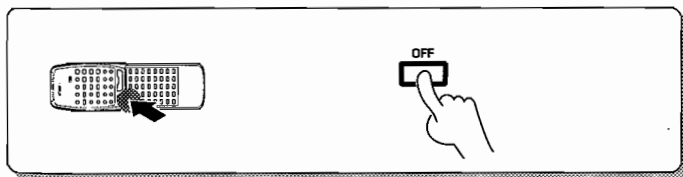


2 ビデオソフトを再生する

3 音量を調節する



ドルビーサラウンド再生をやめるには

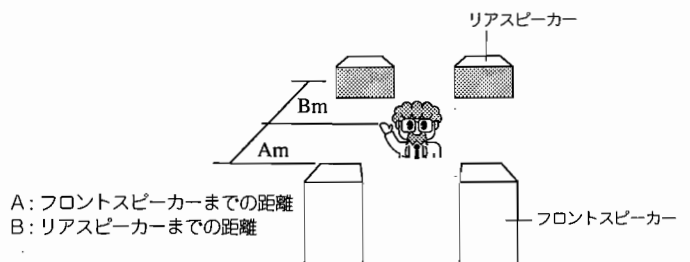


遅延時間の計算方法

あなたが座る場所によって、最適な遅延時間が異なります。図を参考に、計算してください。

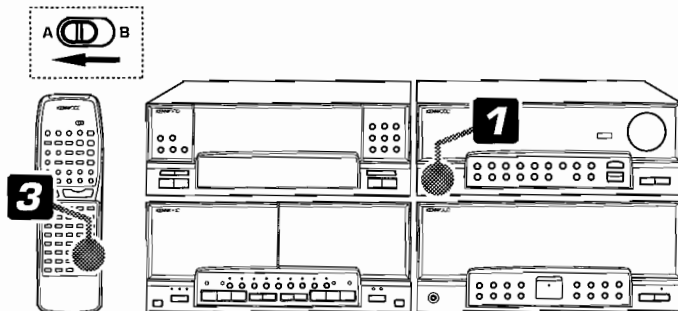
$$\text{遅延時間 (ms)} = 20\text{ms} + 3\text{ms} \times (\text{A} - \text{B})$$

たとえば、A=5m, B=3mなら...
 $20\text{ms} + 3\text{ms} \times (5-3) = 26\text{ms}$



計算結果にいちばん近い設定値を選んでください。

臨場感を楽しむ



簡単にカラオケを楽しむ (HIT MASTER)

1 マイクをつなぐ

① MIC MIXING つまみを左いっぱいに戻す

② MIC端子にマイクを接続する

③ カラオケ演奏とマイクの音量バランスを調節する

マイクの音が小さくなる マイクの音が大きくなる

- ミニプラグ付のマイクをご使用ください。

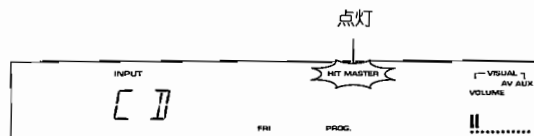
*7.5mm
ミニプラグマイク*

- マイクを使用しないときは、MIC MIXINGつまみを左いっぱいに戻してください。

2 音楽を再生する

3 HIT MASTERキーを押す

- ドルビーサラウンド、ドルビー3ステレオ、DEPTHモード以外にします。SOURCE DIRECTはOFFにしてください。



- 音楽ソースのヴォーカルが小さくなります。ただし、曲やディスクによっては効果が弱い場合もあります。

4 曲に合わせて歌う

カラオケを録音するには

① "CD REC"が消灯しているのを確かめる

②

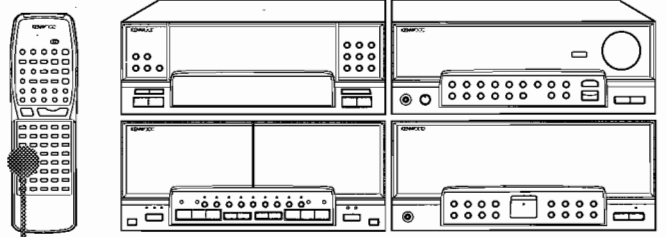
③ 録音する - 39

テープの演奏でカラオケをするとき、その音は録音できません。





通常のタイマー予約（プログラムタイマー）に加えて、その他の3種類の便利なタイマーが用意されています。目的に合わせて使い分けてください。



おやすみタイマー -72

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

ワンタッチタイマー -72

電源ON時刻を簡単に設定できます。

プログラムタイマー -68

ON時刻に電源が入り、OFF時刻に電源が切れるように、放送、テープ、CDの再生、放送の録音を行います。
最大4つまでのタイマー予約ができます。

目覚ましタイマー (AI TIMER 1, 2) -71

プログラムタイマーに、目覚ましタイマーを追加設定することができます。

AI TIMER 1：電源が入ると、音量がだんだん大きくなります。

AI TIMER 2：お好きなディスクでお目覚めの後、自動的に放送を受信します。



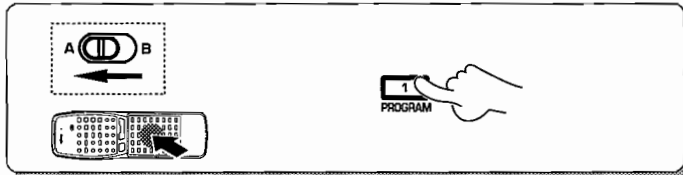
タイマー予約をする

時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください

XJ7M (J)

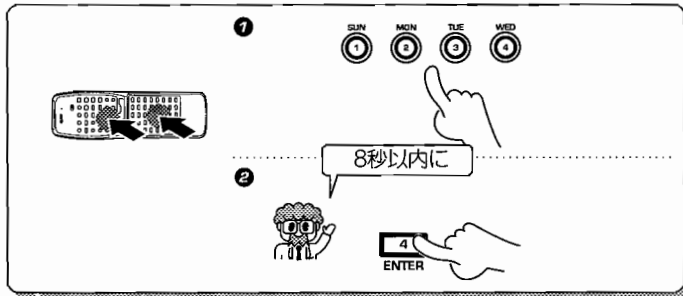
68

1 タイマー設定を始める



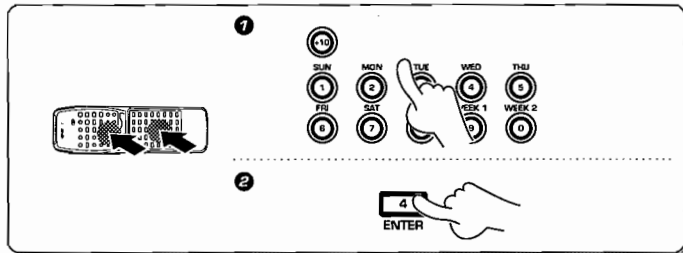
8秒以内に手順2へ

2 プログラム番号を選ぶ

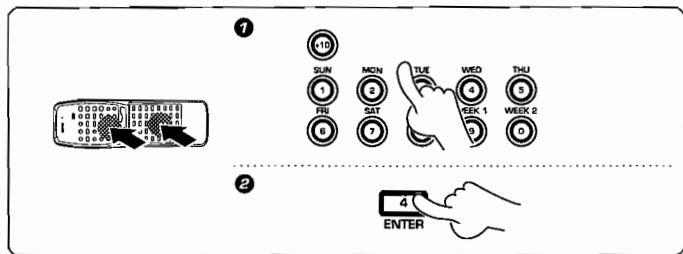


8秒以内に

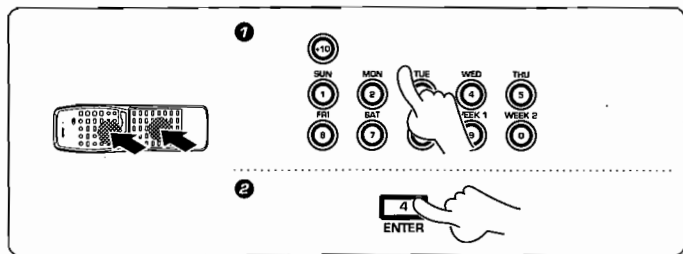
3 曜日を設定する



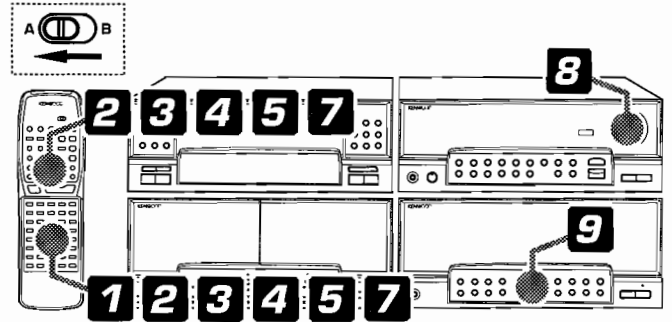
4 ON時刻を設定する



5 OFF時刻を設定する



タイマーを使う



SELECT PROGRAM

点滅

●プログラム番号(1~4)が点滅します。

PNO

点滅

●選んだプログラム番号が点滅します。
●すでに予約されているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。

DAY

点滅

●間違えたときは、**CLEAR**キーを押してやり直してください。
日曜日～土曜日の他に、3パターン用意されています。
EVERY:月曜日～日曜日の毎日
WEEK1:月曜日～土曜日の毎日
WEEK2:月曜日～金曜日の毎日

ON 00:00

点滅

数字キーを押す順序は...
午前6時30分なら: 0 6 3 0

●間違えたときは、**CLEAR**キーを押してやり直してください。

OFF 00:00

点滅

数字キーを押す順序は...
午前7時00分なら: 0 7 0 0

●間違えたときは、**CLEAR**キーを押してやり直してください。



6 希望の予約を設定する

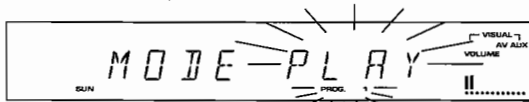
放送、CD、テープを聴くとき

1 SELECT MODE

BAND

"PLAY"を選ぶ (押すたびに切り換わります)

- ① PLAY ○
- ② REC ✕



4 ENTER

決定する

2 SELECT SOURCE

BAND

何を聴くかを選ぶ (押すたびに切り換わります)

- ① TUNER : 放送
- ② CD : CD
- ③ TAPE : テープ
- ④ LAST : 最後に聴いていたもの



4 ENTER

決定する

3 聴くための準備をする

● 放送を聴く

SELECT PRESET

プリセットナンバーを選ぶ



4 ENTER

決定する

● 放送局は、必ずプリセットしておいてください。

● CDを聴く

プラス1トレイにCDをセットする



● プログラム再生はできません。

● テープを聴く

テープをセットする



● A/B両デッキにテープを入れると、Bデッキから再生が始まります。

放送を録音するとき

1 SELECT MODE

BAND

"REC"を選ぶ

- ① PLAY ✕
 - ② REC ○
- (押すたびに切り換わります)

4 ENTER

決定する

2 SELECT PRESET

プリセットナンバーを選ぶ



4 ENTER

決定する

3 録音の準備をする

- 38

7 働かせたいプログラム番号をセットする

1



8秒以内に

2 予約設定したプログラム番号を選ぶ



SELECT PROGRAM

PRG. 1 2 3 4 点滅

- 選んだプログラム番号が点灯します。
- プログラム番号をセットしないと、タイマーは動きません。



点灯


8 音量を調節する

9 電源をOFFにする


- 放送を録音するとき、タイマーで電源がONになると、最低の音量に自動的にセットされます。



タイマーで電源がONになったあとそのまま再生を続ける

① 


② プログラム番号の数字キーを押す







●実行中のプログラム番号が消灯していることを確かめます。

予約の内容を確認する

① 

② プログラム番号の数字キーを押す






●予約内容を3秒ずつ表示していきます。そのあと、元に戻ります。


予約の内容を変更するには

”タイマー予約をする”を始めからやりなおしてください。

タイマーを働かせたくないとき

① 

② プログラム番号の数字キーを押す





●予約内容は記憶しています。

再び同じ内容のタイマーをセットする

① EXE.キーを押す

② プログラム番号の数字キーを押す

③ 電源をOFFにする

●ディスク、テープの準備、音量の調節をしておきます。

ご注意

予約内容は削除できません。内容を変更することにより、以前の内容が消されます。





プログラムタイマーで時刻を設定したうえで、AIタイマー機能を利用することができます。AIタイマー1とAIタイマー2を同時にセットすることもできます。

音量がだんだん大きくなる (AIタイマー-1)

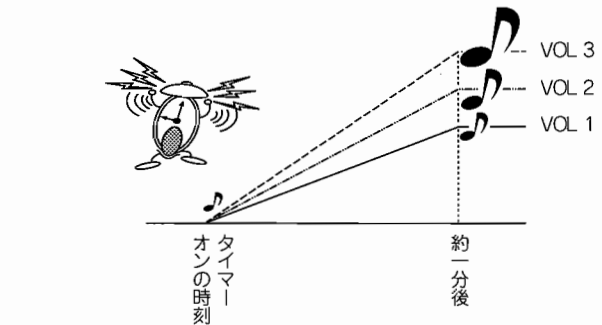
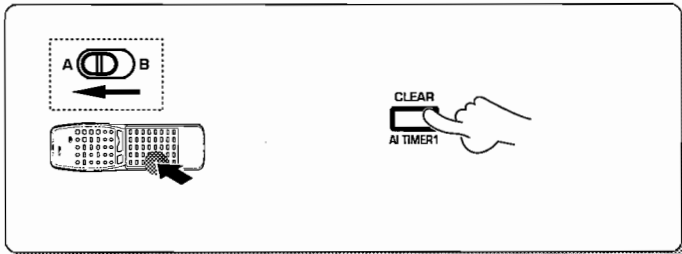
プログラムタイマーで電源が入ったとき、音量が徐々に大きくなる機能です。

準備しましょう

- プログラムタイマーを設定する。
- 電源をOFFにしておく。

- 69

AI TIMER 1キーを押す



●イコライザーカーブも変わります。
最大音量を選びます。キーを押すたびに切り換わります。

- ① AI 1 OFF AIタイマー-1を使わない
- ② AI 1 VOL 1 小さめ
- ③ AI 1 VOL 2 中くらい
- ④ AI 1 VOL 3 大きめ



●AIタイマー-1が働いているときにリモコンで音量を調節するか、またはグラフィックイコライザーを操作すると、音量は固定されます。

AIタイマー-1を解除するには

AI TIMER 1キーを押して"AI 1 OFF"を選び、インジケータを消灯させてください。

CDを聴いたあとで放送に切り換わる (AIタイマー-2)

プログラムタイマーで電源が入ると、CDを2曲再生したあと、自動的に最後に聴いていた放送局を受信します。

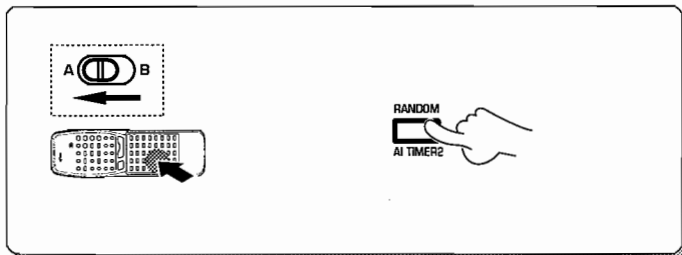
AIタイマー-2は、他のプログラムタイマーより優先されます。

準備しましょう

- CDプレーヤーのプラス-1トレイにディスクを入れる。
- 放送を受信するように、プログラムタイマーを設定する。

- 69

AI TIMER 2キーを押す



- AIタイマー-2のCDの再生中に入力を切り換えるか、CDプレーヤーの操作キーを押すと、CDの再生をやめ、AIタイマー-2は解除されます。
- CDが入っていないときは、最初から放送受信になります。

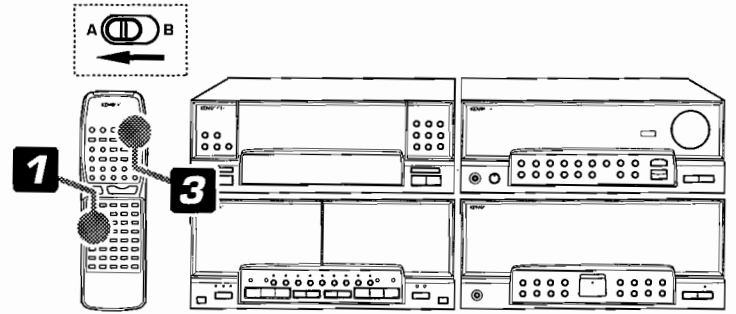
AIタイマー-2を解除するには

AI TIMER 2キーを押してインジケータを消灯させてください。

ご注意

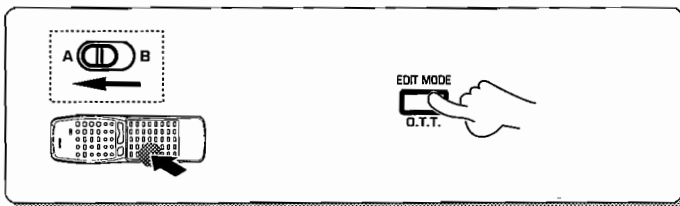


1. プログラムタイマーの動作が終わっても、AIタイマー1およびAIタイマー2のインジケータは消えません。AIタイマーを使わないときは必ずインジケータを消しておいてください。
2. AIタイマーは、タイマー録音のときは動きません。



ワンタッチタイマー予約

1 ON時刻を設定する

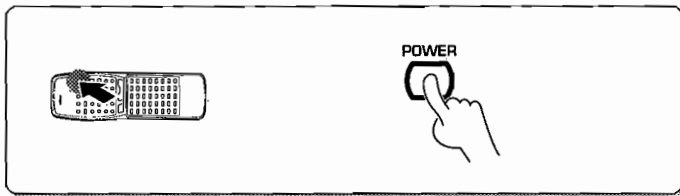


2 ききたい音楽を準備する

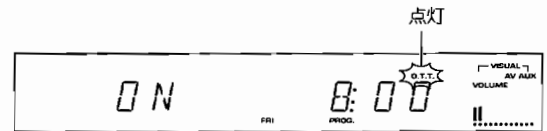
MAIN INPUTキーで、ききたいものを選んでおきます。

- CD - 22
- テープ - 28
- 放送 - 32

3 電源をOFFにする



- 1回押すと、30分以内の区切りのよい時間が設定されます。(例7時40分→8時00分)。以後、押すたびに30分ずつ追加されます。12時間先まで設定できます。
- 電源がOFFのときにも設定できます。



- CDのときディスクが、またはテープのときにカセットテープが入っていないと、最後に聴いていた放送局が受信されます。

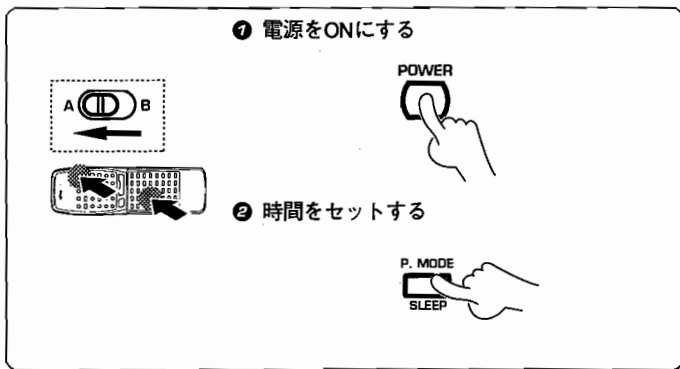
- O.T.T.キーを1回押すと、ON時刻を確認することができます。
- ワンタッチタイマーで電源がONになると、自動的におやすみタイマーが60分にセットされます。

解除するには

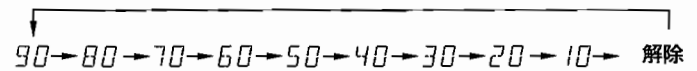
電源をONにする、または、「O.T.T.」表示が消えるまでO.T.T.キーを押します。

おやすみタイマー予約

何分後に電源を切るかを設定する



- セットした時間が過ぎると、自動的に電源がOFFになります。
- 1回押すごとに10分ずつ減っていきます。最大90分まで設定できます。



解除するには

電源をOFFにするか、または、SLEEPキーを解除になるまで押す。

ご注意

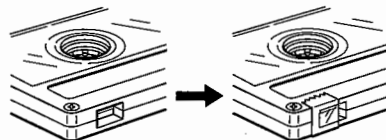
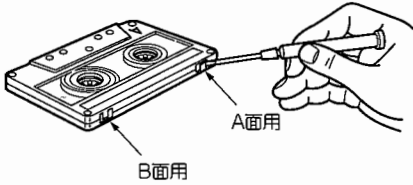


時刻合わせのためにADJUSTキーを押すと、ワンタッチタイマーは解除されます。

カセットテープについてのご注意

誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。
誤消去・誤録音が防げます。

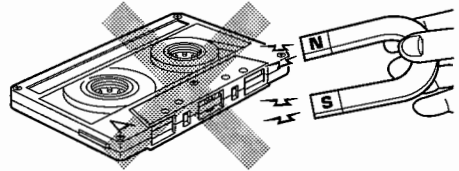


再び録音するには

折った所だけにテープをはる。

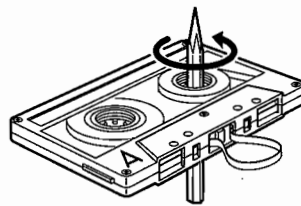
カセットテープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。
また、磁石や磁気は近づけないでください。



テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



ご注意

1.110/120分テープについて

110/120分テープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたりトラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。



2.エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

ヘッドのお手入れ

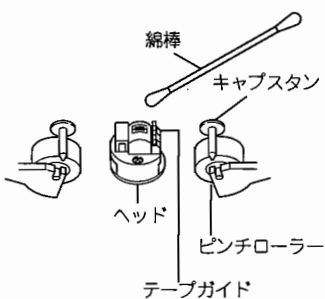
ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

1. イジェクトキーを押し、カセットホルダーを開けます。
2. ヘッド(録音/再生/消去)、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。



ご注意

ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。



露付きにご注意

水蒸気が、冷たいものの表面にふれて水滴が付くことを"露付き"といいます。この現象がおきますと、正常に動作しないか、または、まったく動作しないことがあります。

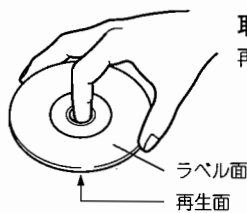
これは故障ではありませんが、露がとれるまでしばらく乾燥させる必要があります。

本機の電源を入れた状態で、そのまま放置してください。長くて数時間で露が乾いてきます。

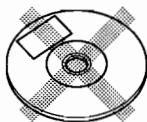
次のような状態のときは、特に露付きにご注意ください。

- 寒いところから暖かい部屋など気温差の大きいところへ持ち込んだとき。
- 暖房をきかせはじめたとき。
- 冷房のよくきいた部屋から、湿度が高く気温の高い部屋へ持ち込んだとき。
- その他本機の温度と外気温との差が大きく、露付きの状態になりやすい条件のとき。

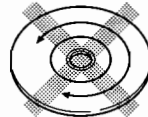
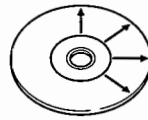
ディスク取扱上のご注意



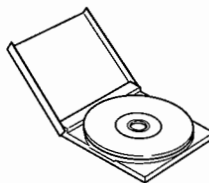
取り扱い
再生面にふれないように持ってください。



再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。テープ等をはがしたあとは、きれいに拭き取っておいてください。(シールの粘着剤が原因で、プレーヤー内部にディスクが引っ掛かる場合があります。レンタルディスクや中古ディスク等には注意が必要です。)

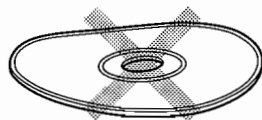
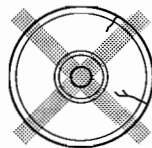


お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

ディスク使用上のご注意



ひびやそりのあるディスクは使わない
再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

ドルビーノイズリダクションおよびHX PROヘッドルームエクステンションは、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。HX PROは、バンク アンド オルフセンの考案です。ドルビー、DOLBY、ダブルD記号 **DD** およびHX PROは、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号 **DD** は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容

時計表示

電源プラグをコンセントから抜いて最低3日で消えるメモリーの内容

アンプ部
POWERの状態 (ONまたはOFF)
入力切換
ボリュームの値
チューナー一部の受信バンド
周波数
プリセット放送局
プログラムの設定内容
カセットデッキ部
走行方向

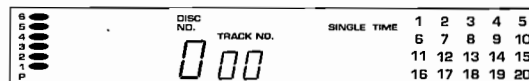
スピーカーの設置とテレビについて

- このシステムのスピーカーは、テレビとの近接使用が可能な防磁型(EIA規格)ですが、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを離してご使用ください。
- 近くに磁石など磁気が発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置にご注意ください。
- テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがOFFのときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときには、下記の操作を行ってください。

- ディスクを入れないで電源をONにします。
●▶/■キーを押して、プラス1トレイにディスクがないことを確かめます。
- 数秒間待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。



- 電源をOFFにします。

故障と思われる症状ですが....

リモコン部

症状	原因	処置
リモコンで操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●電池切れ ●操作する位置が遠すぎる。角度がずれている。または障害物がある。 ●平行コードが正しく接続されていない。 ●再生しようとする機器に、テープ、CDが入っていない。 ●録音中のカセットデッキで再生しようとしている。 ●A/B切り換えスイッチが正しくセットされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい電池に入れ替える。 ●操作範囲内で操作する。 - [16] ●”接続のしかた”を見て正しく接続し直す。 ●再生しようとする機器に、テープ、CDを入れる。 ●録音が終わるまで待つ。 ●A/B切り換えスイッチを正しくセットする。 - [15]

アンプ、チューナー部、スピーカー部

症状	原因	処置
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 ●音量を最小にしている。 ●プリアンプ/チューナーのMUTEがONになっている。 ●ヘッドホンプラグが差し込まれている。 ●平行コードがはずれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●”接続のしかた”を見て正しく接続し直す。 - [8] ●適当な音量にする。 ●MUTEをOFFにする。 ●ヘッドホンプラグを抜く。 ●平行コードの接続を確認する。 - [4]
スピーカーから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●LINEAR ACOUSTICの設定が不適切。 ●スピーカーコードがはずれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●LINEAR ACOUSTICを適切に設定する。 - [18] ●”接続のしかた”を見て正しく接続し直す。 - [4]
バーチャルリアリティサウンドが再生されない。	<ul style="list-style-type: none"> ●DUAL SOUNDがOFF (表示消灯) になっている。 ●LINEAR ACOUSTICの設定が不適切。 	<ul style="list-style-type: none"> ●DUAL SOUNDキーを押してONにする。 - [37] ●LINEAR ACOUSTICを適切に設定する。 - [37]
ヘッドホンから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●LINEAR ACOUSTICの設定が不適切。 ●サブ (オムニ) インプットで再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●LINEAR ACOUSTICを適切に設定する。 - [18] ●メインインプットで再生する。 - [22]
スタンバイインジケータが点滅し、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがショートしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一時電源スイッチを切り、ショートを取り除き、再度電源スイッチを入れる。
スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 ●バランスの設定が不適切。 	<ul style="list-style-type: none"> ●”接続のしかた”を見て正しく接続し直す。 - [4] ●バランスを適切に調節する。 - [19]
サラウンドスピーカー、センタースピーカーから音が出ない。または小さい。	<ul style="list-style-type: none"> ●リアスピーカーコードおよびセンタースピーカーコードがはずれている。 ●サラウンド再生モードになっていない。 ●リアレベル、センターレベルが最小になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●”接続のしかた”を見て正しく接続し直す。 - [9] ●サラウンドモードにする。 - [64] ●リアレベル、センターレベルを調節する。 - [64]
時刻表示が、ある時間で止ったまま点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> ●停電があった。 ●電源プラグを一度抜いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻をもう一度合わせる。 - [17] ●現在時刻をもう一度合わせる。
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻を合わせていない。停電があった。 ●タイマーのON時刻とOFF時刻を設定していない。 ●タイマーの実行指定をしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●”時刻合わせ”を見て現在時刻を合わせる。 ●タイマーのON時刻とOFF時刻を設定する。 - [68] ●EXE. キーで実行指定をする。 - [69]
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続していない。 ●放送バンドが合っていない。 ●受信したい放送局の周波数に合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続する。 - [6] ●放送バンドを合わせる。 - [32] ●受信したい放送局の周波数に合わせる。 - [32]
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車のイグニッションノイズ。 ●電気器具の影響によるもの。 ●テレビが近くにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。

症状	原因	処置
プリセットしたあと、数字キーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●プリセットした放送局が、受信できない周波数である。 ●長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ●もう一度プリセットする。 → 34

カセットデッキ部

症状	原因	処置
再生キーを押しても音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●コードの接続が間違っている。 ●ヘッドが汚れている。 ●巻取りムラがありテープが重くなっている。 ●未録音テープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"に従い正しく接続し直す。 ●"ヘッドのお手入れ"を見てヘッドを清掃する。 → 73 ●テープを交換してみる。 ●録音済みテープを使う。
操作キーを押しても作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ●カセットホルダーを開めて、すぐ操作キーを押している。 ●電源を入れてから、3秒以内に操作キーを押している。 ●テープが入っていない。 ●巻取りムラがあり、テープが重くなっている。 ●テープがどちらかに巻き取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホルダーを完全に閉める。 ●ホルダーを開けてから何秒か待って操作キーを押す。 ●3秒以上たってから操作キーを押す。 ●テープを入れる。 ●テープを交換してみる。 ●デッキの走行方向を変える。またはテープを裏返す。
DPSSが誤動作する。	<ul style="list-style-type: none"> ●曲と曲の間が短いなど、DPSSに不適当なテープを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"DPSSについて"をお読みください。 → 30
CCRSが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●Bデッキに録音できるテープが入っていない。 ●CDプレーヤーにディスクが入っていない。 ●ディスクが汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●Bデッキに録音できるテープを入れ、操作をやり直す。 ●CDプレーヤーにディスクを入れ、操作をやり直す。 ●ディスクを清掃したあと、CDプレーヤーに入れ、操作をやり直す。 → 74
AデッキとBデッキで、ダビングの終わる時間が違う。	<ul style="list-style-type: none"> ●テープの長さやカセットデッキのメカニズムの特性によるもの。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多少の時間差は故障ではありません。
イジェクトキーを押してもホルダーが開かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音中、または再生中に押している。 ●外部からの雑音により、マイコンが誤動作した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●停止状態で押す。 ●いったん電源コードを抜いてから差し込み直す。
音がかすれたり、高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが汚れている。 ●テープが伸びたり、ワカメ状になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"を見てヘッドを清掃する。 → 73 ●テープを交換する。
音がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> ●CRLSキーで録音レベルの設定をしていない。 ●ひずんだ音で録音されたテープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"録音のしかた"をお読みください。 → 39 ●テープを交換する。
雑音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが磁気を帯びている。 ●外部の雑音を誘導している。 ●ドルビーNRをONで録音したテープを、OFFで再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"を見て、消磁する。 → 73 ●照明器具、テレビなどから離す。 ●DOLBY NRをBかCにする。 → 28
録音された音量が、途中で変わっていた。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音中に、MIC MIXINGつまみを動かした。 	<ul style="list-style-type: none"> ●録音するときは、つまみを左いっぱいに戻しておきます。

症状	原因	処置
音がふるえる	<ul style="list-style-type: none"> ●キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。 ●テープに巻き取りムラがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●”ヘッドのお手入れ”を見て、ヘッドを清掃する。 - 73 ●テープの端から端までを通して早送り、巻き戻し、または再生をして巻き直す。
録音キーを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットテープのツメが折れている。 ●カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ●プリアンプ/チューナーの入力切り換えがTAPEになっている。 ●テープがどちらかに巻き取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。 ●ホルダーを完全に閉める。 ●MAIN INPUTキーで録音したいソースを選ぶ。 - 39 ●Bデッキの走行方向を変える、またはテープを裏返す。 - 38

CDプレーヤー部

症状	原因	処置
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが裏返しに入っている。 ●ディスクがずれている。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●光学レンズに露がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ラベル面を上にして、正しく入れる。 ●ディスクを正しく入れ直す。 ●”ディスク取扱上のご注意”を参照し、ディスクを清掃する。 - 74 ●ディスクを取り替える。 ●”露付きにご注意”を参照し、露を蒸発させる。 - 73
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが入っていない。 ●再生状態になっていない。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●接続コードがしっかり差し込まれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクを入れる。 ●▶/ キーを押す。 ●”ディスク取扱上のご注意”を参照し、ディスクを清掃する。 - 74 ●ディスクを取り替える。 ●しっかりと接続する。
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●本機に振動が加わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●”ディスク取扱上のご注意”を参照し、ディスクを清掃する。 - 74 ●ディスクを取り替える。 ●振動のない場所に設置する。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を開めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ご注意



1. 本システムではマイコンを使用していますので、外部からの雑音や、妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。そのような場合、電源コードを一度抜いてからあらためてご使用ください。
2. 接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を变形させることがあります。
3. テープの種類によっては、自動的にテープが止まったときに”キュー”という音がすることがあります。これはテープ保護機構が動くため、故障ではありません。
4. 110/120分テープは、テープ厚が薄くてわかめ状になりやすいため、ご使用にならないでください。

プリアンプ/チューナー部(C-E9)

[FMチューナー部]

受信周波数範囲	76MHz~90MHz
実用感度 (モノラル)	13.2dBf (1.2 μ V, 75 Ω)
SN比	
モノラル	75dB (65dBf入力時)
ステレオ	68dB (65dBf入力時)
実効選択度 (\pm 400kHz)	50dB
ステレオセパレーション (1kHz)	40dB
周波数特性 (30Hz~15kHz)	+0.5dB, -3.0dB

[AMチューナー部]

受信周波数範囲	531kHz~1,602kHz
実用感度	12 μ V (500 μ V/m)
SN比	48dB
AMステレオ受信時	
SN比	36dB
ステレオセパレーション(400Hz)	30dB

[プリアンプ部]

全高調波ひずみ率	0.006% (1kHz, 200mV, SOURCE DIRECT時)
入力感度/インピーダンス	
MD/DAT, VIDEO, AV AUX	200mV/47k Ω
MIC	1.3mV/47k Ω
N.B. CIRCUIT 特性	+8dB max. (60Hz)
出力レベル/インピーダンス	
MD/DAT, VIDEO	200mV / 2.2k Ω

[ビデオ部]

入力端子(感度/インピーダンス)	
VIDEO (コンポジット)	:1Vp-p/75 Ω
入力端子 (AV AUX, VIDEO)	
出力端子(レベル/インピーダンス)	
VIDEO (コンポジット)	:1Vp-p, 75 Ω
出力端子 (映像モニター出力, VIDEO)	

最大外形寸法	幅	270mm
	高さ	104mm
	奥行	328mm
重量(正味)		2.5kg

パワーアンプ/グラフィックイコライザー部(B-E9)

[パワーアンプ部]

実用最大出力	
ステレオモード	80W + 80W (EIAJ, 6 Ω)
サラウンドモード	
メイン	75W + 75W (EIAJ, 6 Ω)
センター	10W (EIAJ, 8 Ω)
リア	総合6W (EIAJ)
全高調波ひずみ率	0.02% (1kHz, 1/2定格出力, 6 Ω)
周波数特性	20Hz~70kHz, +0dB, -1.0dB
SN比	105dB (IHF A)

[グラフィックイコライザー部]

調整中心周波数	63Hz, 160Hz, 400Hz, 1kHz, 2.5kHz, 6.3kHz, 16kHz
可変範囲	\pm 10dB

[電源・その他]

電源電圧、電源周波数	AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示)	170W

最大外形寸法	幅	270mm
	高さ	124mm
	奥行	320mm
重量(正味)		6.5kg

カセットデッキ部 (X-E9)

トラック方式	4トラック2チャンネルステレオ
録音方式	交流バイアス (周波数: 105kHz)
ヘッド	
Aデッキ用 再生用	1
Bデッキ用 録音/再生用	1
消去用	1
モーター	
Aデッキ用	1
Bデッキ用	1
早巻き時間	約110秒 (C-60)
周波数特性 (EIAJ)	
ノーマルテープ	35Hz~17,000Hz, ±3dB
クロームテープ	35Hz~18,000Hz, ±3dB
メタルテープ	35Hz~18,000Hz, ±3dB
SN比	
EIAJ	56dB
DOLBY NR OFF	58dB
DOLBY B NR ON	66dB
DOLBY C NR ON	73dB
ワウ・フラッター	0.08% (W.R.M.S.)
	±0.18% (W. PEAK)
最大外形寸法	幅 270mm
	高さ 124mm
	奥行 261mm
重量 (正味)	2.8kg

CDプレーヤー部 (DP-ME9)

読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー)
回転数	200rpm~500rpm (CLV)
D/Aコンバージョン	1ビット
オーバーサンプリング	8fs (352.8kHz)
SN比 (EIAJ)	93dB以上
ダイナミックレンジ (EIAJ)	85dB以上
全高調波ひずみ率 (EIAJ)	0.01%以下 (1kHz)
チャンネルセパレーション (EIAJ)	85dB以上 (1kHz)
ワウ・フラッター (EIAJ)	測定限界以下
デジタル出力 (オプティカル)	-15dBm ~ -21dBm
	(発光波長660nm)
最大外形寸法	幅 270mm
	高さ 104mm
	奥行 320mm
重量	4.0kg

スピーカー部 (LS-E9)

エンクロージャー	バスレフ型
スピーカー構成	
ウーファー	140mm コーン型
スクーカー	80mm コーン型
ツイーター	25mm ドーム型
インピーダンス	6Ω
周波数帯域	40Hz~20,000Hz
最大入力	80W
最大外形寸法	幅 220mm
	高さ 470mm
	奥行 282mm
重量 (正味)	6.5kg

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

保証について

保証書

製品には保証書が別途添付されています。所定事項（お買い上げ日、販売店名など）が記載されていること、ならびに記載の内容を必ずご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

シリアル番号について

システム商品の各機器に製造シリアル番号がつけられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。

付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

修理をご依頼になるときは

「故障と思われる症状ですが...」を参照してお調べいただき、なお異常があるときは、製品の電源をOFFにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご連絡ください。

（別紙“全国サービス網”をご参照ください。）

保証期間内の場合は...

保証書の記載内容に従い、お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所が無料修理いたします。修理の際は保証書をご提示ください。



- 電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

愛情点検



このような症状はありませんか？

- 電源をONにしても音が出ない。
- 音が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源をOFFにしても音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

ご使用中！

故障や事故防止のため、電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜きます。必ず販売店またはケンウッドのサービスステーション、営業所までご連絡ください。

持込修理と出張修理

「持込修理」、「出張修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。

- 修理のために、セットを販売店やケンウッドのサービスステーション、営業所までお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。（スピーカーは除きます）
- セットを修理に持ち込まれる際は、輸送中にキスが付くのを防ぐため、必ず包装してください。（お買い上げ時の梱包材の再使用が理想的です。）



保証期間が過ぎている場合は...

お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご相談ください。修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理します。



- 補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
- この期間は、通産省の指導によるものです。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ（有料修理の場合、これらの費用が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

出張修理を依頼されるときは、次のことをご確認ください。

- 製品名
- 製造番号（SERIAL No.）
- お買い上げ年月日
- お買い上げの販売店名
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- お客様の連絡先（お名前、住所、電話番号）

商品に関するお問い合わせは

お客様相談室 東京：電話(03)3477-5335(受付時間：AM9:30～PM5:30)
大阪：電話(06)357-5335(受付時間：AM9:45～PM6:00)
(土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます。)

アフターサービスのお問い合わせは

お買い上げの販売店、またはケンウッドサービスステーション、営業所にご連絡ください。（別紙“全国サービス網”をご参照ください。）

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

東京都渋谷区道玄坂1-14-6 〒150